KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub C360/C280/C220

ユーザーズガイド　コピー機能編

もくじ

1 はじめに

2 各部の名称とはたらき

3 本機を使用する

4 操作パネルのキーについて

5 コピー機能

6 [ユーザー設定]

7 [管理者設定]

10 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）

11 認証装置（IC カード認証タイプ）

12 仕様

13 付録

1 はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[すぐに使える操作ガイド]	すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー機能編]	コピーの機能や本機の設定について記載しています。 ・ 原稿、コピー用紙の仕様 ・ コピー機能 ・ 本機のメンテナンス ・ トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド 拡大表示機能編]	拡大表示機能の操作について記載しています。 ・ コピー機能 ・ スキャナー機能 ・ G3 ファクス機能 ・ ネットワークファクス機能
[ユーザーズガイド プリンター機能編]	プリンター機能について記載しています。 ・ プリンター機能 ・ プリンタードライバーの設定
[ユーザーズガイド ボックス機能編]	ハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。 ・ ボックスへのデータ保存 ・ ボックスからのデータの取出し ・ ボックスからのデータの印刷、転送
[ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編]	スキャンしたデータの送信方法を記載しています。 ・ E-mail 送信、FTP 送信、SMB 送信、ボックス保存、WebDAV 送信、Web サービス ・ G3 ファクス ・ IP アドレスファクス、インターネットファクス
[ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編]	コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバー機能について記載しています。 ・ PC-FAX
[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]	ネットワークを利用した各機能の設定方法を記載しています。 ・ ネットワークの設定 ・ PageScope Web Connection を使用した設定

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
［ユーザーズガイド 拡張機能編］	オプションのライセンスキットでご利用いただける機能、およびアプリケーションと連携することでご利用いただける機能について記載しています。 ・ Web ブラウザー機能 ・ イメージパネル ・ PDF 処理機能 ・ 音声ガイド機能 ・ サーチャブル PDF ・ My パネル、My アドレス機能
［商標 / ライセンスについて］	商標およびライセンスについて記載しています。 ・ 商標、著作権について

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、メンテナンス方法、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、メンテナンスやトラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。メンテナンスやトラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービスエンジニアにご連絡ください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

✔ このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

→ この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。

ジョブ表示
設定内容
コピーできます
部数
1
基本設定
原稿指定
画質/濃度
応用設定
原稿画質
自動
100.0%
文字
文字/写真
印刷写真
濃度
下地調整
裏写り除去
写真
地図
文字再現
詳細確認
薄文字原稿
コピー原稿
光沢コピー
2009/02/12　20:17
メモリー残量　100%

目的の画面を表示しています。

参照
参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

キー記号について

[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2　原稿と用紙の表示について

原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを ▭ と表示します。

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを ▯ と表示します。

2 各部の名称とはたらき

2　各部の名称とはたらき

2.1　オプション構成

No.	名称	説明
1	本体部	スキャナー部で原稿が読込まれ、読取った画像がプリンター部で印刷されます。 以降本文中では本機、本体、C360/C280/C220 と呼びます。

No.	名称	説明
2	自動両面原稿送り装置 DF-617	自動的に原稿が 1 枚ずつ送り出され、読込まれます。 両面原稿も自動的に反転して読込まれます。 以降本文中では ADF と呼びます。
3	オリジナルカバー OC-509	セットした原稿が動かないように押さえます。 以降本文中では**オリジナルカバー**と呼びます。
4	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101	指静脈パターンを読取ってユーザー認証を行うことができます。 **認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101**/ **認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102** を設置するには、**ワーキングテーブル WT-507** または**ワーキングテーブル WT-506** が必要です。 以降本文中では**認証装置**と呼びます。
5	認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102	
6	認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201	IC カードに記録された情報を読取ってユーザー認証を行うことができます。 **認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201** を設置するには、**ワーキングテーブル WT-507** または**ワーキングテーブル WT-506** が必要です。 以降本文中では**認証装置**と呼びます。
7	ワーキングテーブル WT-507	**操作パネル**を移設できます。また、**認証装置**を設置する場合にも使用します。
8	ワーキングテーブル WT-506	原稿などを一時的に置くことができます。また、認証装置を設置する場合にも使用します。
9	取り付けキット MK-713	長尺紙印刷をする場合に使用します。
10	イメージコントローラー IC-412 v1.1	bizhub C360/bizhub C280 に装着する外付け型の**イメージコントローラー**です。 本機をネットワーク対応のカラープリンターとして使用できます。 **イメージコントローラー IC-412 v1.1** を装着するためには、**専用デスク DK-507** か**給紙キャビネット PC-408**、**給紙キャビネット PC-107**、**給紙キャビネット PC-207** のいずれかを本機に装着する必要があります。
11	専用デスク DK-507	**専用デスク**を使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では**専用デスク**と呼びます。
12	給紙キャビネット PC-107	上段には 500 枚までの用紙をセットでき、下段は収納ボックスとして使用できます。 以降本文中では **1 段給紙キャビネット**と呼びます。
13	給紙キャビネット PC-207	上段・下段に各 500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では **2 段給紙キャビネット**と呼びます。
14	給紙キャビネット PC-408	2500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では LCT と呼びます。
15	中綴じ機 SD-509	**フィニッシャー FS-527** に装着することにより、紙折り / 中とじができます。 以降本文中では**中綴じ機**と呼びます。
16	フィニッシャー FS-527	印刷された用紙をソート、グループ、ステープルとじして排紙できます。 **フィニッシャー FS-527** を装着するためには、**専用デスク DK-507** か**給紙キャビネット PC-408**、**給紙キャビネット PC-107**、**給紙キャビネット PC-207** のいずれかを本機に装着する必要があります。
17	パンチキット PK-517	**フィニッシャー FS-527** に装着することにより、パンチ穴をあけることができます。
18	セパレーター JS-603	**フィニッシャー FS-527** に装着します。 プリントされた用紙が排紙されます。
19	フィニッシャー FS-529	本体の排紙トレイに装着すると、印刷された用紙をソート、グループ、ステープルとじして排紙できます。

No.	名称	説明
20	セパレーター JS-505	本体の排紙トレイに装着すると、印刷された用紙を仕分けることができます。 以降本文中では**セパレーター**と呼びます。
以下のオプションは、本機に内蔵されるため図解してありません。		
21	FAX キット FK-502	本機をファクス機として使用できます。または、電話回線を増設することができます。
22	FAX 済みスタンプユニット SP-501	原稿が読取られたことをスタンプで確認できます。
23	補充スタンプ 2	FAX 済みスタンプユニット SP-501 の補充スタンプです。
24	ローカル接続キット EK-604	音声ガイダンス機能を使用する場合に装着します。スピーカーが内蔵されています。
25	ローカル接続キット EK-605	音声ガイダンス機能、Bluetooth に対応した携帯電話や PDA との連携機能を使用する場合に装着します。スピーカーと Bluetooth 通信用の受信装置が内蔵されています。
26	ビデオインターフェイスキット VI-505	イメージコントローラー IC-412 v1.1 を bizhub C360/bizhub C280 に取付ける場合に必要です。
27	セキュリティーキット SC-507	コピーガード、パスワードコピーが使用できます。 不正コピーを防止することができます。
28	i-Option LK-101 v2	操作パネルで Web ブラウザーやイメージパネル機能が使用できます。
29	i-Option LK-102	スキャン機能やボックス機能で PDF 形式の文書を配信する場合、デジタル ID による PDF の暗号化や電子署名の添付、プロパティの設定が行えます。
30	i-Option LK-103 v2	i-Option LK-101 v2/i-Option LK-102 の両方の機能が使用できます。
31	i-Option LK-104	音声ガイダンス機能が使用できます。
32	i-Option LK-105	サーチャブル PDF 機能が使用できます。
33	アップグレードキット UK-203	Web ブラウザー、イメージパネル、PDF 処理、音声ガイド、サーチャブル PDF、My パネル、My アドレス機能を使用する場合に必要です。 本機の**操作パネル**で表示可能な言語を、9 言語に増やすことができます。
以下のオプションは図解してありません。		
34	結露防止ヒーター HT-507	スキャナーの結露を防止できます。
35	結露防止ヒーター電源 BOX MK-719	結露防止ヒーターの動作を ON/OFF します。

2.2 本体

2.2.1 本体外部（前面）

本図は本体にオプションのオリジナルカバー OC-509、給紙キャビネット PC-408 を装着しています。

No.	名称
1	原稿押えパッド
2	操作パネル
3	USB ポート（タイプ A）USB2.0/1.1
4	手差しトレイ
5	用紙エンプティーランプ
6	LCT
7	トレイ解除ボタン
8	トレイ 2
9	トレイ 1
10	前ドア
11	排紙トレイ

本図は本体にオプションの自動両面原稿送り装置 DF-617、給紙キャビネット PC-207 を装着しています。

No.	名称
12	左カバー解除レバー
13	左カバー
14	ガイド板
15	原稿給紙トレイ
16	原稿排紙トレイ
17	副電源スイッチ
18	右上ドア
19	右上ドア解除レバー
20	右下ドア
21	右下ドア解除レバー
22	トレイ 4/ 収納ボックス
23	トレイ 3
24	状態表示ランプ

2.2.2　本体外部（背面）

本図は本体にオプションの自動両面原稿送り装置 DF-617、給紙キャビネット PC-207、FAX キット FK-502 を装着しています。

7
6
5
1
2
4 3

本図は本体にオプションの自動両面原稿送り装置 DF-617、給紙キャビネット PC-207、結露防止ヒーター電源 BOX MK-719 を装着しています。

8
11 10 9

No.	名称
1	外付け電話機接続用コネクター（TEL PORT2）
2	ポート 2 回線コネクター（LINE PORT2）
3	外付け電話機接続用コネクター（TEL PORT1）
4	ポート 1 回線コネクター（LINE PORT1）
5	USB ポート（タイプ A）USB2.0/1.1
6	USB ポート（タイプ B）USB2.0/1.1
7	ネットワーク用ポート（10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T）
8	オゾンフィルター
9	電源コード
10	除湿ヒーター電源スイッチ
11	結露防止ヒーター電源スイッチ

2.2.3 本体内部

本図は本体にオプションの自動両面原稿送り装置 DF-617、給紙キャビネット PC-207 を装着しています。

No.	名称
1	原稿ガラス
2	定着ユニット上カバー
3	定着カバーレバー
4	定着ユニット
5	自動両面ユニット
6	ドラムユニット
7	チャージャー清掃具
8	ロック解除つまみ
9	プリントヘッド窓清掃具
10	廃棄トナーボックス
11	主電源スイッチ
12	トータルカウンター
13	トナーカートリッジ
14	スリットガラス
15	原稿スケール

No.	名称
16	紙づまり処理ダイアル
17	スリットガラス清掃具

2.2.4 操作パネル

No.	名称
1	スタイラスペン
2	タッチパネル
3	主電源ランプ
4	副電源スイッチ
5	機能キー
6	データランプ
7	テンキー
8	輝度調整ダイアル

操作パネルの角度のかえかた

操作パネルは、操作面の角度を 3 段階に設定できます。また、**操作パネル**を左に傾けることができます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。

重要
操作パネルを傾ける場合に**タッチパネル**を持っての移動は行わないでください。

1 **操作パネル解除レバー**を手前に引き、**操作パネル**を上下に動かします。

操作パネルは 3 段階に傾けることができます。

2 **操作パネル**を左右に傾ける場合は、**操作パネル**の下部を持って左右に傾けます。

2.2.5　タッチパネル

電源を入れてコピー可能な状態になると、基本設定画面が表示されます。画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された機能やモードを選択できます。

基本設定画面には基本設定画面と基本（一括）画面があります。基本設定画面と基本（一括）画面では、各機能設定画面の階層やキーの配置などが異なりますが、設定できる機能は同じです。本書では基本設定画面からの設定方法を説明しています。基本（一括）画面は、基本設定画面の設定項目が一画面に表示されているため、複数の設定をする場合に便利です。

重要
タッチパネルに強い力を加えると、**タッチパネル**に傷が付いて破損の原因となります。**タッチパネル**を強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

基本設定画面

基本（一括）画面

No.	名称
1	メッセージ表示エリア
2	機能表示エリア
3	アイコン / ショートカットキー表示エリア
4	トナー残量表示
5	左エリア
6	設定内容
7	ジョブ表示
8	コピー設定ボタン（矢印）
9	カラー設定

参照

基本設定画面を切換えるには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［ユーザー設定］▸▸［画面カスタマイズ設定］▸▸［コピー設定］▸▸［基本画面表示］を押します。

キーやタブの選択色を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［ユーザー設定］▸▸［画面カスタマイズ設定］▸▸［選択色設定］を押します。

2.3 オプション

2.3.1 フィニッシャー FS-527/ 中綴じ機 SD-509/ パンチキット PK-517/ セパレーター JS-603

No.	名称
1	**第 2 排紙トレイ**
2	**第 1 排紙トレイ**
3	**前ドア**
4	**水平搬送ユニットカバー**
5	ステープラー
6	**ガイドレバー**［FN3］
7	**紙づまり処理ダイアル**［FN2］
8	**ガイドレバー**［FN1］
9	**ガイドレバー**［FN4］
10	ステープルホルダー
11	**パンチ廃棄ボックス**

No.	名称
12	中綴じ機
13	紙づまり処理ダイアル［FN6］
14	取っ手［FN5］
15	搬送ユニット
16	パンチキット
17	セパレーター
18	ステープルカートリッジ
19	取っ手［FN7］
20	折り排紙トレイ

2.3.2 フィニッシャー FS-529

No.	名称
1	ステープルホルダー
2	紙づまり処理ダイアル
3	ロック解除レバー
4	排紙トレイ
5	補助トレイ

2.3.3　　セパレーター JS-505

No.	名称
1	紙づまり処理ダイアル
2	取出し補助レバー
3	第 2 排紙トレイ
4	第 1 排紙トレイ
5	補助トレイ

3 本機を使用する

3 本機を使用する

3.1 電源の入れかた／切りかた

本機には、**主電源スイッチ**と**副電源スイッチ**の 2 つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチは、本機の全ての機能に対して ON/OFF します。通常（日常）、**主電源スイッチ**は ON の状態にしておきます。

副電源スイッチでは、コピー、印刷、スキャナー機能など本機の動作に対して ON/OFF をします。**副電源スイッチ**を OFF にすると節電状態となります。

✔ **副電源スイッチ**を ON にすると、**スタート**がオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。数秒後、メッセージが［ウォームアップ中です。読込みできます］に切換わり、**スタート**が青色に点灯すると、ジョブの予約を受け付けることができます。

✔ **副電源スイッチ**を ON にしたあとのウォームアップ中でも、ジョブを予約できます。ウォームアップ完了後に、読込んだ画像が印刷されます。

✔ 電源を ON にしてから**操作パネル**、**タッチパネル**で設定をする前の状態、または**リセット**を押して**操作パネル**、**タッチパネル**で入力した設定を取消した状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更することができます。

✔ 登録されたジョブや、蓄積されたジョブの印刷待機中に**主電源スイッチ**を OFF にしないでください。印刷されていないジョブは削除されてしまいます。

✔ **主電源スイッチ**、**副電源スイッチ**を OFF にすると、登録されていない設定と印刷待機中のジョブが取消されます。

✔ **主電源スイッチ**を OFF したあとに、すぐに ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

✔ 画像の読込み中や、送受信中に**主電源スイッチ**、**副電源スイッチ**を OFF にしないでください。読込み中のデータや、通信中のデータは削除されてしまいます。

✔ 印刷中に**主電源スイッチ**、**副電源スイッチ**を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。

1 電源を入れる場合は、**前ドア**を開き、**主電源スイッチ**の | を押します。

2 **前ドア**を閉じます。

3 **副電源スイッチ**を押します。

タッチパネルの表示を確認します。

4 電源を切る場合は、**副電源スイッチ**、**主電源スイッチ**の順に押します。

参照
コピーの初期設定を変更するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［ユーザー設定］▸▸［コピー設定］▸▸［コピー初期設定］を押します。

3.2 コピーの基本操作

ここでは、原稿のセット方法とコピーの基本操作について説明します。

3.2.1 原稿をセットする

原稿は ADF または**原稿ガラス**にセットします。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

- ADF の場合、複数枚の原稿の上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。両面原稿も自動的に読込むことができます。
- **原稿ガラス**の場合、原稿を**原稿ガラス**に直接セットして読込みます。本などの ADF にセットできない原稿を読込むのに適しています。

原稿をセットしたあと、必要に応じて各機能を設定します。

ADF に原稿をセットする

以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原図などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理された原稿
- 210 g/m^2 を超える厚手の原稿
- 両面コピー時の 128 g/m^2 を超える厚手の原稿
- クリップ、ステープルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせてある原稿
- 切取りや切抜きのある原稿
- ラベル用紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機で印刷した直後の原稿

1 **ガイド板**を原稿のサイズに合わせます。

2 原稿の表面を上にして、原稿を読込み順に**原稿給紙トレイ**へセットします。原稿の天部（上側）が奥側になるようにします。

➔ 原稿は 100 枚または▼マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 100 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

➔ 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

➔ 原稿の天部（上側）が奥側以外になる向きでセットした場合は、必ず原稿のセット方向を設定してください。

3 **ガイド板**を原稿に沿わせます。

原稿ガラスに原稿をセットする

✔ 原稿をセットするときは、必ず ADF または**オリジナルカバー**を 20°以上開いてください。20°以上開けずに原稿をセットすると原稿のサイズを検出できない場合があります。
✔ **原稿ガラス**には 2 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。
✔ 原稿が厚い本や立体物である場合は、ADF または**オリジナルカバー**を閉じずに読込みを行ってください。ADF または**オリジナルカバー**を閉じずに読込みを行った場合、光が漏れることがありますので、**原稿ガラス**を直視しないようにしてください。ただし、漏れ出る光はレーザー光線ではありませんので、レーザーの危険にさらされることはありません。
✔ 原稿外消去機能を設定すると、ADF または**オリジナルカバー**を閉じずにコピーすることができます。原稿は**原稿ガラス**の任意の位置にセットし、原稿の外側部分を消去してコピーできます。詳しくは、5-40 ページをごらんください。

1 ADF または**オリジナルカバー**を開きます。

2 原稿の表面を下にして、原稿を**原稿ガラス**にセットします。
➔ 原稿の天部（上側）が奥側になるようにします。

3 原稿を**原稿スケール**の左奥側の ➘ マークに合わせてセットします。
➔ 透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。
➔ 本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、**原稿スケール**の左奥側の ➘ マークに合わせます。
➔ 原稿外消去機能を設定した場合は、**原稿ガラス**の任意の位置に原稿をセットできます。

4 ADF または**オリジナルカバー**を閉じます。

3.2.2　基本的なコピー操作

ここでは、基本的な操作でコピーする方法を説明します。

1 原稿の表面を上にして、原稿を読込み順に ADF にセットします。
➔ **原稿ガラス**に原稿をセットする場合は、原稿の表面を下にしてセットします。

2 **テンキー**でコピー部数を入力します。
➔ コピー部数を間違えて入力した場合は、C（クリアー）を押してもう 1 度入力しなおしてください。

3 **スタート**を押します。
原稿が読込まれコピーされます。
➔ コピーを中断したい場合は、**ストップ**を押してください。
➔ 現在のジョブの印刷中に、[コピー予約できます] と表示されたら、次の原稿の読込むことができます。
➔ コピーガード用のパターンが埋め込まれた原稿を読込んだ場合、コピーを中断しジョブを破棄します。
➔ パスワードコピーにてパスワードの埋め込まれた原稿を読込んだ場合、パスワードの入力後コピーを開始します。

➔ パスワードの異なる原稿を1度に複数枚読込んだ場合、原稿ごとにパスワードを入力する必要があります。

3.2.3 複数の機能を組合わせたコピー操作

ここでは、複数の機能を組合わせたコピー操作について説明します。

1 原稿をセットします。

2 ［原稿指定］を押します。

➔［原稿指定］については、5-15 ページをごらんください。

3 ［基本設定］▸▸［両面 / ページ集約］を押します。

➔［両面 / ページ集約］については、5-8 ページをごらんください。

4 ［基本設定］を押して、各機能を設定してください。

➔［カラー］については、5-4 ページをごらんください。
➔［用紙］については、5-5 ページをごらんください。
➔［倍率］については、5-7 ページをごらんください。
➔［画質 / 濃度］については、5-18 ページをごらんください。
➔［回転しない］については、5-14 ページをごらんください。

5 ［応用設定］を押して、各機能を設定してください。

➔［応用設定］については、5-20 ページをごらんください。

6 ［基本設定］▸▸［仕上り］を押します。

➔［仕上り］、［紙折り / 中とじ］については、5-11 ページをごらんください。

7 ［設定内容］▸▸［詳細確認］を押します。

➔［設定内容］については、5-60 ページをごらんください。

8 **テンキー**でコピー部数を入力します。

➔ コピー部数を間違えて入力した場合は、**C**（クリアー）を押してもう 1 度入力しなおしてください。

9 **スタート**を押します。

原稿が読込まれコピーされます。

➔ コピーを中断したい場合は、**ストップ**を押してください。

➔ 現在のジョブの印刷中に、［コピー予約できます］と表示されたら、次の原稿の読込むことができます。

組み合わせができない機能について

各機能には組合わせて設定できないものがあります。組合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の 2 種類があります。

- あとから設定したものが優先される。（先に設定したものは解除される）
- 先に設定したものが優先される。（警告メッセージが表示される）

4 操作パネルのキーについて

4 操作パネルのキーについて

操作パネルのキーを押して使用できる機能を説明します。

操作パネルのキーとはたらき

操作パネルのキーを押して、コピー、ファクス / スキャン、ボックスなどの各機能を使用することができます。

No.	名称	説明	ページ
1	**タッチパネル**	各設定画面やメッセージが表示されます。**タッチパネル**に直接タッチして各設定を行うことができます。	−
2	**電源ランプ**	**主電源スイッチ**が ON のときに青色に点灯します。	−
3	**副電源スイッチ**	本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。	−
4	**パワーセーブ**	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は**パワーセーブ**が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に**パワーセーブ**を押すとパワーセーブ機能は解除されます。	p. 4-11
5	**プログラム**	目的のコピー / ファクス / スキャナー機能の条件を登録（書込み）したり、登録した条件を呼出すことができます。	p. 4-7
6	**設定メニュー / カウンター**	設定メニュー画面、セールスカウンター画面に切換えることができます。	p. 4-6
7	**リセット**	**操作パネル**、または**タッチパネル**で入力した全ての設定（登録した設定は除く）をリセットできます。	p. 4-4

No.	名称	説明	ページ
8	**割込み**	割込み機能に切換わります。割込み機能中は**割込み**が緑色に点灯し、**タッチパネル**に［割込み中です。］と表示されます。割込み機能中に**割込み**を押すと割込み機能を解除できます。	p. 4-4
9	**ストップ**	コピー、スキャン、印刷中に動作を一時停止できます。	p. 4-4
10	**プレビュー**	複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部のみ印刷して仕上りを確認できます。また、現在設定している内容の仕上りイメージを**タッチパネル**に表示できます。	p. 4-17
11	**スタート**	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始できます。	p. 4-4
12	**データランプ**	印刷ジョブを受信中は、青色に点滅します。印刷ジョブが印刷待ち、および印刷中は、青色に点灯します。未出力のファクスデータ、蓄積されたファクスデータがある場合は青色に点灯します。	−
13	**C**（クリアー）	**テンキー**で入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消すことができます。	p. 4-16
14	**テンキー**	部数の設定ができます。倍率の入力ができます。各種の設定値の入力ができます。 本機にオプションの i-Option LK-104 が登録され、音声ガイド機能が有効な場合、音声ガイド使用中に様々な操作ができます。	−
15	**ガイド**	ガイド画面に切換えることができます。本機機能の解説や操作方法を画面上に表示できます。 本機にオプションの i-Option LK-104 が登録され、音声ガイド機能が有効な場合、音声ガイドの開始と終了に使用できます。	p. 4-15
16	**拡大表示**	拡大表示画面に切換えることができます。 PageScope Authentication Manager にて認証を行っている場合、拡大表示画面に切換わりません。	p. 4-14
17	**ユニバーサル**	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。	p. 4-12
18	**ID**	ユーザー認証または部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとに **ID** を押すと本機が使用できるようになります。	p. 4-8
19	**輝度**調整ダイアル	**タッチパネル**の輝度の調整ができます。	−
20	**ボックス**	ボックス機能に切換わります。ボックス機能中は**ボックス**が緑色に点灯します。 ボックス機能について詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。	p. 4-5
21	**ファクス / スキャン**	ファクス機能、スキャナー機能に切換わります。ファクス機能、スキャナー機能中は**ファクス / スキャン**が緑色に点灯します。 ファクス / スキャン機能について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。	p. 4-5
22	**コピー**	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は**コピー**が緑色に点灯します。	p. 4-5

4.1 スタート、ストップ、割込みについて

スタート

➔ コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始します。

一時停止中のジョブを再開します。

➔ 本機が動作を開始できる状態のときは**スタート**が青色に点灯します。**スタート**がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。（**タッチパネル**に警告やメッセージが表示されていないか確認してください）

ストップ

➔ コピー、スキャン、印刷中に**ストップ**を押すと、動作を一時停止できます。

➔ 一時停止したジョブを再開する場合は**スタート**を押します。

➔ 一時停止したジョブを削除する場合は、停止中ジョブ画面で削除するジョブを選択し、［削除実行］を押します。

割込み

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー条件でコピーできます。急いでコピーをしたいときなどに便利です。

✔ 原稿読込み中は**割込み**を押すことができません。

✔ **割込み**を押すと、コピー条件は初期設定に戻ります。

1 原稿をセットします。

2 **割込み**を押します。

割込みのランプが緑色に点灯し、印刷中のジョブは中断されます。

3 コピー条件を設定します。

4 **スタート**を押します。

5 割込みジョブの印刷が終了したら、**割込み**を押します。

割込みのランプが消灯し、割込みコピー設定が解除されます。
割込みコピー前のコピー条件が復帰します。

リセットについて

操作パネル、または**タッチパネル**で入力した全ての設定（登録した設定は除く）をリセットできます。

➔ **リセット**を押します。

基本設定画面が表示されます。

4.2　コピー、ファクス / スキャン、ボックスについて

本機にはコピー、ファクス / スキャン、ボックスの機能（モード）があり、目的の操作に合わせ選択します。選択したキーが緑色に点灯します。

コピー

➔ コピー機能に切換わります。

基本設定画面が表示されます。

ファクス / スキャン

➔ ファクス / スキャン機能に切換わります。

ファクス / スキャン機能について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

ボックス

➔ ボックス機能に切換わります。

ボックス機能について詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

4.3 設定メニュー / カウンターについて

設定メニュー / カウンターを押すと、設定メニュー画面が表示されます。設定メニュー画面で本機を設定したり、本機の使用状況を確認したりすることができます。

➔ **設定メニュー / カウンター**を押します。

設定

[宛先 / ボックス登録]	ファクス / スキャナー / ボックスに関する登録を行います。 詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編][ユーザーズガイド ボックス機能編]をごらんください。
[ユーザー設定]	ユーザーが操作できる設定項目が表示されます。
[管理者設定]	本機の管理者のみが操作できる設定項目が表示されます。
[消耗品確認]	消耗品の状態（消耗レベル）をグラフで確認できます。
[長尺紙印刷]	長尺紙の印刷を許可するかしないかを設定します。 長尺紙の印刷について詳しくは、[ユーザーズガイド プリンター機能編]をごらんください。
[装置情報表示]	本機の情報が表示されます。 [機能バージョン]：現在インストールされているファームウェアの機能バージョンを確認できます。 [IPv4 アドレス]：現在設定されている IPv4 アドレスを確認できます。 [IPv6 アドレス]：現在設定されている IPv6 アドレスを確認できます。

4.4　プログラムについて

よく使う各種コピーの設定条件の組合わせを、プログラムとして本機に登録し、簡単に呼出すことができます。

✔　プログラムは最大 30 件登録することができます。
✔　プログラムを登録する場合は、**プログラム**を押す前に登録したいコピー条件を設定してください。

➔　**プログラム**を押します。

設定

［コピープログラム呼出し］	呼出したいコピー条件が登録されているキーを選択します。
［プログラム登録］	・　画面に表示されているキーの中から、コピー条件を登録したいキーを押し、［プログラム登録］を押します。 ・　登録名を入力して［OK］を押します。
［設定内容］	選択したキーに登録されているコピー条件を確認できます。
［名称変更］	選択したキーの登録名を変更できます。 コピープログラムロックの設定を行うと［名称変更］は表示されません。
［削除］	選択したキーを削除できます。 コピープログラムロックの設定を行うと［削除］は表示されません。

参照

プログラムの変更や削除を禁止するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ユーザー操作禁止設定］▸▸［コピープログラムロック設定］を押します。

プログラムを削除するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ユーザー操作禁止設定］▸▸［コピープログラム削除］を押します。

4.5 ID について

管理者によってユーザー認証 / 部門管理が設定されると、ユーザー登録 / 部門登録された特定のユーザーのみが本機を使用できます。

また、管理者が使用時間スケジュールを設定していた場合は、時間外パスワードを入力すると本機を使用することができます。

ユーザー / 部門ごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証 / 部門認証）

✔ ユーザー認証 / 部門管理を使用すると、ユーザーまたは部門に設定されたパスワードを入力したユーザーのみが、本機を使用できます。
✔ ユーザー / 部門ごとに印刷枚数などを管理することができます。
✔ ユーザー名、部門名、パスワード、サーバー名が不明な場合は、管理者に確認してください。
✔ ユーザー認証 / 部門管理の設定により、表示されるログイン画面は異なります。
✔ ユーザー認証は部門管理と併用できます。ユーザー認証 / 部門認証の設定を［連動しない］に設定している場合はユーザー認証を行ってから、部門管理の画面からログインします。
✔ 本体装置認証または外部サーバー認証を設定した場合は、ユーザーと部門を合わせて 1000 件まで登録できます。
✔ コピー終了後、ID を押してログアウトしてください。
✔ 認証装置で認証を行い、本機を使用することができます。
✔ ユーザー認証設定で本機の利用を一時停止しているユーザーは、ログインすることができません。
✔ 部門管理設定で本機の利用を一時停止している部門は、ログインすることができません。また、利用を停止された部門に所属しているユーザーもログインすることができません。
✔ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者にご確認ください。

➔ ID を押します。

ユーザー認証の場合

部門管理の場合

設定

ユーザー認証	ユーザー認証を行い本機を使用します。	
	［パブリックユーザー］	［ユーザー名］、［パスワード］を知らないユーザーでも本機を使用できます。 ［管理者設定］の［認証方式］で［パブリックユーザー］を［許可しない］に設定している場合、表示されません。 ［セキュリティー強化設定］が ON の場合、［パブリックユーザー］は表示されません。
	［ユーザー名］	ユーザー名を入力します。
	［ユーザー名一覧］	一覧から目的のユーザー名を選択できます。 ・　［セキュリティー強化設定］が ON の場合、［ユーザー名一覧］は表示されません。 ・　ユーザー認証設定で本機の利用を一時停止しているユーザーは、［ユーザー名一覧］に表示されません。
	［パスワード］	パスワードを入力します。
	［サーバー名称］	初期値設定のサーバーが表示されます。［サーバー名称］を押すと登録されたサーバーが表示され、目的のサーバーを選択できます。
	［ログイン］	基本設定画面が表示され、本機を使用することができます。
部門管理	部門管理を行い本機を使用します。	
	［部門名］	部門名を入力します。
	［パスワード］	パスワードを入力します。 ［管理者設定］の［部門管理認証方式］で［パスワードのみ］が設定されている場合、ログイン画面に［パスワード］のみ表示されます。ログイン画面にテンキーにて直接パスワードを入力できます。パスワードが数字のみの場合、キーボード画面を表示させることなく［ログイン］または ID を押すことでログインできます。 ・　パスワードに英字、数字、記号を組合わせて設定している場合、［パスワード］を押し、入力してください。 ・　テンキーで数字を入力したあと、［パスワード］を押すと英字、記号を続けて入力できます。
	［ログイン］	基本設定画面が表示され、本機を使用することができます。

参照

ユーザー認証 / 部門管理を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。

使用時間外に本機を使用する

本機は、管理者が設定した使用時間スケジュールにしたがって自動的にスリープモードに切換え、使用を制限できます。これをウィークリータイマーといいます。ウィークリータイマー機能中に、本機を使用するときは、以下の手順を行ってください。

✔ 管理者設定の［時間外パスワード設定］により、時間外パスワード入力画面を表示させないようにできます。

1 **パワーセーブ**を押します。

2 時間外パスワードを入力します。

3 ［OK］を押します。

4 再度、スリープモードに移行するまでの時間をテンキーで入力します。

5 ［OK］を押します。

基本設定画面が表示されます。

参照

ウィークリータイマーを設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ウィークリータイマー設定］を押します。

4.6 パワーセーブについて

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、タッチパネルの表示が消えるなど、自動的に節電状態になります。これを低電力モードまたはスリープモードといいます。

ここでは低電力モード、スリープモードからの復帰のしかたについて説明します。

✔ スリープモードは低電力モードよりも節電効果が得られますが、再度コピーを行うためのウォームアップに時間がかかります。

✔ 出荷時設定では、低電力モードは 15 分、スリープモードは 20 分に設定されています。本機を操作しなくなってから 15 分が経過すると、低電力モードになり、20 分が経過するとスリープモードに切換わります。

✔ 本機は、低電力モード中でもジョブを受け付けることができます。

➔ **パワーセーブ**を押します。

操作パネルの他のキー、または**タッチパネル**を押しても低電力モードから復帰します。

参照

低電力モードを設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［パワーセーブ設定］を押します。

4.7　ユニバーサルについて

操作パネルに関する設定を変更する方法と、**タッチパネル**の調整について説明します。

✔ ユニバーサル設定画面から基本設定画面に戻りたい場合は、**ユニバーサル**または**リセット**、［閉じる］を押します。

✔ 拡大表示画面の場合、［拡大表示初期設定］が表示され、コピー機能、ファクス / スキャン機能での拡大表示時の初期設定値を設定できます。

➔ **ユニバーサル**を押します。

1/2 ページ

2/2 ページ

設定

［タッチパネル調整］	**タッチパネル**のキーを押しても正常に反応しないときは、**タッチパネル**のキー表示位置と実際のタッチセンサーの位置がずれている可能性があります。 **タッチパネル**の表示位置を調整します。 ・ ［タッチパネル調整］を押しても反応しない場合は、タッチセンサーと画面が合っていません。**テンキー**の 1 を押してください。 ・ タッチパネル調整画面で 4 つのチェックキー［+］をブザー音を確認しながら押します。正しく押されると、**スタート**のランプが青色に点灯します。**スタート**を押します。 ・ チェックキー［+］を押す順番は、任意でかまいません。 ・ 調整をやりなおすときは C（クリアー）を押し、4 つのチェックキー［+］を押しなおしてください。 ・ **タッチパネル**の調整を中断する場合は、**ストップ**または**リセット**を押します。 ・ 調整できない場合は、サービス実施店にご連絡ください。
［キーリピート開始 / 間隔時間］	**タッチパネル**の数値設定のキーを押してから数値が変わり始めるまでの時間と、次の数値に変わるまでの時間を設定できます。 設定したキーリピート時間は拡大表示時にのみ反映されます。

設定

［システムオートリセット設定解除確認］	拡大表示中にシステムオートリセット機能が動作し、拡大表示が解除されるときに、拡大表示を解除せずそのまま作業を続けるか、拡大表示を解除して基本設定画面に戻るか確認する画面を表示できます。 また、確認画面が表示される時間を設定できます。
［オートリセット設定解除確認］	拡大表示中にオートリセット機能が動作し、コピーの設定が初期状態に戻されるときに、現在の設定をリセットせずそのまま作業を続けるか、設定をリセットするか確認する画面を表示できます。 また、確認画面が表示される時間を設定できます。
［拡大表示切換え確認］	**拡大表示**を押して画面表示を切換えるときに、拡大表示中では設定できない一部の内容の解除確認画面を表示できます。
［メッセージ表示時間］	誤った操作を行ったときなどに表示される警告メッセージの表示時間を設定できます。
［音設定］	キー操作などに関連して音を鳴らす設定ができます。音設定には以下の設定があります。鳴らす場合は［する］を押し、音量を［小］［中］［大］から選択します。鳴らさない場合は［しない］を押します。 ［操作確認音］ ・［入力確認音］：**操作パネル**のキーや**タッチパネル**のキーを押して入力を行ったとき ・［入力無効音］：**操作パネル**のキーや**タッチパネル**のキーを押したが無効な入力だったとき ・［基点音］：切換えがローテーションする選択項目で、初期値となる項目が選ばれたとき ［正常終了音］ ・［操作終了音］：操作が正常に終了したとき ・［通信終了音］：通信関連の操作が正常に終了したとき ［準備完了音］：装置の準備が完了したとき ［注意音］ ・［弱注意音（Level1）］：各消耗品および交換部品が交換時期に近づき、**タッチパネル**にメッセージが表示されたとき ・［弱注意音（Level2）］：ユーザーが誤操作を行ったとき ・［弱注意音（Level3）］：画面メッセージおよびマニュアルの参照等によりユーザーが対処可能なエラーが発生したとき ・［強注意音］：ユーザーでは復帰不可能な、サービスエンジニア対応レベルのエラーが発生したとき
［拡大表示初期設定］	詳しくは、［ユーザーズガイド 拡大表示機能編］をごらんください。
［音声ガイド設定］	オプションの i-Option LK-104 が登録され音声ガイド機能が有効な場合に設定できます。詳しくは［ユーザーズガイド 拡張機能編］をごらんください。

4.8 拡大表示について

拡大表示に切換えると、大きな文字でレイアウトされた画面で、本機を操作することができます。

拡大表示画面について詳しくは、[ユーザーズガイド 拡大表示機能編]をごらんください。

✔ 通常表示に戻したい場合は、**拡大表示**を押します。

✔ PageScope Authentication Manager にて認証を行っている場合、ログイン画面では拡大表示画面に切換えることができません。

➔ **拡大表示**を押します。

4.9　ガイドについて

各機能の説明や操作方法を画面上に表示して確認できます。**ガイド**を押すと、表示している画面に対するガイド画面を表示します。

✔ ヘルプのメインメニュー画面を表示すると、機能や目的などからガイド画面を探すことができます。
✔ ガイド画面の左エリアで、表示しているガイド画面の階層を確認できます。
✔ ガイド画面で［閉じる］を押すと、1 つ上の階層が表示されます。［終了］を押すと、ガイド機能を終了し、**ガイド**を押す前の画面に戻ります。［メニューへ］を押すと、ヘルプメインメニューが表示されます。
✔ メインメニュー画面とガイドメニュー画面では、画面のキーを押すか、キーの番号をテンキーで押して項目を選択します。
✔ 以下の状態のときはガイド機能を使用できません。
スキャン中、確認コピー中、仕上りプレビュー時、拡大表示時、ユニバーサル設定中
✔ ガイド機能使用中は、以下の操作パネルのキーは無効となります。
スタート、C（クリアー）、**割込み**、**プレビュー**、ID、**プログラム**、**拡大表示**

➔ **ガイド**を押します。

ジョブ表示　ヘルプメニュー
しおり表示
1 機能から探す　5 各部の名称と働き
2 目的から探す　6 サービス/管理者情報
3 機能マップ　7 消耗品交換/処理手順
4 その他便利な機能
2008/07/30　20:24
メモリー残量　100%
閉じる

設定

［機能から探す］	機能の種類と名称で分類されたガイドメニューから説明を確認できます。
［目的から探す］	行いたい操作の種類で分類されたガイドメニューから説明を確認できます。 ・［機能へのショートカット］が表示されていた場合、選択した目的の機能を設定することができます。しかし、例えばファクス / スキャン機能を使用している場合に、別機能であるコピー機能のガイド画面に表示される［機能へのショートカット］を選択することはできません。 ・［コピーする］を選択し、［特殊な原稿を読込む］を押すと、原稿セットの手順を、説明と動画で確認できます。原稿セットの動画ではガイダンススタートが表示されません。
［機能マップ］	画面の遷移先や階層から説明を確認できます。
［その他便利な機能］	便利な機能で分類されたガイドメニューから説明を確認できます。
［各部の名称と働き］	本体とオプションについての説明を確認できます。
［サービス / 管理者情報］	［管理者名］、［内線番号］、［E-Mail 宛先］を確認できます。
［消耗品交換 / 処理手順］	**トナーカートリッジ**、**ドラムユニット**、**廃棄トナーボックス**の交換手順、ステープル針の補給手順、パンチくずの処理手順を動画で確認できます。目的のキーを押したあと、［ガイダンススタート］を押してください。

4.10　C（クリアー）について

テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消すことができます。

➔ C（クリアー）を押します。

入力されていた数値は削除されます。正しい数値を入力してください。

4.11 プレビューについて

1 部印刷してコピーの仕上りを確認する（確認コピー）

大量のコピーを行うとき、先に 1 部のみ印刷して仕上りを確認できます。印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

✔ プレビューをするときは、複数部数を設定してください。

1 原稿をセットします。

2 目的のコピー条件を設定します。

3 **プレビュー**を押します。

4 確認方法で［印刷して確認］を押し、原稿セット方向を選択します。

5 **スタート**を押します。

原稿を ADF にセットした場合は 1 部印刷されます。

6 **原稿ガラス**に原稿をセットした場合は、［読込み終了］を押し、**スタート**を押します。

1 部印刷されます。

7 コピー結果を確認します。

➔ コピーを確認して問題なければ、手順 10 へ進みます。
コピー条件の設定を変更するときは、手順 8 へ進みます。

8 確認コピー画面の［設定変更］を押します。

設定変更画面でコピー条件を変更して、［OK］を押します。

➔ 確認コピー画面の［印刷部数］は確認コピー済み印刷部数 / 設定部数を、［総印刷枚数］は確認コピー済み印刷枚数 / 総印刷予定枚数を示しています。

➔ 設定変更画面表示中にコピーを中断する場合は、左エリアのジョブ確認リストから中断する確認コピージョブを選んで、［削除］を押します。

➔ 以下の画面が表示された状態で一定時間操作しないでいると、確認コピーを行ったジョブが蓄積ジョブに登録され、基本設定画面に戻ります。
蓄積ジョブへの登録は、システムオートリセットが動作したとき、または 1 分後（システムオートリセットを［使用しない］に設定している場合）のタイミングで行われます。

9 **プレビュー**を押して、確認コピーを繰り返します。

10 ［印刷実行］を押します。

残りの部数がジョブとして登録されます。

プレビュー画像でコピーの仕上りを確認する（仕上りプレビュー）

コピーの仕上りイメージを**タッチパネル**上で確認し、印刷することができます。印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

✔ ［プログラムジョブ］で原稿を読込む場合は、全ての原稿を読込み、［読込み終了］を押したあとに［仕上りプレビュー］を確認できます。
✔ ［差込みページ］を指定して原稿を読込む場合は、最初に原稿を読込んだあとと、差込み原稿を読込んだあとに［仕上りプレビュー］を確認できます。
✔ ［ブック連写］、［小冊子］を設定する場合は、仕上り状態を確認できません。印刷をして仕上りを確認してください。
✔ ［コピーガード］を検出した場合は、仕上りを確認できません。

1 原稿をセットします。

2 目的のコピー条件を設定します。

3 **プレビュー**を押します。

4 確認方法で［プレビュー画像で確認］を押し、原稿セット方向を選択します。

5 **スタート**を押します。
プレビュー詳細画面（状態表示）が表示されます。

6 プレビュー画像を確認します。
➔ 設定を変更する場合は、［確認表示］を押します。手順 7 へ進みます。
➔ 印刷を開始する場合は、**スタート**を押します。
➔ さらに原稿を読込む場合は、［読込み終了］を押したあと、原稿をセットし、**スタート**を押します。

7 設定を変更して、［状態表示］を押します。

設定

［←前ページ］／［次ページ→］	表示中のページの前ページおよび次ページへ表示を切換えます。
［表示サイズ変更］	プレビュー画像を拡大して表示し、細部の確認ができます。［+］／［-］を押すことで、全体表示、2 倍、4 倍、8 倍の大きさで倍率を変更できます。拡大した画像は、画像の右側と下側のスクロールバーで表示箇所を移動させて確認します。 表示サイズを変更すると、仕上り状態を表示できません。
［表示ページ回転］	プレビュー画像を 180 度回転して、原稿の向きの誤りを補正できます。 を押すと、表示されているページを回転します。 ［一括ページ回転］を押すと、読込みページ一覧画面が表示され、回転するページ選択します。読込みページは最大 6 ページまで表示され、［↑］、［↓］を押すとページを切換えることができます。

設定

［仕上り表示］	仕上り設定内容をプレビュー画像にアイコンや文字列で表示し、仕上りの状態を確認できます。
［設定変更］	次に読込む原稿の設定を変更することができます。
［確認表示］／［状態表示］	プレビュー詳細画面の［状態表示］と［確認表示］の切換えを行います。［表示画像回転］や［設定変更］は［確認表示］で行い、［状態表示］で読込みを終了します。

8　**スタート**を押します。

印刷を開始します。

5 コピー機能

5　コピー機能

操作パネルやタッチパネルのキーを押して、複数のコピー機能を設定することができます。

ここではタッチパネルのキーを押して、設定できる機能について説明します。

項目			
[基本設定]	コピーをとるときの基本的な設定を行います。		p. 5-3
[原稿指定]	原稿の種類やサイズを設定できます。		p. 5-15
[画質 / 濃度]	原稿の画質や濃度を設定して、コピーの品質を調整できます。		p. 5-18
[応用設定]	コピーをとるときの応用的な設定を行います。		p. 5-20
左エリア	[ジョブ表示]	現在実行中および待機中のジョブを表示できます。	p. 5-58
	[設定内容]	設定中の仕上り状態などを表示できます。	p. 5-60

5.1 ［基本設定］

コピーをとるときの基本設定を行います。

項目

［カラー］	コピーをとるときの印刷カラーを設定できます。	p. 5-4
［用紙］	コピーする用紙の種類、給紙トレイを設定できます。	p. 5-5
［倍率］	コピーする画像の倍率を設定できます。	p. 5-7
［両面 / ページ集約］	両面コピーやページ集約について設定できます。	p. 5-8
［仕上りプログラム］	よく使う仕分け方法や仕上り方法をあらかじめ設定しておくと、コピーをとるとき本キーを押すだけで、仕上り機能が設定できます。	p. 6-8
［仕上り］	コピーの仕分け方法や仕上り状態を設定できます。	p. 5-11
［連続読込み設定］	大量の原稿を数回に分けて読込むことができます。	p. 5-13
［回転しない］	セットされた用紙の向きに合わせて画像を回転させないようにコピーできます。	p. 5-14
［Language Selection］	言語選択画面を表示し、**タッチパネル**の表示言語を設定できます。 ショートカットキーが 2 つ設定されている場合は表示されません。	－
［ショートカットキー］	よく使う応用機能のショートカットキーを基本設定画面に配置できます。	－

5.1.1 ［カラー］

コピーをとるときの印刷カラーを選択できます。

印刷カラーは［オートカラー］、［フルカラー］、［2 色カラー］、［ブラック］、［単色カラー］から選択できます。

➔ ［基本設定］ ►► ［カラー］を押します。

設定

設定	説明	
［オートカラー］	読込んだ原稿がフルカラーか白黒かを検知し、フルカラー／ブラックを自動的に選択してコピーできます。	
［フルカラー］	読込んだ原稿の色に関わらずフルカラーでコピーできます。	
［2 色カラー］	読込んだ原稿の中で、カラーと判断した領域が指定した色でコピーされ、ブラックと判断した領域がブラックでコピーできます。	
［ブラック］	読込んだ原稿の色に関わらずモノクロでコピーできます。	
［単色カラー］	読込んだ原稿の色に関わらず、指定した 1 色でコピーできます。 1 色指定した場合、原稿上の色の違い（目で見た色の濃さ）と階調レベルを単色カラーの濃淡差としてコピーします。	
	［平均濃度］	原稿上の色の違いに関わらず、階調レベルのみを単色カラーの濃淡差としてコピーします。

5.1.2 ［用紙］

コピーする用紙の種類とサイズを選択したり、各給紙トレイにセットされている用紙サイズや用紙種類の設定を変更したりできます。

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で用紙を選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。

✔ ［OHP フィルム］を選択する場合は、あらかじめ［カラー］で［ブラック］を設定してください。

✔ 自動倍率と自動用紙は同時に設定できません。

✔ 専用紙設定した給紙トレイは、自動用紙機能で選択されません。（ただし、両面不可紙として設定された給紙トレイは、片面印刷の場合には、優先して選択されます。）特別な用紙を給紙トレイにセットした場合には必ず用紙種類を設定してください。専用紙について詳しくは、12-2 ページをごらんください。

➔ ［基本設定］▸▸［用紙］を押します。

設定

<table>
<tr><td colspan="2">［自動］</td><td colspan="2">原稿サイズに合わせて自動で用紙を選択することができます。</td></tr>
<tr><td>1 ～ 4</td><td>トレイ</td><td colspan="2" rowspan="2">手動で用紙を指定することができます。</td></tr>
<tr><td></td><td>［手差しトレイ］</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">［選択トレイの設定変更］</td><td colspan="2">選択した給紙トレイの用紙種類と用紙サイズを設定できます。</td></tr>
<tr><td>［用紙種類］</td><td>選択した給紙トレイの用紙種類を設定できます。</td></tr>
<tr><td>［用紙サイズ］</td><td>選択した給紙トレイの用紙サイズを設定できます。
［自動検出］：
用紙サイズを自動的に検出します。
［12-1/4×18］（［トレイ 2］のみ）：
12-1/4×18 を選択することができます。
［定型サイズ］（［手差しトレイ］のみ）：
指定した用紙サイズ専用の給紙トレイとして使用できます。
［不定形サイズ］（［手差しトレイ］のみ）：
用紙サイズを入力します。
［ワイド紙］：
原稿サイズに対して、ひと回り大きいサイズの用紙を選択できます。</td></tr>
</table>

不定形サイズを設定する

➔ ［基本設定］▸▸［用紙］▸▸［手差しトレイ］▸▸［選択トレイの設定変更］▸▸［不定形サイズ］を押します。

設定

［X］／［Y］	用紙の長さ［X］／幅［Y］を入力します。	
［メモリー登録］	用紙サイズを登録できます。	
	［memory1］～［memory5］	登録するメモリーキーを選択します。
	［不定形名称変更］	メモリーキーの名称を変更できます。

ワイド紙を設定する

➔ ［基本設定］▸▸［用紙］▸▸［手差しトレイ］▸▸［選択トレイの設定変更］▸▸［ワイド紙］を押します。

設定

［ワイド紙］	セットする用紙のサイズを選択します。	
［サイズ変更］	［X］／［Y］	用紙の長さ［X］／幅［Y］を入力します。
	［プリセット用紙サイズ］	［12×18 ▭］を選択することができます。

5.1.3　[倍率]

原稿の画像サイズを拡大、縮小できます。

✔　自動倍率と自動用紙は同時に設定できません。

✔　自動倍率を指定し、原稿よりも大きな用紙に拡大コピーしたい場合は、用紙の向きに合わせて原稿をセットします。

➔　[基本設定] ▸▸ [倍率] を押します。

設定

[自動]	原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率が選択されます。	
[等倍]	原稿の画像を原寸（等倍）でコピーできます。	
[フリー設定]	・ コピー倍率（25.0%～ 400.0%）を入力できます。 ・ [独立ズーム] では縦横の比率を変えて入力できます。	
	[倍率登録]	倍率を入力し、登録するキーを選択します。 [登録倍率] に登録した倍率が表示されます。
[小さめ]	原稿の画像を原稿サイズや指定した倍率より、わずかに縮小してコピーします。また、原稿の画像は欠損されることなく用紙の中央に配置されます。 原稿全体を用紙に収めてコピーしたい場合に選択します。	
[-] / [+]	コピー倍率（25.0%～ 400.0%）を縦横比を変えずに入力できます。	
[固定倍率]	定形サイズの原稿から定形サイズの用紙にコピーする場合、あらかじめ設定された倍率を選択することができます。	
[登録倍率]	登録されているコピー倍率を選択できます。登録されているコピー倍率は [倍率登録] で変更することができます。	

参照

画像の回転を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ [ユーザー設定] ▸▸ [コピー設定] ▸▸ [拡大ローテーション] を押します。

5.1.4 ［両面 / ページ集約］

原稿の読込み面と用紙の印刷面をそれぞれ片面にするか両面にするかを設定できます。また、複数枚（2 枚、4 枚、8 枚）の原稿画像を、1 枚の用紙に縮小してコピーできます。

［両面 / ページ集約］機能を使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。

➔ ［基本設定］▸▸ ［両面 / ページ集約］を押します。

設定

［片面＞片面］	
［両面＞片面］	
［片面＞両面］	
［両面＞両面］	

設定

<table>
<tr><td rowspan="3">［開き方向］</td><td colspan="2">原稿およびコピーの開き方向を設定します。
［開き方向］を設定しない場合、目的のコピーにならないことがあります。
［片面 > 片面］を選択した場合は［開き方向］は設定できません。</td></tr>
<tr><td>［原稿開き方向（とじしろ）］</td><td>原稿の開き方向を［左開き］、［右開き］、［上開き］、［自動］から選択します。
・ 原稿開き方向で［自動］を押すと、原稿のとじしろが自動で選択されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。
・ 原稿開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろが設定されます。</td></tr>
<tr><td>［コピー開き方向（とじしろ）］</td><td>コピーの開き方向を［左開き］、［右開き］、［上開き］、［自動］から選択します。
・ コピー開き方向で［自動］を押すと、原稿の方向から用紙へのとじしろ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろ位置を設定します。
・ コピー開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじしろ位置が設定されます。</td></tr>
<tr><td>［原稿セット方向］</td><td colspan="2">ADF や原稿ガラスにセットした原稿のセット方向を設定します。
［原稿セット方向］を設定しない場合、目的のコピーにならないことがあります。</td></tr>
<tr><td>［しない］</td><td colspan="2">ページ集約は行われません。</td></tr>
<tr><td>［2 in 1］</td><td colspan="2">2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にコピーできます。
原稿が縦向きの場合
原稿が横向きの場合</td></tr>
</table>

設定

［4 in 1/8 in 1］	［4 in 1］	4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にコピーできます。 <横順> <縦順>
	［8 in 1］	8 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にコピーできます。 <横順> <縦順>
	［横順］	原稿の集約順（ページ並び）を指定します。
	［縦順］	

5.1.5 ［仕上り］

コピーを排紙トレイに排紙するときの仕分け方法や仕上りの状態を設定できます。

✔ ステープル機能はオプションの**フィニッシャー FS-527** または**フィニッシャー FS-529** を装着した場合に使用できる機能です。
✔ パンチ機能はオプションの**フィニッシャー FS-527** に**パンチキット PK-517** を装着した場合に使用できる機能です。
✔ ［紙折り / 中とじ］は、オプションの**フィニッシャー FS-527** に**中綴じ機 SD-509** を装着した場合に使用できる機能です。
✔ ［ステープル］と［仕分け］は組合わせて使用できません。
✔ ［中折り］、［中とじ］と［仕分け］、［ステープル］、［パンチ］は組合わせて使用できません。

➔ ［基本設定］▸▸［仕上り］を押します。

設定

［ソート（1 部ごと）］	複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、部数ごとに複数枚コピーできます。
［グループ（ページごと）］	複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、ページごとに複数枚コピーできます。

設定

［仕分け］［する］／［しない］	複数枚の原稿を複数部数コピーする場合に、コピーのまとまりを区別できるように排紙するかどうか選択します。
	フィニッシャー FS-527、フィニッシャー FS-529 またはセパレーター JS-505 を装着していない場合： 以下の条件を満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。 ・ A4、B5 または 8-1/2 × 11 の用紙を使用する ・ サイズと種類の同じ用紙を 方向と 方向にセットする ・ 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
	フィニッシャー FS-527、フィニッシャー FS-529 またはセパレーター JS-505 を装着時： コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。
［紙折り / 中とじ］	コピーした用紙の中央をステープルでとじたり、用紙の中央で 2 つ折りにしたりして排紙できます。 ［中折り］　［中とじ］
［ステープル］	コピーした用紙のコーナーまたは 2 点をステープルでとじて排紙できます。
［パンチ］	コピーした用紙にパンチ穴（とじ穴）をあけて排紙できます。
［位置指定］	ステープル位置やパンチ位置を設定します。
	自動を選択すると、セットした原稿の方向から用紙へのステープルまたはパンチ位置を自動的に判断します。 ・ 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にステープルまたはパンチ位置を設定します。 ・ 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にステープルまたはパンチ位置を設定します。 ・ ステープルまたはパンチ位置は上側または左側に設定されます。 ・ 原稿は必ず天部が奥側になるようにセットしてください。 ・ 必要に応じて［原稿セット方向］を押し、原稿のセットされている向きを指定します。

5.1.6 ［連続読込み設定］

原稿の枚数が多く ADF の積載量を超える場合などに、原稿を数回に分けて読込ませ、ひとつのコピージョブとして扱うことができます。また原稿の読込みを ADF と**原稿ガラス**に切換えながらコピーすることもできます。

✔ ADF に最大枚数を超える原稿をセットしないでください。原稿づまりや原稿破損、故障の原因となります。

✔ ソートや両面コピー、集約コピーなどを**原稿ガラス**を使用してコピーする場合、連続読込みを設定しないで複数枚の原稿を読込むことができます。

1 原稿をセットします。

2 ［基本設定］▸▸［連続読込み設定］を押します。

3 **スタート**を押します。

原稿が読込まれます。

4 次の原稿をセットし、**スタート**を押します。

➔ 読込み設定を変更する場合は、［設定変更］を押します。

5 全ての原稿が読込まれるまで、手順 4 の操作を続けます。

6 全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押します。

7 **スタート**を押します。

参照

連続読込み方法を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［ユーザー設定］▸▸［コピー設定］▸▸［連続読込み方法］を押します。

5.1.7 ［回転しない］

セットされた用紙の向きに合わせて画像を回転させないようにコピーします。

ABC
AB C
ABC

✔ 用紙サイズ、倍率によっては、画像が欠ける場合があります。

➔ ［基本設定］▸▸ ［回転しない］を押します。

5.2 ［原稿指定］

目的のコピーをとるために、原稿の状態やセット方向などを設定します。

➔ ［原稿指定］を押します。

設定

［混載原稿］	サイズの異なる複数枚の原稿を一度に ADF にセットし読込むことができます。	
［Z 折れ原稿］	折りぐせのある原稿を ADF にセットしコピーする場合に、原稿サイズを正確に検知してコピーできます。	
［原稿サイズ］	［自動］を選択すると、原稿サイズが自動検出されます。 原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	原稿サイズを入力します。
	［写真サイズ］	写真サイズを選択します。
［原稿のとじしろ］	両面原稿を読込んでコピーする場合、原稿画像の上下が逆になってコピーされないように原稿開き方向（原稿のとじしろ）を指定してコピーできます。	
	［自動］	原稿のとじしろが自動で設定されます。 ・ 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろが設定されます。 ・ 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろが設定されます。
［原稿セット方向］	両面原稿を読込んでコピーする場合や両面コピー、集約コピーをする場合に、ADF や**原稿ガラス**にセットした原稿のセット方向を設定します。	
［汚れ軽減モード］	ADF に原稿をセットする場合に、**スリットガラス**の汚れがコピーに及ぼす影響を軽減できます。	

混載原稿をコピーする

サイズの異なる複数枚の原稿を一度に ADF にセットし読込むことができます。

原稿と同じサイズの用紙にコピーしたい場合は、［倍率］で［等倍］、［用紙］で［自動］を選択します。全ての原稿を同じサイズの用紙にコピーしたい場合は［倍率］で［自動］、［用紙］で印刷したいサイズを選択します。

✔ ［片面＞両面］と自動用紙を設定したとき、表面とサイズが異なる用紙が裏面にあたる場合、裏面は白紙になります。例えば、A3、A4 の順番で片面の原稿をコピーした場合、表（A3）/ 裏（白）と表（A4）/ 裏（白）がコピーされます。

重要
全ての原稿は ADF の左側と奥側を基準にしてセットしてください。

1 ADF の**ガイド板**を最も大きな原稿サイズに合わせます。

2 原稿の表面を上にして、原稿を読込み順に ADF にセットします。

3 ［原稿指定］を押します。

4 ［混載原稿］を押します。

➔ 設定を中止する場合は、再度［混載原稿］を押し、反転表示を解除してください。

混載原稿で使用できる定形紙の組合わせは以下のとおりです。

原稿サイズ	最大原稿幅								
	A3 ▭	A4 ▯	B4 ▭	B5 ▯	A4 ▭	A5 ▯	B5 ▭	A5 ▭	B6 ▭
A3 ▭	○	○	−	−	−	−	−	−	−
A4 ▯	○	○	−	−	−	−	−	−	−
B4 ▭	○	○	○	○	−	−	−	−	−
B5 ▯	○	○	○	○	−	−	−	−	−
A4 ▭	○	○	○	○	○	○	−	−	−
A5 ▯	−	−	○	○	○	○	−	−	−
B5 ▭	−	−	○	○	○	○	○	−	−
A5 ▭	−	−	−	−	−	−	○	○	−
B6 ▭	−	−	−	−	−	−	−	○	○

○ 可能
− 不可能

Z 折れ原稿をコピーする

折りぐせのある原稿を ADF にセットしコピーする場合に、原稿サイズを正確に検知してコピーできます。

1 枚目の原稿のサイズ長を検知し、それよりあとは同じサイズとして読込みます。

重要
折りぐせのついた原稿は、ADF にセットする前に伸ばしてください。伸ばさずにコピーをすると、紙づまりの原因になります。

1 原稿を ADF にセットします。

2 ［原稿指定］を押します。

3 ［Z 折れ原稿］を押します。

➔ 設定を中止する場合は、再度［Z 折れ原稿］を押し、反転表示を解除してください。

5.3 ［画質 / 濃度］

原稿の状態に合わせて機能を選択し、よりよいコピーの画質 / 濃度に調整します。

➔ ［画質 / 濃度］を押します。

設定

［原稿画質］	原稿画質（原稿の文字や画像の種類）を選択してコピーすると、よりよい画質のコピー結果が得られます。	
	［文字］	文字のみで構成された原稿をコピーするのに適した機能です。コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像が得られます。
	［文字 / 写真］	［印画紙写真］： 文字と写真が混在する原稿の写真部分が、印画紙に印刷されている場合に適した機能です。滑らかなコピー画像が得られます。 ［印刷写真］： 文字と写真が混在するパンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適した機能です。
	［写真］	［印画紙写真］： 原稿の写真部分が、印画紙に印刷されている場合に適した機能です。通常の機能では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。滑らかなコピー画像が得られます。 ［印刷写真］： パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適した機能です。通常の機能では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。
	［地図］	地図などの下地色付原稿や鉛筆、色細線で描かれた原稿からコピーするのに適した機能です。 シャープなコピー画像が得られます。
	［薄文字原稿］	文字のみで構成された原稿で、原稿の濃度が薄い文字（鉛筆原稿など）からコピーするのに適した機能です。コピーされた文字の濃度を濃く再現し、読みやすい文字が得られます。
	［コピー原稿］	本機で印刷した画像（原稿）からコピーするのに適した機能です。
［濃度］	コピーの濃度（こく、うすく）を調整できます。	
［下地調整］	下地に色が付いている原稿（新聞紙や再生紙など）や裏面が透けてしまう薄い原稿などをコピーする場合に下地の濃度を調整できます。 ［下地濃度レベル］で［自動］を選択すると、下地の濃度を自動的に判断し最適な下地濃度でコピーします。 ［下地除去］は、通常は［裏写り除去］を選択しますが、下地に色が付いている原稿をコピーする場合などは［黄ばみ除去］を選択すると、下地を除去する調整をしてコピーできます。	
［文字再現］	原稿の写真と文字が重なっている場合（背景文字）に文字の再現レベルを調整し、背景の上にある文字をはっきりさせることができます。 背景上の文字を強調したい場合は、［文字優先］を押し + 側に調整します。 背景イメージを強調したい場合は、［背景優先］を押し - 側に調整します。 ［文字再現］は［写真］以外を選択した場合に設定できます。	
［光沢コピー］	印刷画像に光沢をつけてコピーできます。	

5.4 ［応用設定］

コピーをとるときの応用的な設定を行います。

項目		
［ページ編集］	コピーする用紙に他の用紙を挿入したり、表紙を付けたりします。また、複数部の原稿を異なる設定で読み込むことができます。	p. 5-21
［カラー編集］	原稿の濃淡、階調を反転させたり、原稿の画像を左右反転させたりします。また、原稿の背景に色をつけたり、カラー画質を調整したりします。	p. 5-28
［連写 / リピート］	本やカタログのコピーについて設定します。また 1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーしたり、画像を分割し各パートを拡大してコピーしたりします。	p. 5-32
［とじしろ］	コピーする用紙のとじしろ（余白）を設定できます。	p. 5-36
［画像の収め方］	原稿より用紙が大きい場合、画像の配置のしかたを設定できます。	p. 5-37
［小冊子］	雑誌や週刊誌のように中とじ用のページレイアウトになるよう、読込んだ原稿のページ順を自動的に入れ換えて 2 in 1 で両面コピーします。	p. 5-38
［消去］	原稿の周囲の不要部分を消去したり、**原稿ガラス**にセットした原稿以外の部分を消去したりします。	p. 5-40
［スタンプ / ページ印字］	日付 / 時刻やページ番号、スタンプなどを印字してコピーできます。また、不正コピーを防止する情報を埋め込みコピーできます。	p. 5-41
［カードコピー］	保険証や免許証、名刺など、カードサイズの原稿の表面と裏面を 1 枚の用紙にコピーできます。	p. 5-55
［ボックス保存］	読込んだ原稿をボックスに保存できます。	p. 5-56

5.4.1 ［ページ編集］

［OHP 合紙］

OHP フィルムにコピーする場合に、コピー後の熱で OHP フィルム同士が貼り付くのを防ぐために、間に用紙（合紙）を挿入してコピーできます。

✔ OHP フィルムはブラックのみに対応しています。
✔ 合紙用の用紙は OHP フィルムと同じサイズの用紙を使用してください。
✔ コピー部数は 1 です。変更できません。
✔ 仕上りの機能は変更できません。
✔ OHP フィルムは**手差しトレイ**にセットしてください。
✔ 1 度通紙した OHP フィルムは、品質の低下や紙づまり、故障の原因になりますので使用しないでください。（白紙状態で排紙された OHP フィルムでも再使用できません）

1 原稿をセットします。

2 ［基本設定］▸▸ ［カラー］▸▸ ［ブラック］を押します。

3 OHP フィルムを**手差しトレイ**にセットします。合紙用の用紙を目的の給紙トレイにセットします。

4 **手差しトレイ**の［用紙種類］を［OHP フィルム］に設定し［OK］を押します。

5 ［応用設定］▸▸ ［ページ編集］▸▸ ［OHP 合紙］を押します。

設定

［合紙用紙］	OHP 合紙をセットした給紙トレイを選択します。
［OHP フィルム］	セットした OHP フィルムの用紙サイズが表示されます。

参照

カラー設定をブラックに設定するには：

［基本設定］▸▸ ［カラー］▸▸ ［ブラック］を押します。

［カバーシート］

表カバーや裏カバーの付いた原稿をコピーする場合に、表カバー、裏カバーだけを別の用紙にコピーできます。また、表カバーや裏カバーのない原稿をコピーする場合に、表カバー、裏カバーとして白紙の用紙を挿入できます。

✔ 表紙用の用紙と本文用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。

➔ ［応用設定］▸▸［ページ編集］▸▸［カバーシート］を押します。

設定

［なし］	表 / 裏カバーのコピーまたは白紙挿入は行いません。
［表コピー］	片面コピーの場合： 原稿の 1 枚目が表カバー用の用紙にコピーされます。 両面コピーの場合： 原稿の 2 枚目は表カバー用の用紙の裏面にコピーされます。
［表白紙］	コピーの 1 枚目に表カバー用の用紙が挿入されます。
［裏コピー］	片面コピーの場合： 原稿の最終ページが裏カバー用の用紙にコピーされます。 両面コピーの場合： 原稿枚数が偶数のときは、原稿の最後 2 ページが裏カバー用の用紙に両面コピーされます。
［裏白紙］	コピーの最終ページに裏カバー用の用紙が挿入されます。
［用紙］	表 / 裏カバーのコピーする用紙または白紙挿入する用紙をセットした給紙トレイを選択します。

参照

両面コピーを設定するには：

［基本設定］▸▸［両面 / ページ集約］を押します。

［インターシート］

指定のページに別の用紙（色紙等）を挿入してコピーできます。用紙の挿入方法には［コピーする］と［コピーしない］の 2 種類があり、挿入紙にコピーするかどうかを選択できます。

✔ 最大 30 箇所まで指定用紙を挿入することができます。

✔ 挿入紙と原稿用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。

➔ ［応用設定］▸▸［ページ編集］▸▸［インターシート］を押します。

設定

［P---］	別の用紙の挿入位置を指定します。
［ソート実行］	指定したページが小さい順に並びかわります。
［挿入紙］	挿入する用紙をセットした給紙トレイを選択します。
［コピーする］	指定ページに指定用紙が挿入され、原稿がコピーされます。 指定ページを「2」に設定した場合 片面コピーの場合： コピーの 2 枚目に指定用紙が挿入され、原稿 2 ページ目がコピーされます。 両面コピーの場合： コピーの 1 枚目裏面が白紙でコピーされ、コピーの 2 枚目に指定用紙が挿入され、原稿 2 ページ目と 3 ページ目が両面コピーされます。
［コピーしない］	指定ページの後ろに指定用紙が挿入されます。 指定ページを「3」に設定したとき 片面コピーの場合： コピーの 4 枚目に指定用紙が挿入されます。 両面コピーの場合： コピーの 2 枚目裏面が白紙でコピーされ、コピーの 3 枚目に指定用紙が挿入されます。

参照

両面コピーを設定するには：

［基本設定］▸▸［両面 / ページ集約］を押します。

［差込みページ］

最初に ADF で読込んだ原稿に、あとから**原稿ガラス**で読込んだ複数の原稿を、指定の箇所に差込んでコピーできます。

✔ 差込みページは指定したページの後ろに差込み原稿が挿入されます。
✔ 最大 30 箇所まで別の原稿を差込むことができます。
✔ 差込みページ画面で指定したページ数よりも多い原稿を、**原稿ガラス**で読込んだ場合、残りの差込み原稿は最終ページのあとに続けて印刷されます。
✔ **原稿ガラス**の原稿は、ADF で読込まれた原稿と同じ設定で読込まれます。
✔ 差込みページ画面で指定したページ数よりも少ない原稿を、**原稿ガラス**で読込んだ場合、原稿が不足している差込みページは印刷されません。
✔ 同じページを 2 度入力した場合、該当箇所に差込み原稿 2 枚分が差込まれます。
✔ 入力したページが差込まれる原稿の総ページ数より大きい場合、該当の差込み原稿は最終ページの後ろに差込まれます。

1 原稿を ADF にセットします。

2 ［応用設定］▸▸ ［ページ編集］▸▸ ［差込みページ］を押します。

設定

［P---］	**原稿ガラス**で読込んだページの挿入位置を指定します。
［ソート実行］	指定したページが小さい順に並びかわります。

3 **スタート**を押します。

4 差込み原稿を、**原稿ガラス**にセットします。

5 **スタート**を押します。

➔ 複数枚の原稿を差込む場合は、手順 4 と 5 を繰り返し、全ての差込み原稿を差込む順に読込みます。

6 ［読込み終了］を押します。

7 **スタート**を押します。

コピーが開始されます。

［章分け］

両面コピーする場合、章の先頭ページを指定すると、そのページが必ず表面になるようにコピーします。指定ページがコピーの裏面にくる場合は白紙ページが挿入され、指定ページは次のページの表面にコピーされます。

✔ 章の先頭ページは、最大 30 箇所まで指定できます。

✔ 章分け機能を設定すると［片面 > 両面］が設定されます。両面原稿の場合は［両面 > 両面］を設定してください。

✔ 章分け紙と原稿用のコピー用紙が異なる場合は、用紙サイズと向きを合わせてセットします。

➔ [応用設定] ▸▸ [ページ編集] ▸▸ [章分け] を押します。

設定

[P---]	章の先頭ページを指定します。
[ソート実行]	指定したページが小さい順に並びかわります。
[章分け紙]	章の先頭ページに別の用紙を挿入するとき、挿入する用紙の給紙トレイを指定できます。
[コピー挿入]	章の先頭ページを別の用紙でコピーできます。
[なし]	全てのページを同じ用紙でコピーします。

参照

両面コピーを設定するには：

[基本設定] ▸▸ [両面 / ページ集約] を押します。

[プログラムジョブ]

まとめてコピーしたい原稿の中に、等倍コピーしたい片面原稿、拡大コピーしたい両面原稿などいろいろな種類のものが含まれている場合に、それぞれの原稿ごとに異なる設定で読込み一度にまとめてコピーできます。

1 部の原稿だけ倍率や用紙を変更したり、全ての原稿を読込んだあとで仕上り機能やナンバリングを設定してコピーしたりできます。

✔ 原稿は 100 種類まで読込むことができます。

✔ プログラムジョブを設定する場合、仕上りの [グループ (ページごと)] を選択することはできません。[ソート (1 部ごと)] を選択してください。

1 [応用設定] ▸▸ [ページ編集] ▸▸ [プログラムジョブ] を押します。

2 目的のコピー条件を設定して、**スタート**を押します。

3 ［読込み確定］を押します。

➔ ［読み直し］を押した場合、読込んだジョブを削除します。［設定変更］を押してコピー条件を設定します。

➔ 原稿を原稿ガラスにセットした場合は［読み込み終了］を押します。

4 次の原稿をセットして［設定変更］を押します。

5 目的のコピー条件を設定して、**スタート**を押します。

➔ 手順 3 ～ 5 を繰り返し、全ての原稿を読込みます。

6 全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押します。

7 ［終了する］を押します。

8 必要に応じて、仕上りのコピー条件を設定します。

9 ［実行］またはスタートを押します。

5.4.2 ［カラー編集］

［ネガポジ反転］

原稿の濃淡および色（階調）を反転させてコピーします。

原稿の画像は、写真のネガフィルムのように反転されてコピーされます。

✔ 単色カラーが設定されている場合は、選択されている色でカラー反転されます。

✔ ベースカラーが設定されている場合は、選択されているベースカラーを含めてカラー反転されます。

→ ［応用設定］▸▸［カラー編集］▸▸［ネガポジ反転］を押します。

➔ ネガポジ反転機能を解除するときは再度［ネガポジ反転］を押します。

参照

単色カラーを設定するには：

［基本設定］▸▸［カラー］▸▸［単色カラー］を押します。

ベースカラーを設定するには：

［応用設定］▸▸［カラー編集］▸▸［ベースカラー］を押します。

［鏡像］

原稿の画像を鏡に映ったイメージでコピーできます。

➔ ［応用設定］▸▸［カラー編集］▸▸［鏡像］を押します。

設定

［原稿サイズ］	［自動］を選択すると、原稿サイズが自動検出されます。 原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	原稿サイズを入力します。
	［写真サイズ］	写真サイズを選択します。

［ベースカラー］

原稿白地部分に指定した色で背景色をつけてコピーできます。

➔ [応用設定] ▸▸ [カラー編集] ▸▸ [ベースカラー] を押します。

設定

[カラー選択]	背景色を選択します。

[カラー画質調整]

カラー画質調整では、カラーコピーの原稿を元にイメージに合った画質に調整できます。

1 [応用設定] ▸▸ [カラー編集] ▸▸ [カラー画質調整] を押します。

設定

[明度]	コピーの明るさの度合いを調整できます。
[コントラスト]	コピーの濃淡の度合いを調整できます。
[彩度]	フルカラーコピーの場合に、コピーの色の鮮やかさの度合いを調整できます。
[赤色]	フルカラーコピーの場合に、コピーの赤色の色あいをそれぞれ調整できます。
[緑色]	フルカラーコピーの場合に、コピーの緑色の色あいをそれぞれ調整できます。

設定	
［青色］	フルカラーコピーの場合に、コピーの青色の色あいをそれぞれ調整できます。
［色相］	フルカラーコピーの場合に、コピーの色相を調整できます。 色相とは、赤、青、黄というようにそれぞれ区別される色あいのことです。赤みを強くしたり、青みを強くしたりできます。
［コピー濃度］	コピー濃度（こく、うすく）を調整できます。
［シャープネス］	コピーした文字のエッジ部分を強調させて読みやすくします。また、原稿のきつすぎる印象をなめらかな感じにさせたり、ぼやけた印象をくっきりさせたりできます。
［カラーバランス］	フルカラーコピーの場合に、コピーのイエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各濃度を調整します。 フルカラーコピーは、イエロー、マゼンタ、シアンの 3 色にブラックを加えた計 4 色のトナーを混ぜ合わせることで原稿の色を再現しています。 4 色のトナーそれぞれの分量を変えることで、コピーの色あいをきめ細かく調整できます。

2　各機能を設定します。

➔ カラー画質調整の設定により、実際どのような仕上りになるか［サンプルコピー］を押して確認することができます。

5.4.3 [連写 / リピート]

[ブック連写]

本やカタログなどの見開き原稿を、左右のページに分割、または分割しないでコピーします。

原稿は**原稿ガラス**にセットして、ADF を開いたままコピーすることができます。また、原稿の画像は用紙の中央に配置してコピーすることができます。

- ✔ 原稿は**原稿ガラス**にセットします。
- ✔ [ブック連写] を選択した場合、[画像の収め方] の設定が [センタリング] に、[消去] の設定が [原稿外消去] へと自動的に設定されます。[センタリング] については、5-37 ページをごらんください。[原稿外消去] については、5-40 ページをごらんください。自動的に設定された [センタリング]、[原稿外消去] は解除することができます。
- ✔ [見開き] または [分割] を選択した場合は、**スタート**を押すと印刷が開始されます。
- ✔ [表 + 裏カバー] を選択した場合は、表カバーを読込んだあと、裏カバーを読込み、最後に見開き本文原稿をページ順に読込みます。
- ✔ [表カバー] を選択した場合は、表カバーを読込んだあと、見開き本文原稿をページ順に読込みます。
- ✔ [表 + 裏カバー] または [表カバー] を選択した場合は、全ての原稿を読込んだあと、[読込み終了] を押し**スタート**を押すと印刷が開始されます。

➔ [応用設定] ▸▸ [連写 / リピート] ▸▸ [ブック連写] を押します。

設定

[見開き]	見開き原稿が 1 ページ分の原稿としてコピーされます。	
[分割]	見開き原稿がページ順に左右 1 ページずつ分割してコピーされます。	
[表カバー]	表カバー + ページ順の分割コピーの順でコピーされます。	
[表 + 裏カバー]	表カバー + ページ順の分割コピー + 裏カバーの順でコピーされます。	
[枠消し]	本の周りにできる黒い影を消去します。	
	[枠全体]	枠全体の消去幅を指定します。
	[枠 : 上]、[枠 : 右]、[枠 : 下]、[枠 : 左]	上、右、下、左の消去幅を指定します。
	[消去しない]	枠は消去されません。
[折り目消し]	本の中央部にできる黒い影を消去します。	

設定

［開き方向 / とじ方向］	原稿のとじ方向を選択します。 ［分割］［表カバー］［表 + 裏カバー］を選択すると指定できます。

［リピート］

1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーできます。原稿と用紙のサイズ、または倍率に応じてコピーする画像の数を自動的に算出させるか、任意のリピート回数を指定します。

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［連写 / リピート］ ▸▸ ［リピート］を押します。

設定

［余白を除く］	原稿の読込み範囲が全て収まるように複数コピーします。選択範囲が収まりきらない部分はコピーされません。	
［用紙いっぱい］	原稿の読込み範囲を用紙サイズいっぱいまで複数コピーします。ただし、画像の欠ける部分があります。	
［自動検出］	読込み範囲を自動検出します。	
［範囲指定］	［自動］を選択すると、原稿サイズが自動検出されます。 原稿サイズが自動検出されなかったり、読込み範囲を指定する場合は、原稿サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	原稿サイズを入力します。
	［写真サイズ］	写真サイズを選択します。
［定型リピート］	［2 リピート］ ［4 リピート］ ［8 リピート］	原稿の読込み範囲を指定した回数だけコピーします。ただし、用紙に収まりきらない画像は欠けた状態になります。 ［2 リピート］のみ［リピート間隔指定］の設定が可能です。
	［リピート間隔指定］	画像の間隔を指定します。

［拡大連写］

原稿の画像を A0 サイズや B0 サイズなど、本機にセットできる用紙サイズを超えるサイズに拡大コピーできます。原稿サイズとできあがりサイズ（拡大コピー後のサイズ）を指定してコピーすると、原稿の画像を分割したものが、それぞれ別々の用紙に拡大コピーされます。この分割画像のコピーをつなぎ合わせると、できあがりサイズの拡大コピーが完成します。

A3 サイズの用紙 8 枚に分割コピーし、この 8 枚のコピーをつなぎ合わせて、A0 サイズのポスターを作ることができます。

✔　原稿は**原稿ガラス**にセットします。
✔　拡大連写で設定されるコピー部数は 1 です。

➔　［応用設定］▸▸［連写／リピート］▸▸［拡大連写］を押します。

設定

［画像サイズ］	できあがり画像サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	できあがり画像サイズを入力します。
［用紙サイズ］	コピーのできあがりを収めるサイズを選択します。	
［倍率］	できあがり倍率を入力します。	
［原稿サイズ］	［自動］を選択すると、原稿サイズが自動検出されます。 原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	原稿サイズを入力します。
	［写真サイズ］	写真サイズを選択します。

［カタログ連写］

ステープルを取外したカタログを原稿とし、元のカタログと同じように用紙の中央をステープルでとじてコピーできます。

1. ステープル

✔ オプションの**フィニッシャー FS-527** に**中綴じ機 SD-509** が装着されている場合に使用できます。

重要
カタログはステープルを外した状態でセットしてください。

1 原稿をセットします。

➔ **原稿ガラス**を使用する場合は、1 ページ目を含む面、2 ページ目を含む面、3 ページ目を含む面という順番にセットします。

➔ ADF を使用する場合は、1 ページ目を含む面が 1 番上になるようにセットします。

2 ［応用設定］▸▸ ［連写 / リピート］▸▸ ［カタログ連写］を押します。

3 **スタート**を押します。

4 全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押し、**スタート**を押します。

5.4.4 ［とじしろ］

ファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつくってコピーします。また両面コピーする場合、原稿画像の上下が逆になってコピーされないように用紙開き方向（用紙のとじしろ）を指定してコピーできます。

［左開き / とじ］

［上開き / とじ］

［右開き / とじ］

✔ とじしろの余白は作らずに開き方向だけを指定することができます。
✔ 両面コピーする場合、用紙の開き方向と原稿セット方向を設定しておかないと、原稿画像の上下が正しくコピーされないことがあります。
✔ ステープルやパンチの位置指定ととじしろの位置が異なる場合、ステープルやパンチ位置の設定が優先されます。
✔ とじしろの設定により画像が欠けてしまう場合は、倍率を縮小してコピーしてください。

➔ ［応用設定］▸▸ ［とじしろ］を押します。

設定

［とじしろ方向］	［自動］、［左開き / とじ］、［上開き / とじ］、［右開き / とじ］から選択します。 自動を選択すると、とじしろ方向は自動で設定されます。 ・ 原稿の方向から用紙へのとじしろ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじしろ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじしろ位置を設定します。 ・ とじしろ位置は上側または左側に設定されます。 ・ 原稿は必ず天部が奥側になるようにセットしてください。それ以外の向きだと、正しく設定できません。	
［画像シフト］	とじしろに応じて画像位置を調整します。	
	［裏面編集］	両面コピーする場合の裏面の画像位置を調整します。
［調整値］	とじしろ幅（0.1 mm ～ 20.0 mm）を入力します。［なし］が設定されている場合は、とじしろ幅は 0 mm に設定されます。	
［原稿セット方向］	ADF や**原稿ガラス**にセットした原稿のセット方向を設定します。	

参照

倍率を設定するには：

［基本設定］ ▸▸ ［倍率］を押します。

5.4.5 ［画像の収め方］

原稿に対して用紙が大きい場合に、原稿の画像を用紙サイズいっぱいに拡大し、用紙の中央に配置してコピーできます。

［フルサイズ］

ABCD → ABCD

［センターズーム］

ABCD → ABCD

［センタリング］

ABCD → ABCD

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［画像の収め方］を押します。

設定

［フルサイズ］	原稿全体が用紙に収まる最大サイズまで画像を拡大し、用紙の中央に配置してコピーします。 原稿は**原稿ガラス**にセットします。	
［センターズーム］	原稿の短辺が用紙に収まる最大サイズまで画像を拡大し、用紙の中央に配置してコピーします。ただし、画像の欠ける部分があります。 原稿は**原稿ガラス**にセットします。	
［センタリング］	原稿の画像を拡大しないで、用紙の中央に配置してコピーします。	
［原稿サイズ］	［自動］を選択すると、原稿サイズが自動検出されます。 原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	原稿サイズを入力します。
	［写真サイズ］	写真サイズを選択します。

5.4.6 ［小冊子］

雑誌や週刊誌のように中とじ用のページレイアウトになるよう、読込んだ原稿のページ順を自動的に入れ換えて 2 in 1 で両面コピーできます。

［左開き］

［右開き］

✔ オプションの**フィニッシャー FS-527** に**中綴じ機 SD-509** が装着されている場合、中とじまたは中折りできます。

✔ 原稿枚数は片面原稿の場合は 4 の倍数、両面原稿の場合は 2 の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。

✔ 自動用紙設定時、小冊子を選択すると倍率は自動的に 70.7% に設定されます。

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［小冊子］ を押します。

設定

［左開き］／［右開き］	コピーの開き方向を選択します。
［中とじ］	コピーした用紙のセンター 2ヶ所にステープルし、2 つ折りにして排紙します。
［中折り］	コピーした用紙を 2 つ折りにして排紙します。
［しない］	コピーした用紙を中とじ、中折りしないで排紙します。
［用紙］	コピーする用紙がセットされた給紙トレイを選択します。
［カバーシート］	表カバーや裏カバーの付いた原稿をコピーする場合に、表カバー、裏カバーだけを別の用紙にコピーできます。また、表カバーや裏カバーのない原稿をコピーする場合に、表カバー、裏カバーとして白紙の用紙を挿入できます。

参照

お勧め倍率に設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［ユーザー設定］ ▸▸ ［コピー設定］ ▸▸ ［集約 / 小冊子倍率］ を押します。

5.4.7 [消去]

[枠消し]

パンチ穴の影や、受信したファクス用紙の受信記録の印字など原稿の周囲の不要部分を消去してコピーできます。原稿の周囲 4 辺を同じ幅で消去したり、辺ごとに異なる幅で消去したりできます。

A:0.1mm~50.0mm

➔ [応用設定] ▸▸ [消去] ▸▸ [枠消し] を押します。

設定

[枠全体]	原稿の周囲 4 辺を同じ幅で消去します。
[枠 : 上] [枠 : 右] [枠 : 下] [枠 : 左]	辺ごとに異なる幅で消去します。
[+] ／ [-]	[+] [-] を押して、消去幅を 0.1 mm ～ 50.0 mm の間で設定できます。または消去幅はテンキーでも入力できます。
[消去しない]	消去幅は 0 mm で設定されます。

[原稿外消去]

ADF にセットできない原稿を**原稿ガラス**の任意の位置にセットして、ADF を開いたままコピーすることができます。

このとき、セットした原稿は自動的に検知され、原稿の外側部分は消去されます。

消去方法には [斜角消去]、[矩形消去] があり、原稿の下地が薄い場合は [斜角消去]、濃い場合は [矩形消去] されます。

ADF を開け閉めすることなく、任意の位置に原稿をセットできるため、すばやくコピーすることができます。また、原稿の外側部分は消去されるため、トナーの消費をおさえることができます。

[矩形消去]

［斜角消去］

✔ 希望どおり消去されない場合は、管理者設定の［消去補正］で［消去動作］を設定してください。
✔ 自動的に検知できる原稿サイズは 10 mm × 10 mm 以上です。
検知できなかった場合は、白紙が排紙されます。
✔ ADF を閉じてコピーすることはできません。
✔ 原稿の画像が先端や後端で欠損する場合があります。

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［消去］ ▸▸ ［原稿外消去］を押します。

参照
消去動作を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［環境設定］ ▸▸ ［エキスパート調整］ ▸▸ ［消去補正］を押します。

5.4.8 ［スタンプ / ページ印字］

日付 / 時刻やページ番号を入れたり、スタンプや画像、ヘッダー / フッターを入れたりしてコピーすることができます。

項目	
［日付 / 時刻］	日付や時刻を入れてコピーできます。
［ページ番号］	ページ番号や章番号を入れてコピーできます。
［スタンプ］	あらかじめ登録されている定型スタンプや登録したスタンプを入れてコピーできます。
［コピーセキュリティー］	不正コピー防止用の隠し文字を入れてコピーできます。また、コピー禁止情報が埋め込まれた文字やパスワードが埋め込まれた文字を入れてコピーできます。
［繰り返しスタンプ］	スタンプや日時などを用紙に繰り返してコピーできます。
［ヘッダー / フッター］	日付や時刻などを用紙の上部、下部に入れてコピーできます。
［ウォーターマーク］	用紙の中央にウォーターマーク（淡い文字）を入れてコピーできます。
［オーバーレイ］	1 枚目に読込んだ原稿の画像を、2 枚目以降の原稿の画像に重ね合わせてコピーできます。
［登録オーバーレイ］	読込んだ原稿の画像をハードディスクに保存し、あとで別の原稿をコピーする場合に呼び出して使用できます。

［日付 / 時刻］

印字位置や表記形式を選択し、日付や時刻を印字できます。全ページに印字するか、先頭ページだけに印字するか選択できます。

✔ 日付 / 時刻はカバーシート機能、インターシート機能、章分け機能によって挿入される白紙ページには印字できません。管理者設定で白ページ印字の設定を変更すると、印字することができます。

✔ 原稿読込み時の日付 / 時刻が、用紙に印字されます。

➔ ［応用設定］▸▸［スタンプ / ページ印字］▸▸［日付 / 時刻］を押します。

設定	
［日付種類］	日付の種類（形式）を選択します。
［時刻種類］	時刻の種類（形式）を選択します。［なし］を選択すると時刻は印字されません。
［印字ページ］	日付 / 時刻を全てのページに印字するか、先頭ページのみ印字するか選択します。

設定

［印字位置指定］	印字位置 9 種類から選択します。	
	［位置調整］	左右、上下位置を 0.1 mm ～ 50.0 mm の間で調整します。
［文字詳細］	文字の色、文字のサイズ、文字の種類を設定します。	

参照
白ページ印字を設定するには：
設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］▸▸ ［環境設定］▸▸ ［白紙ページ印字設定］を押します。

［ページ番号］

印字位置や表記形式を選択し、ページ番号や章番号を印字できます。ページ番号および章番号は、全ページに印字されます。

✔ ページ番号はカバーシート機能、インターシート機能、章分け機能によって挿入される白紙ページには印字できません。管理者設定で白ページ印字の設定を変更すると印字することができます。

➔ ［応用設定］▸▸ ［スタンプ / ページ印字］▸▸ ［ページ番号］を押します。

設定

［印字開始ページ番号］ ［印字開始章番号］	・ ［ページ］は -99999 ～ 99999 の範囲で、［章］は -100 ～ 100 の範囲で設定します。 ・ ［*］を押すと設定値の +、- を入換えることができます。 ・ - の値を設定すると、1 になるまで印字されません。たとえば「-1」を設定した場合、コピー 3 ページ目の［1］から印字されます。 ・ 章番号は、［ページ種類］で［1-1,1-2...］を選択した場合に印字されます。
［ページ種類］	ページの種類（形式）を選択します。

設定

［挿入紙印字指定］	カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能と同時設定する場合に設定します。	
	［カバーシート］	［表裏カバーに印字］： 表裏カバーに印字します。 ［裏カバーのみ印字］： 裏カバーに印字し、表カバーは印字されません。片面コピーは「2」から、両面コピーは「3」からページが印字されます。 ［カバーシートに印字しない］： 表裏カバーは印字されません。片面コピーは「2」から、両面コピーは「3」からページが印字されます。
	［コピー挿入紙］	［印刷する］： 挿入ページに印字します。 ［印刷しない］： 挿入ページはカウントされるのみで印字されません。 ［スキップ］： 挿入ページはカウントも印字もされません。
	［白紙挿入紙］	［印刷しない］： 挿入ページはカウントされるのみで印字されません。 ［スキップ］： 挿入ページはカウントも印字もされません。
［印字位置指定］	印字位置 9 種類から選択します。	
	［位置調整］	左右、上下位置を 0.1 mm ～ 50.0 mm の間で調整します。
［文字詳細］	文字の色、文字のサイズ、文字の種類を設定します。	

参照

カバーシート機能、インターシート機能、章分け機能を設定するには：

［応用設定］▸▸ ［ページ編集］を押します。

章分け機能を設定するには：

［応用設定］▸▸ ［ページ編集］▸▸ ［章分け］を押します。

白ページ印字を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］▸▸ ［環境設定］▸▸ ［白紙ページ印字設定］を押します。

［スタンプ］

印字位置や表記形式を選択し、スタンプを印字できます。全ページに印字するか、先頭ページだけ印字するかを選択できます。

✔ スタンプとは印字内容の固定の文字列で、あらかじめ用意されています。また、Copy Protection Utility で登録したスタンプを選択することができます。

✔ スタンプはカバーシート機能、インターシート機能、章分け機能によって挿入される白紙ページには印字できません。管理者設定で白ページ印字の設定を変更すると、印字することができます。

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［スタンプ / ページ印字］ ▸▸ ［スタンプ］を押します。

設定

［定型スタンプ種類］	印字するスタンプを 8 種類から選択できます。	
［印字ページ］	スタンプを全てのページに印字するか、先頭ページのみ印字するか選択します。	
［文字サイズ］	スタンプの文字サイズを選択します。	
［文字の色］	スタンプの文字の色を選択します。	
［印字位置指定］	印字位置 9 種類から選択します。	
	［位置調整］	左右、上下位置を 0.1 mm ～ 50.0 mm の間で調整します。

参照

白ページ印字を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［環境設定］ ▸▸ ［白紙ページ印字設定］を押します。

［コピープロテクト］

社外秘などの定型スタンプや日付など、不正コピー防止用の隠し文字を背景の中に目立たないように印字できます。コピープロテクトが印字された文書をコピーすると、用紙全体に文字が浮かび上がって印字されるため、不正コピーであることが分かります。

✔ コピープロテクトは全ページに印字されます。ページ指定はできません。
✔ 選択したコピープロテクトは配列順に表示され、8 行分まで組合わせて使用できます。
✔ 登録スタンプを登録するには、PageScope Web Connection または Copy Protection Utility を使用します。
✔ 登録スタンプまたは定型スタンプでの複数選択はできません。

➔ ［応用設定］▸▸［スタンプ / ページ印字］▸▸［コピーセキュリティー］▸▸［コピープロテクト］を押します。

設定

［登録スタンプ］	登録したスタンプを選択できます。	
［定型スタンプ］	印字するスタンプを 8 種類から選択できます。	
［日付 / 時刻］	日付の種類、時刻の種類を選択します。時刻種類で［なし］を選択すると時刻は印字されません。 原稿読込み時の日付 / 時刻が、用紙に印字されます。	
［その他］	［ジョブ番号］	コピーのジョブ番号が印字できます。
	［シリアル番号］	本機のシリアル番号が印字できます。 シリアル番号の設定については、サービス実施店にお問い合わせください。
	［部数管理番号］	コピーの部数管理番号が印字できます。 部数管理番号は 1 ～ 99999999 の範囲で設定します。
［詳細設定］	［文字と背景の色］、［濃度］、［コピープロテクトパターン］、［文字サイズ］、［パターン上書き］、［背景パターン］を設定します。	
［配置確認 / 変更］	選択されているコピープロテクトが 4 行分までの場合に、角度の変更ができます。	
	［配置変換 / 削除］	配置順を変更します。目的のコピープロテクトを選択して、［上へ移動］または［下へ移動］を押します。 コピープロテクトにスペースを入れる場合は、［スペース挿入］を選択します。設定したコピープロテクトの種類の横に表示された ○ を［上へ移動］または［下へ移動］で移動させ、［挿入する］を押します。 コピープロテクトを削除する場合は、［削除］を押して目的のコピープロテクトを押します。

参照

登録したスタンプを削除するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［スタンプ設定］▸▸［登録スタンプ削除］を押します。

［コピーガード］

社外秘などの定型スタンプや日付などのコピープロテクトにコピーガード用のパターンを埋め込んで印字します。

本機能に対応した装置では、コピーガードされた用紙をコピーしようとしても、コピーガード用のパターンが読取られ、コピーを中断しジョブを破棄します。

ABCD ➡ ➡ ABCD ➡ ⇨ NG

✔ 文字は、あらかじめ登録されている［定型スタンプ］から指定します。
✔ コピーガードは全ページに印字されます。ページ指定はできません。
✔ 選択したコピーガードは配列順に表示され、6 行分まで組合わせて使用できます。
✔ ［定型スタンプ］、［日付 / 時刻］、［その他］を同時に選択できます。
✔ ［定型スタンプ］での複数選択はできません。
✔ 色紙、封筒、OHP フィルムにコピーガードは印字できません。

➔ ［応用設定］▸▸［スタンプ / ページ印字］▸▸［コピーセキュリティー］▸▸［コピーガード］を押します。

ジョブ表示
設定内容
コピーガードを設定できます
部数 1
応用設定 > コピーセキュリティー > コピーガード
する しない
自動 100.0%
コピーガード種類
定型スタンプ
詳細確認
日付/時刻 その他
詳細設定
2009/09/18 10:26
メモリー残量 100%
OK

設定

［コピーガード種類］	［定型スタンプ］	印字するスタンプを 8 種類から選択できます。
	［日付 / 時刻］	用紙に印字する日付や時刻の書式（タイプ）を指定します。原稿読込み時の日付や時刻を印字します。
	［その他］	用紙に印字する［ジョブ番号］、［シリアル番号］、［部数管理番号］を設定します。 ［シリアル番号］は、本機が出荷されるときに付けられている番号です。設定について詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
［詳細設定］	用紙に印字する［文字と背景の色］、［コピーガードパターン］、［文字サイズ］、［背景パターン］を設定します。	

参照

コピーガードを設定、検出するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［セキュリティー詳細］▸▸［コピーガード］を押します。

［パスワードコピー］

社外秘などの定型スタンプや日付などのコピープロテクトとパスワードコピー用のパスワードを埋め込んで印字します。

本機能に対応した装置では、パスワードコピーされた用紙をコピーしようとすると、パスワードコピー用のパターンが読取られ、パスワードの入力を求められます。正しいパスワードが入力されるとコピーが開始されます。

ABCD
1234
ABCD
1234
1234
ABCD
12
NG

✔ 文字は、あらかじめ登録されている［定型スタンプ］から指定します。
✔ パスワードコピーは全ページに印字されます。ページ指定はできません。
✔ 選択したパスワードコピーは配列順に表示され、6 行分まで組合わせて使用できます。
✔ ［定型スタンプ］、［日付 / 時刻］、［その他］を同時に選択できます。
✔ ［定型スタンプ］での複数選択はできません。
✔ 色紙、封筒、OHP フィルムにパスワードコピーは印字できません。
✔ パスワードの入力を 3 回間違えると、コピー中のジョブは消去されます。
✔ 倍率、2 色カラー、モノクロカラー、カラー画質調整、色紙、封筒、OHP フィルムを設定したコピーで、パスワードが検出されると、コピー中のジョブは消去されます。
✔ パスワードの異なる原稿を複数枚読込んだ場合、原稿ごとにパスワードを入力する必要があります。

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［スタンプ / ページ印字］ ▸▸ ［コピーセキュリティー］ ▸▸ ［パスワードコピー］を押します。

ジョブ表示
設定内容
スタンプを設定できます
部数
1
応用設定 > パスワードコピー > スタンプ設定
自動 100.0%
スタンプ種類
定型スタンプ
詳細確認
日付/時刻
その他
詳細設定
2009/04/01 17:03
メモリー残量 100%
閉じる

設定

［スタンプ種類］	［定型スタンプ］	印字するスタンプを 8 種類から選択できます。
	［日付 / 時刻］	用紙に印字する日付や時刻の書式（タイプ）を指定します。原稿読込み時の日付や時刻を印字します。
	［その他］	用紙に印字する［ジョブ番号］、［シリアル番号］、［部数管理番号］を設定します。 ［シリアル番号］は、本機が出荷されるときに付けられている番号です。設定について詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
［詳細設定］	用紙に印字する［文字と背景の色］、［パスワードコピーパターン］、［文字サイズ］、［背景パターン］を設定します。	

参照

パスワードコピーを設定、検出するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［セキュリティー設定］ ▸▸ ［セキュリティー詳細］ ▸▸ ［パスワードコピー］を押します。

［繰り返しスタンプ］

スタンプや日時などを印字内容として設定し、ページ全体に繰り返して印字できます。

- ✔ 繰り返しスタンプの印字内容は全ページに印字されます。
- ✔ 選択したスタンプは配列順に表示され、8 行分まで組合わせて使用できます。
- ✔ 登録スタンプを登録するには、PageScope Web Connection または Copy Protection Utility を使用します。
- ✔ 登録スタンプまたは定型スタンプでの複数選択はできません。

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［スタンプ / ページ印字］ ▸▸ ［繰り返しスタンプ］を押します。

設定

［登録スタンプ］	登録したスタンプを選択できます。	
［定型スタンプ］	印字するスタンプを 8 種類から選択できます。	
［日付 / 時刻］	日付の種類、時刻の種類を選択します。時刻種類で［なし］を選択すると時刻は印字されません。 原稿読込み時の日付 / 時刻が、用紙に印字されます。	
［その他］	［ジョブ番号］	コピーのジョブ番号が印字できます。
	［シリアル番号］	本機のシリアル番号が印字できます。 シリアル番号の設定については、サービス実施店にお問い合わせください。
	［部数管理番号］	コピーの部数管理番号が印字できます。 部数管理番号は 1 ～ 99999999 の範囲で設定します。
［詳細設定］	［文字の色］、［濃度］、［文字サイズ］、［パターン上書き］を選択します。	

設定

［配置確認 / 変更］	選択されている繰り返しスタンプが 4 行分までの場合に、角度の変更ができます。	
	［配置変更 / 削除］	配置順を変更します。目的の繰り返しスタンプを選択して、［上へ移動］または［下へ移動］を押します。 繰り返しスタンプにスペースを入れる場合は、［スペース挿入］を選択します。設定した繰り返しスタンプの種類の横に表示された ○ を［上へ移動］または［下へ移動］で移動させ、［挿入する］を押します。 繰り返しスタンプを削除する場合は、［削除］を押して目的の繰り返しスタンプを押します。

参照

登録したスタンプを削除するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］▸▸ ［セキュリティー設定］▸▸ ［スタンプ設定］▸▸ ［登録スタンプ削除］を押します。

［ヘッダー / フッター］

用紙の上部または下部に、日付 / 時刻や文字列などを印字できます。ページごとに日付 / 時刻や配布番号を印字します。ヘッダー / フッターはあらかじめ登録されている内容で印字できますが、一時的に印字内容を変更して印字することもできます。

✔ ヘッダー / フッターを使用するには、あらかじめ管理者設定でヘッダー / フッターを登録しておく必要があります。管理者設定でヘッダー / フッターが登録されていない場合、［ヘッダー / フッター］のメニューは表示されません。

➔ ［応用設定］▸▸ ［スタンプ / ページ印字］▸▸ ［ヘッダー / フッター］を押します。

設定

［ヘッダー / フッター呼出し］	使用するヘッダー / フッターを選択します。

設定

[確認 / 一時変更]	登録されているヘッダー / フッターの設定内容を確認 / 一時変更することができます。	
	[ヘッダー設定] [フッター設定]	ヘッダー / フッターを印刷するかどうか設定します。印刷する場合、以下の設定を行うことができます。 [文字列]： ヘッダー / フッターの文字列を入力します。 [日付 / 時刻]： 日付の種類、時刻の種類を選択します。 [その他]： 部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号を印字するか設定します。
	[印字ページ]	ヘッダー / フッターを全てのページに印字するか、先頭ページのみ印字するか選択します。
	[文字詳細]	[文字の色]、[文字サイズ]、[文字種類] を選択します。
[変更中止]	変更した設定内容をもとに戻します。	

参照

ヘッダー / フッターを登録するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ [管理者設定] ▸▸ [環境設定] ▸▸ [スタンプ設定] ▸▸ [ヘッダー / フッター設定] を押します。

[ウォーターマーク]

印字内容を設定し、用紙中央にウォーターマーク（淡い文字）を印字できます。印字内容には、[複写] [社外秘] などあらかじめ用意されている固定の文字列を選択します。

ウォーターマークを入れてコピーすることにより、コピーした用紙の取扱いを明確に示すことができます。また、コピーした用紙からの不正コピーを事前に防ぐことができます。

✔ ウォーターマークは、全ページに 45 度で印字されます。また 1 ページに 1 回印字されます。

✔ 他のコピー設定により、ウォーターマークの印字が欠けてしまう場合は、ウォーターマークを解除しコピーされます。

➔ [応用設定] ▸▸ [スタンプ / ページ印字] ▸▸ [ウォーターマーク] を押します。

設定

［ウォーターマーク種類］	ウォーターマークを 8 種類から選択します。 選択したウォーターマークが原稿の画像に重ね合わせて印字されます。
［文字の色］	ウォーターマークの色を［ブラック］、［マゼンタ］、［シアン］から選択します。 ウォーターマークが選択した色で印字されます。

［オーバーレイ］

1 枚目に読込んだ原稿の画像を、2 枚目以降の原稿の画像に重ね合わせてコピーできます。たとえば、オーバーレイを設定して 3 枚の原稿をコピーすると「1 枚目 +2 枚目の合成画像」と「1 枚目 +3 枚目の合成画像」の 2 枚が排紙されます。

オーバーレイ機能は、他のスタンプ / ページ印字機能に用意されていない文字、絵、図などを原稿に重ね合わせたい場合に便利です。

➔ ［応用設定］▸▸［スタンプ / ページ印字］▸▸［オーバーレイ］を押します。

設定

［印字ページ］	オーバーレイ画像を全てのページに印字するか、先頭ページのみ印字するか選択します。［先頭ページのみ］を選択すると原稿の 2 枚目のみに印字されます。	
［原稿サイズ］	［自動］を選択すると、原稿サイズが自動検出されます。 原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	原稿サイズを入力します。
	［写真サイズ］	写真サイズを選択します。
［濃度］	オーバーレイ画像の濃度をテンキーで入力します。（入力範囲：20 ～ 100 %）	
［画像の色］	オーバーレイ画像の色を［フルカラー］/［ブラック］/［レッド］/［ブルー］/［グリーン］/［イエロー］/［シアン］/［マゼンタ］から選択します。	

設定

［合成方法］	［明度合成］	重ね合わせるオーバーレイ画像の明度を高くして合成します。合成したオーバーレイ画像が原稿を隠してしまうということがありません。
	［下地合成（原稿）］	原稿を下地として合成します。原稿の上にオーバーレイ画像が重なって印刷されます。
	［原稿の背面］	オーバーレイ画像を下地として合成します。オーバーレイ画像の上に原稿が重なって印刷されます。

［登録オーバーレイ］

読込んだ原稿の画像を登録オーバーレイとしてハードディスクに保存しておき、あとで別の原稿をコピーする場合に呼び出して使用できます。よく使用するオーバーレイ画像を登録しておくと便利です。

REPORT REPORT

➔ ［応用設定］▸▸［スタンプ / ページ印字］▸▸［登録オーバーレイ］を押します。

設定

［画像呼出し］	登録オーバーレイ画像を表面、裏面のどちらに印刷するかを指定します。 項目を選択すると、オーバーレイ画像の選択と設定を行います。 ・ オーバーレイが登録されていない場合は選択することができません。	
	［画像表示］/［名称表示］	画像表示にすると、オーバーレイ画像を確認できます。名称表示にすると、ファイル名で確認できます。使用するオーバーレイ画像を選択してください。
	［詳細設定］	［濃度］：オーバーレイ画像の濃度をテンキーで入力します。（入力範囲：20 ～ 100%） ［画像の色］：オーバーレイ画像の色を［フルカラー］/［ブラック］/［レッド］/［ブルー］/［グリーン］/［イエロー］/［シアン］/［マゼンタ］から選択します。 ［合成方法］： ・［明度合成］ 重ね合わせるオーバーレイ画像の明度を高くして合成します。合成したオーバーレイ画像が原稿を隠してしまうということがありません。 ・［下地合成（原稿）］ 原稿を下地として合成します。原稿の上にオーバーレイ画像が重なって印刷されます。 ・［原稿の背面］ オーバーレイ画像を下地として合成します。オーバーレイ画像の上に原稿が重なって印刷されます。
	［画像詳細］	オーバーレイ画像の［登録名］［登録日］［画像サイズ］［画像の色］を確認できます。 ［プレビュー詳細］を押すとオーバーレイ画像を拡大して確認できます。
［画像登録］	［新規登録］	登録するオーバーレイ画像の名前を入力します。 原稿ガラスにオーバーレイ画像の原稿をセットし、**スタート** を押すとオーバーレイ画像が登録されます。
	［上書き］	上書きするオーバーレイ画像を選択し、［上書き］を押します。 原稿ガラスにオーバーレイ画像の原稿をセットし、**スタート** を押すとオーバーレイ画像が上書きされます。
	［削除］	削除するオーバーレイ画像を選択し、［削除］を押します。
	［詳細設定］	［濃度］： 登録するオーバーレイ画像の濃度を 20% ～ 100% の間で指定できます。 ［画像の色］： 登録するオーバーレイ画像の色を［オートカラー］、［フルカラー］、［ブラック］から選択します。
［印字ページ］	オーバーレイ画像を全てのページに印字するか、先頭ページのみ印字するか選択します。	
［原稿サイズ］	［自動］を選択すると、原稿サイズが自動検出されます。 原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを選択します。	
	［不定形サイズ］	原稿サイズを入力します。
	［写真サイズ］	写真サイズを選択します。

参照

登録オーバーレイの変更を禁止するには：

設定メニュー / カウンター ▶▶［管理者設定］▶▶［環境設定］▶▶［ユーザー操作禁止設定］▶▶［変更禁止設定］▶▶［登録オーバーレイ変更］を押します。

5.4.9 ［カードコピー］

保険証や免許証、名刺など各種カードの表裏を別々に読込み、1 枚の用紙に並べてコピーできます。

カードをそのままのサイズでコピーしたり、用紙に合わせ拡大してコピーしたりできます。

カードコピーを使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。

✔ カードは原稿ガラスに正立にセットしてください。
✔ カードコピーと自動用紙は同時に設定できません。
✔ 倍率の設定によっては、画像が欠ける場合があります。

➔ ［応用設定］ ▸▸ ［カードコピー］を押します。

設定

［原稿サイズ］	［X］、［Y］を押し、コピーするカードのサイズを入力します。また、あらかじめ設定されたサイズを［size1］～［size4］から選択します。
［レイアウト］	カードの表面と裏面の配置位置を設定します。
［変倍］	カードをそのままのサイズでコピーするか、用紙に合わせ拡大してコピーするか設定します。

参照

カードコピーの初期値を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［コピー設定］ ▸▸ ［カードコピー設定］を押します。

5.4.10 ［ボックス保存］

読込んだ原稿のデータを本機内蔵のハードディスク（ボックス）に保存しておくことができます。ボックスに保存した文書は、必要に応じて印刷できます。

保存した文書の使用については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

→ ［応用設定］▸▸ ［ボックス保存］を押します。

設定

［保存先ボックス］	保存するボックスを選択します。
［文書名］	読込んだ原稿に付ける文書名を指定します。 自動的につけられた文書名が表示されます。文書名を変更することができます。
［同時印刷］	［する］： 読込んだ原稿がコピーされ、同様に指定したボックスに保存されます。 ［しない］： 読込んだ原稿が指定したボックスに保存されます。

5.5　左エリア表示

基本設定画面の左エリアに、ジョブ一覧やジョブの状態に関する情報を表示できます。

また、設定中の仕上り状態を表示できます。

ジョブ表示　　　　設定内容

設定

［ジョブ表示］	現在実行中、および待機中のジョブ一覧が表示されます。 ユーザー設定でジョブ表示設定を［状態表示］にしている場合は、ジョブの状態が表示されます。	
	［削除］	ジョブ一覧のジョブを選択し［削除］を押すと、そのジョブを削除できます。
	［ジョブ詳細］	ジョブ表示画面が表示されます。
［設定内容］	設定中の仕上り状態などを表示します。	
	［詳細確認］	現在設定されているコピー条件の確認、変更ができます。

参照

左エリアで初期表示される内容を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［ユーザー設定］▸▸［画面カスタマイズ設定］▸▸［左エリア初期表示設定］を押します。

他のユーザーがジョブを削除することを許可または禁止するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ユーザー操作禁止設定］▸▸［変更禁止設定］▸▸［他ユーザージョブ削除］を押します。

ジョブの印刷優先順位の変更を許可または禁止するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ユーザー操作禁止設定］▸▸［変更禁止設定］▸▸［ジョブ優先順位変更］を押します。

ジョブ履歴のファイル名や宛先を非表示にするには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［セキュリティー詳細］▸▸［個人情報非表示］を押します。

全てのジョブ履歴を削除するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［セキュリティー詳細］▸▸［イニシャライズ］▸▸［ジョブ履歴］を押します。

5.5.1 ［ジョブ表示］

ジョブ表示画面では、本機の実行中ジョブおよび実行済みジョブを一覧表示し、内容の確認や設定の変更を行うことができます。

✔ ユーザー認証を行っている場合に、他のユーザーがジョブを削除できない設定をしていると、削除できません。

✔ 管理者設定のジョブ優先順位変更を禁止に設定している場合は、［優先出力］は表示されず、優先出力は設定できません。

✔ 1 つのジョブの印刷中でも、別のジョブを登録できます。全てのジョブを合わせて最大 251 件まで登録できます。

✔ 管理者設定で認証方式を変更し、全ての管理データがクリアされると、［履歴リスト］のジョブが削除されます。

➔ ［ジョブ表示］▸▸ ［ジョブ詳細］▸▸ ［印刷］を押します。

設定

［印刷］	印刷ジョブの確認画面に切換わります。
［送信］	ファクス / スキャン送信ジョブの確認画面に切換わります。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。
［ファクス受信］	ファクス受信ジョブの確認画面に切換わります。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。
［保存］	保存ジョブの確認画面に切換わります。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

設定

［実行中リスト］	登録済みジョブ、現在実行中ジョブのリストです。現在の状況を確認できます。	
	［削除］	ジョブを削除できます。
	［優先出力］ （印刷機能実行中リストの場合に表示）	印刷中のジョブを中断して優先出力ジョブを印刷します。中断されたジョブは、割込んだジョブの印刷が完了すると自動的に印刷を再開します。 印刷中のジョブに、中断できない紙折りやステープルなどが設定されている場合は、印刷中のジョブの次に割込んだジョブを印刷します。
	［蓄積解除］ （印刷機能実行中リスト画面の場合に表示）	蓄積ジョブリストに切換わり、蓄積ジョブの設定変更、印刷、削除ができます。 蓄積ジョブリストには、確認コピー中にシステムオートリセットが機能するなど、印刷できなかったジョブが表示されます。 ・　必要に応じて［設定変更］を押し、コピー条件を変更できます。 ・　確認のため、［プレビュー］を押し、蓄積ジョブを 1 部印刷することができます。
	［設定内容］	登録されたジョブや印刷中のジョブ、印刷待ち、蓄積ジョブなどの設定内容を確認できます。
	［詳細］	実行中のジョブの状態、実行結果、エラー詳細、ユーザー名、登録時間、終了時間、原稿枚数、部数などを確認できます。 詳細確認画面で、［削除］を押すとジョブを削除できます。
［履歴リスト］	動作終了のジョブリストです。 ・　エラーなどで終了できなかったジョブも含みます。 ・　ジョブ履歴、実行結果を確認できます。 ・　左エリアの［読込み完了画像］には、選択したジョブの先頭ページがサムネイル表示されます。［読込み完了画像］にサムネイルを表示させるには、［管理者設定］の［ジョブ履歴サムネイル表示］を［表示する］に設定してください。詳しくは、7-45 ページをごらんください。	
	［消去ジョブ］	終了前に消去したジョブのみを表示します。
	［終了ジョブ］	正常終了したジョブのみを表示します。
	［全ジョブ］	全てのジョブを表示します。
	［詳細］	履歴リストのジョブの状態、実行結果、エラー詳細、ユーザー名、登録時間、終了時間、原稿枚数、部数などを確認できます。

5.5.2　［設定内容］

設定内容画面で、現在設定されているコピー条件の確認、変更ができます。

1　［設定内容］►►［詳細確認］を押します。

2　コピー条件を確認します。コピー条件を変更する場合は目的のキーを押します。

3　設定内容の確認が終了したら、［閉じる］を押します。

6 ［ユーザー設定］

6 ［ユーザー設定］

［ユーザー設定］はユーザーが調整できる設定項目です。

調整できる設定項目は、［管理者設定］によって異なります。［ユーザー設定］は、一度にすべてを初期値に戻すことはできません。すべてを初期値に戻す場合は、それぞれの設定を手動で戻すか、またはサービス実施店にご連絡ください。

設定項目

［環境設定］	本機の基本的な機能を設定できます。
［画面カスタマイズ設定］	ユーザーが使いやすいようにタッチパネルの表示を変更できます。
［コピー設定］	コピー機能で使用される機能を設定できます。
［ファクス / スキャン設定］	ファクス / スキャンの操作に関する設定ができます。
［プリンター設定］	プリンターの操作に関する設定ができます。
［パスワード変更］	現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
［E-mail アドレス変更］	登録ユーザーに設定されている E-mail アドレスを変更できます。
［アイコン変更］	登録ユーザーに設定されているアイコンを変更できます。
［認証情報登録］	現在ログインしているユーザーの生体認証情報または IC カード認証情報を登録 / 削除できます。
［携帯電話 /PDA 設定］	携帯電話、PDA からの印刷に関する設定ができます。

6.1 ［環境設定］

本機の基本的な機能を設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［ユーザー設定］ ▸▸ ［環境設定］を押します。

ジョブ表示
しおり表示
設定メニュー
ユーザー設定
環境設定
メニューキーまたはテンキーで項目を選択してください
設定メニュー > ユーザー設定 > 環境設定
1/2 ＊ ←前画面 次画面→ #
1 言語選択
2 単位系設定
3 給紙トレイ設定
4 オートカラーレベル調整
5 パワーセーブ設定
6 出力設定
7 AEレベル調整
8 小サイズ原稿
9 白紙ページ印字設定
0 ページ印字位置設定
2009/02/19 13:52
メモリー残量 100%
閉じる

設定項目

［言語選択］	タッチパネルに表示される言語を設定します。	
［単位系設定］	タッチパネルに表示される数値の単位を設定します。	
［給紙トレイ設定］	［給紙トレイ自動選択］	自動用紙機能がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。また、自動トレイ切換え機能がはたらいたとき、トレイを切換える優先順位を設定できます。 ・［自動用紙選択設定］は、普通の自動用紙選択で、普通紙以外の用紙種類を普通紙として扱いたい場合に設定します。
	［ATS 許可］	給紙トレイを手動で選択し、コピー中にそのトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えるかを設定できます。
	［指定給紙トレイ不一致動作］	指定した給紙トレイに該当する用紙が動作を設定できます。 ・［指定給紙トレイ固定］ 動作を停止します。 ・［指定給紙トレイ優先］ 指定給紙トレイに該当する用紙の有無を優先して判断し、ない場合、他の給紙トレイに該当する用紙があればその給紙トレイを選択します。
	［リスト印刷出力設定］	セールスカウンター、ユニットチェックなどのリストを出力するときの給紙トレイを設定できます。 また、リスト印刷を片面印刷するか両面印刷するか選択できます。
［オートカラーレベル調整］	オートカラー設定時のカラー原稿と白黒原稿の判定基準レベルを調整できます。	
［パワーセーブ設定］	7-3 ページをごらんください。	［管理者設定］でユーザー開放されている場合に表示されます。
［出力設定］	7-4 ページをごらんください。	
［AE レベル調整］	7-8 ページをごらんください。	

設定項目

<table>
<tr><td rowspan="4">［小サイズ原稿］</td><td colspan="2">自動用紙設定時、原稿ガラスにセットした原稿が小さいためにサイズ検出されない場合に、使用される用紙サイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>［小サイズでコピー可］</td><td>A5 サイズの用紙に印刷されます。
・ A5 サイズの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイに A5 サイズの用紙をセットするよう、表示されます。</td></tr>
<tr><td>［A4 でコピー可］</td><td>A4 サイズの用紙に印刷されます。</td></tr>
<tr><td>［コピー不可］</td><td>使用する給紙トレイを手動で選択し、スタートを押すと印刷されます。</td></tr>
<tr><td>［白紙ページ印字設定］</td><td colspan="2">［管理者設定］でユーザー開放されている場合に表示されます。詳しくは、7-20 ページをごらんください。</td></tr>
<tr><td>［ページ印字位置設定］</td><td colspan="2">両面印刷や小冊子を設定しページ番号を印字する場合に、ページ番号の印字位置を設定します。各ページ同じ位置に印字するか、とじ位置で対称となるよう印字するかを選択できます。</td></tr>
<tr><td>［キーボード選択］</td><td colspan="2">タッチパネルに初期表示されるキーボードの種類を選択します。</td></tr>
</table>

出荷時設定

［言語選択］	［日本語］
［単位系設定］	［mm（数値）］
［給紙トレイ自動選択］	［トレイの優先順位］ ［トレイ 1］ ▸▸ ［トレイ 2］ ▸▸ ［トレイ 3］ ▸▸ ［トレイ 4］ オプションの給紙トレイを装着している場合に、［トレイ 3］や［トレイ 4］が表示されます。
［ATS 許可］	［許可しない］
［指定給紙トレイ不一致動作］	［指定給紙トレイ固定］
［リスト印刷出力設定］	・ トレイ 1 ・ ［片面］
［オートカラーレベル調整］	標準（3）
［低電力設定］	15 分
［スリープ設定］	20 分
［受信印刷出力設定］	［プリンター］：［同時印刷］ ［ファクス］：［一括印刷］
［排紙トレイ設定］	・ ［コピー］：［トレイ 2］ ・ ［プリンター］：［トレイ 2］ ・ ［レポート出力］：［トレイ 1］ ・ ［ファクス］：［トレイ 1］ **フィニッシャー FS-527** または**セパレーター JS-505** を装着している場合に［排紙トレイ設定］が表示されます。 **フィニッシャー FS-527** に**セパレーター JS-603** を装着している場合、［トレイ 3］が表示されます。
［AE レベル調整］	標準（2）
［小サイズ原稿］	［コピー不可］
［白紙ページ印字設定］	［印字しない］
［ページ印字位置設定］	［左右とじ：同位置　上下とじ：同位置］
［キーボード選択］	［標準キーボード］

参照

自動用紙を設定するには：

［基本設定］ ►► ［用紙］ ►► ［自動］を押します。

オートカラーを設定するには：

［基本設定］ ►► ［カラー］ ►► ［オートカラー］を押します。

下地調整を自動に設定するには：

［画質 / 濃度］ ►► ［下地調整］ ►► ［自動］を押します。

6.2　［画面カスタマイズ設定］

ユーザーが使いやすいようにタッチパネルの表示を変更します。

➔　**設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［画面カスタマイズ設定］を押します。

設定項目

［コピー設定］	［基本画面表示］	コピー機能の基本設定画面を、通常の基本設定画面にするか、基本（一括）画面にするかを設定します。
	［ショートカットキー 1］	よく使うコピー応用機能のショートカットキーを基本設定画面に配置できます。 ショートカットキーを押すと設定する画面を表示することができます。 ・　オプションの**イメージコントローラー IC-412 v1.1** が装着されている場合は、ショートカットキーの設定は 1 つのみです。
	［ショートカットキー 2］	
	［簡単設定 1］	よく使うコピー機能の設定条件を登録し、基本設定画面に配置できます。 簡単設定のキーを押すだけで、登録した条件を呼出すことができます。
	［簡単設定 2］	
	［簡単設定 3］	
	［簡単設定 4］	
	［基本画面濃度表示］	基本設定画面にコピーの濃度設定を表示するかしないか設定します。［表示する］に設定すると、基本設定画面で［こく］または［うすく］を押してコピー濃度を調整できます。 ・　［表示する］に設定すると、［簡単設定 3］と［簡単設定 4］は設定できません。
［ファクス / スキャン設定］	ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。	
［ボックス設定］	ボックスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。	
［コピー動作中画面］	印刷中に次のジョブ予約をする場合に、［ボックス予約］、［ファクス / スキャン予約］、［コピー予約］を表示させるかメッセージ表示させるかを設定します。	
［ファクス動作中画面］	ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。	
［選択色設定］	キーの選択状態を示す色を指定できます。	
［左エリア初期表示設定］	［左エリア初期表示］	左エリアの初期表示を、実行中および待ち状態のジョブ一覧にするか、現在のコピー設定の内容にするかを設定します。
	［ジョブ表示設定］	左エリアの初期表示を［ジョブ表示］にした場合に、実行中および待ち状態のジョブを一覧で表示するか、実行中のジョブの進行状況を表示するかを設定します。

設定項目

［検索オプション設定］	ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

出荷時設定

［基本画面表示］	［基本設定］
［ショートカットキー 1］／［ショートカットキー 2］／［簡単設定 1］／［簡単設定 2］／［簡単設定 3］／［簡単設定 4］	［使用しない］
［基本画面濃度表示］	［表示しない］
［基本画面表示］（ファクス / スキャン設定）	［登録宛先から］
［ショートカットキー 1］／［ショートカットキー 2］（ファクス / スキャン設定）	［使用しない］
［プログラム初期表示］（ファクス / スキャン設定）	［PAGE1］
［アドレス帳初期表示］（ファクス / スキャン設定）	［常用］
［「登録宛先から」初期表示］（ファクス / スキャン設定）	［検索文字］
［宛先種類初期表示］（ファクス / スキャン設定）	［グループ］
［基本画面表示］（ボックス設定）	［共有］
［ショートカットキー 1］/［ショートカットキー 2］（ボックス設定）	［使用しない］
［印刷中画面表示］	［しない］
［選択色設定］	［グリーン］
［左エリア初期表示］	［ジョブ表示］
［ジョブ表示設定］	［リスト表示］
［英大文字と英小文字］	［区別する］
［検索オプション画面］	［表示しない］

6.3 ［コピー設定］

コピー機能で使用される機能を設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［コピー設定］を押します。

設定項目

項目	説明	
［中とじ時小冊子選択］	中とじを選択した場合に、自動的に小冊子が設定されるかどうかを設定します。 **フィニッシャー** FS-527 に**中綴じ機** SD-509 を装着した場合に表示されます。	
［集約 / 小冊子倍率］	自動用紙設定時に集約または小冊子を選択した場合に、自動で適した倍率にするかしないかを設定できます。 ・ お勧め倍率を設定すると、以下のように倍率が設定されます。 2in1、小冊子：70.7% 4in1：50.0% 8in1：35.3%	
［ソート / グループ自動切替え］	ADF を使用して複数ページの原稿をコピーする場合に、自動的にソートで出力されるかどうかを設定します。	
［コピー初期設定］	電源を入れた場合や**リセット**を押した場合に表示される、コピー機能の初期値を設定します。	
	［現在の設定値］	現在設定されている値が、初期設定として使用されます。
	［出荷時の設定値］	出荷時の設定が、初期設定として使用されます。
［拡大表示初期設定］	拡大表示画面の操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド 拡大表示機能編］をごらんください。	
［AMS 方向不可時動作］	自動倍率を設定し、原稿の向きが用紙の向きと異なる場合に、ジョブを印刷するか破棄するかを設定します。	
［連続読込み方法］	ADF に原稿を分割してセットする場合や、**原稿ガラス**で複数枚の原稿が読込まれる場合の出力を設定します。	
	［自動出力］	原稿読込み中でも出力可能な印刷が開始されます。
	［一括出力］	全ての原稿読込み終了後に印刷が開始されます。
［拡大ローテーション］	原稿の向きが用紙の向きと異なる場合に、大きな原稿画像を回転させて印刷するかどうかを設定します。	
［原稿ガラス自動倍率］	［管理者設定］でユーザー開放されている場合に表示されます。詳しくは、7-37 ページをごらんください。	
［ADF 自動倍率］		
［APS 解除時のトレイ指定］		
［インターシートトレイ選択］		

設定項目

[中折り単位]	複数ページの1つのジョブを、まとめて中折りするか、1枚ごとに中折りするか設定します。 中折りと同時に小冊子が選択されている場合、[一枚ごと]を設定してもまとめて中折りされます。 **フィニッシャー** FS-527 に**中綴じ機** SD-509 を装着した場合に表示されます。
[コピー操作時の印刷受付]	[管理者設定]でユーザー開放されている場合に表示されます。詳しくは、7-37 ページをごらんください。
[自動画像回転]	
[仕上りプログラム]	基本設定画面で、仕上りプログラムキーを表示するかどうかを設定します。表示する場合は、仕上りプログラムの内容を登録します。 よく使う仕上り機能を登録しておくと、基本設定画面に表示されるキーで一度に設定できます。 **フィニッシャー** FS-527 または**フィニッシャー** FS-529 を装着した場合に設定できます。
[カードコピー設定]	[管理者設定]でユーザー開放されている場合に表示されます。詳しくは、7-37 ページをごらんください。

出荷時設定

[中とじ時小冊子選択]	[自動選択する]
[集約 / 小冊子倍率]	[お勧め倍率]
[ソート / グループ切替え]	[する]
[コピー初期設定]	[出荷時の設定値]
[AMS 方向不可時動作]	[プリントする]
[連続読込方法]	[自動出力]
[拡大ローテーション]	[許可]
[原稿ガラス自動倍率]	[OFF]
[ADF 自動倍率]	[ON]
[APS 解除時のトレイ指定]	[APS 選択前トレイ]
[インターシートトレイ選択]	[トレイ 2]
[中折り単位]	[一括]
[コピー操作時の印刷受付]	[印刷する]
[自動画像回転]	[自動用紙／自動倍率設定時]
[仕上りプログラム]	[表示する]
[カードコピー設定]	・[レイアウト]:[上下] ・[変倍]:[フルサイズ]

6.4 ［ファクス / スキャン設定］

ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

6.5 ［プリンター設定］

プリンターの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

6.6 ［パスワード変更］

現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。

✔ パブリックユーザーはこの機能を使用できません。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［パスワード変更］を押します。

2 古いパスワードを入力し、［OK］を押します。

3 新しいパスワードを入力します。

4 ［パスワードの確認入力］を押し、再度パスワードを入力します。

5 ［OK］を押します。
新しいパスワードが設定されます。

6.7 ［E-mail アドレス変更］

登録ユーザーの情報として設定されている E-mail アドレスを変更します。

✔ 登録ユーザーとしてログインした場合に、E-mail アドレスを変更できます。

✔ ［管理者設定］でユーザー開放されている場合に表示されます。詳しくは、7-44 ページをごらんください。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［ユーザー設定］ ▸▸ ［E-mail アドレス変更］を押します。

2 ［E-mail アドレス］を押します。

3 E-mail アドレスを変更します。

4 ［OK］を押します。

6.8 ［アイコン変更］

登録ユーザーの情報として設定されているアイコンを変更します。

✔ 登録ユーザーとしてログインした場合に、アイコン変更できます。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［アイコン変更］を押します。

2 アイコンを選択し、［OK］を押します。

6.9 ［認証情報登録］

登録ユーザーの情報として設定されている生体認証情報または IC カード認証情報を登録したり、削除したりできます。

次の操作をした場合に、認証情報を登録したり、削除したりできます。

- **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［環境設定］ ▸▸ ［ユーザー操作禁止設定］ ▸▸ ［変更禁止設定］ ▸▸ ［生体 /IC カード情報登録］ ▸▸ ［許可］にします。
- **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［ユーザー認証 / 部門管理］ ▸▸ ［ユーザー認証設定］ ▸▸ ［ユーザー登録］ ▸▸ ［機能制限］ ▸▸ ［生体 /IC カード情報登録］ ▸▸ ［許可する］にします。
- 登録ユーザーとしてログインします。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［ユーザー設定］ ▸▸ ［認証情報登録］を押します。

2 ［編集］を押します。

➔ 認証情報を削除する場合は、［削除］を押します。

生体認証の場合

IC カード認証の場合

3 認証情報を登録します。

生体認証の場合、認証装置に指を置いて指静脈パターンを読取ります。

➔ 指静脈パターンの読取りは 3 回行い、同じ指を 1 回ごとに置きなおし［読取り］を押します。
➔ 指静脈パターンの読取り後、同じ指を置き［認証テスト］を押します。
➔ 認証テストで認証できた場合は、［登録］を押します。認証できない場合は、再度読取りを行います。

IC カード認証の場合、認証装置に IC カードを置き、［OK］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

6.10 ［携帯電話 /PDA 設定］

携帯電話、PDA を使用して本機で印刷する場合の設定を行います。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

7 ［管理者設定］

7 ［管理者設定］

［管理者設定］は管理者が調整する設定項目です。管理者設定にログインするには、管理者パスワードが必要です。

設定項目

［環境設定］	本機の基本的な機能を設定できます。
［管理者 / 本体登録］	管理者情報や本機の E-mail アドレスを登録できます。
［宛先 / ボックス登録］	ボックス、ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定ができます。
［ユーザー認証 / 部門管理］	本機の機能を制限する、認証の設定ができます。
［ネットワーク設定］	ネットワークに関する設定ができます。
［コピー設定］	コピー機能で使用される機能を設定できます。
［プリンター設定］	プリントの操作に関する設定ができます。
［ファクス設定］	ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定ができます。
［システム連携］	本機とアクセスできるソフトウェア、携帯電話、PDA などに関する設定です。
［セキュリティー設定］	機密データ処理のため、本機の機能を制限できます。
［ライセンス管理設定］	オプションの i-Option の機能を有効化できます。
［OpenAPI 認証管理設定］	弊社が推奨しない OpenAPI 連携アプリケーションを本機に登録できないように設定します。

7.1　［環境設定］

本機の基本的な機能を設定します。

7.1.1　［パワーセーブ設定］

パワーセーブ機能の設定をします。

➔ **設定メニュー / カウンター** ►►［管理者設定］►►［環境設定］►►［パワーセーブ設定］を押します。

設定項目

項目	説明	
［低電力設定］	本機の操作が行われず、低電力モードに切換わるまでの時間を設定します。	
［スリープ設定］	本機の操作が行われず、スリープモードに切換わるまでの時間を設定します。	
［パワーセーブキー節電切替］	**パワーセーブ**を押したときに開始されるパワーセーブ機能の種類を設定できます。	
	［低電力］	通常よりも節電効果が得られます。
	［スリープ］	低電力モードよりも節電効果が得られます。しかし、再操作時にウォームアップを必要とするため、準備時間は低電力モードよりもかかります。
［パワーセーブ移行］	PC 印刷後やファクス受信後の低電力モードへの切換えについて設定します。	
	［通常］	低電力設定で設定した時間で切換わります。
	［即時］	短時間で切換わります。

出荷時設定

項目	設定
［低電力設定］	15 分
［スリープ設定］	20 分
［パワーセーブキー節電切替］	［低電力］
［パワーセーブ移行］	［即時］

7.1.2 ［出力設定］

出力機能の設定をします。

→ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［出力設定］を押します。

設定項目

［受信印刷出力設定］	プリント、ファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。
［排紙トレイ設定］	機能ごとの出力で、優先される排紙トレイを設定します。 **フィニッシャー** FS-527 または**セパレーター** JS-505 を装着している場合に表示されます。
［ジョブごとの仕分け設定］	排出された用紙をジョブごとにシフトするかどうかを選択します。 **フィニッシャー** FS-527、**フィニッシャー** FS-529 または**セパレーター** JS-505 を装着している場合に表示されます。

出荷時設定

［受信印刷出力設定］	［プリンター］:［同時印刷］ ［ファクス］:［一括印刷］
［排紙トレイ設定］	・［コピー］:［トレイ 2］ ・［プリンター］:［トレイ 2］ ・［レポート出力］:［トレイ 1］ ・［ファクス］:［トレイ 1］ **フィニッシャー** FS-527 に**セパレーター** JS-603 を装着している場合、［トレイ 3］が表示されます。
［ジョブごとの仕分け設定］	［する］

7.1.3 ［日時設定］

現在の日時とタイムゾーンを設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［日時設定］を押します。

設定項目

［年］	現在の日時を設定します。
［月］	
［日］	
［時］	
［分］	
［タイムゾーン］	UTC（協定世界時）関連のタイムゾーンを設定します。

出荷時設定

［タイムゾーン］	+00:00

参照

現在の設定を解除するには：

C（クリアー）を押します。

7.1.4 ［サマータイム設定］

サマータイムを設定します。

✔ 本機が、UTC（協定世界時）を規定したネットワークに接続されている場合に、この機能を使用できます。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［サマータイム設定］を押します。

設定項目

サマータイムを適用するかどうかと、UTC（協定世界時）からの時差を設定します。

出荷時設定

［サマータイム設定］	［しない］

7.1.5 ［ウィークリータイマー設定］

ウィークリータイマーを設定すると、指定した日時に電源を ON/OFF できます。

✔ あらかじめ、日時設定を正確に行っておく必要があります。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ウィークリータイマー設定］を押します。

設定項目

［ウィークリータイマー使用設定］	ウィークリータイマー機能を使用するかしないかを設定できます。	
［タイマー予約時刻設定］	本体電源の ON/OFF 時刻を、曜日ごとに設定します。	
	［一括設定］	選択した曜日の設定が、すべての曜日に適用されます。
	［削除］	選択した入力値が取消されます。
［動作日設定］	タイマー動作させる日を、1 日ずつ個別に設定します。設定を取消す場合は、再度同じ日を押します。	
	［曜日別一括設定］	タイマー動作させる日を、曜日ごとに設定します。
［昼休み OFF 機能設定］	昼の休憩中などの一定時間に本機の電源を OFF する場合、電源の OFF/ON する時刻を設定できます。	
［時間外パスワード設定］	設定時間外に本機を使用する場合に、パスワードを入力させるかどうかを設定します。 ・ 入力させる場合はパスワードを設定します。	

出荷時設定

［ウィークリータイマー使用設定］	［しない］
［昼休み OFF 機能設定］	［しない］
［時間外パスワード設定］	［しない］

7.1.6　［ユーザー操作禁止設定］

ユーザーに対して、操作やコピープログラムの、変更や削除を制限できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ユーザー操作禁止設定］を押します。

設定項目

［コピープログラムロック設定］	登録されたコピープログラムの変更や削除を禁止する設定ができます。	
［コピープログラム削除］	登録されたコピープログラムを削除できます。	
［変更禁止設定］	ユーザーに以下の設定を許可するかどうかを設定します。	
	［ジョブ優先順位変更］	ジョブの印刷優先順位の変更を許可／禁止します。
	［他ユーザージョブ削除］	ユーザー認証されている場合に、他のユーザーがジョブを削除することを許可／禁止します。
	［登録宛先変更］	ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。 詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。
	［登録倍率変更］	登録されている倍率の変更を許可／禁止します。
	［From アドレス変更］	ネットワークスキャンの操作に関する設定です。 詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。
	［登録オーバーレイ変更］	登録されているオーバーレイの変更を許可／禁止します。
	［生体 /IC カード情報登録］	登録ユーザーの生体認証情報や IC カード認証情報の登録や削除操作を、ユーザー自身に許可するかしないかを設定します。
［操作禁止設定］	［複数宛先禁止］	ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。 詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

出荷時設定

［ジョブ優先順位変更］	［許可］
［他ユーザージョブ削除］	［禁止］
［登録宛先変更］	［許可］
［登録倍率変更］	［許可］
［From アドレス変更］	［ユーザーアドレス優先］

出荷時設定

［登録オーバーレイ変更］	［許可］
［生体 /IC カード情報登録］	［禁止］
［複数宛先禁止］	［しない］

7.1.7 ［エキスパート調整］

出力の質を上げるよう調整します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］を押します。

設定項目

［AE レベル調整］	AE（Auto Exposure）の初期値を設定します。設定値が大きいほど、原稿の下地が強調されます。	
［プリンター調整］	用紙の印刷開始位置を調整します。また、用紙種類の特性による印刷画像の不良を調整します。 **参照** 印刷開始位置は出荷時に調整済みです。通常の場合、設定値を変更する必要はありません。	
	［印刷位置：先端］	p. 7-11
	［印刷位置：側端］	p. 7-11
	［両面印刷位置：先端］	p. 7-11
	［両面印刷位置：側端］	p. 7-11
	［プリンター先端イレース量］	用紙先端のイレース量を調整できます。 表示方法については、サービスエンジニアにご相談ください。
	［プリンター通紙方向倍率］	用紙種類の通紙方向倍率を調整できます。 表示方法については、サービスエンジニアにご相談ください。
	［メディア調整］	p. 7-12

設定項目

［フィニッシャー調整］	**フィニッシャー FS-527** のステープル、折り、パンチの位置を調整します。または、**フィニッシャー FS-529** の整合板位置を調整します。 **フィニッシャー FS-527** または**フィニッシャー FS-529** が装着されている場合に表示されます。 **参照** あらかじめサンプルを作成し、サンプルを見ながら調整を行います。	
	［センタースステープル位置調整］	p. 7-12
	［中折り位置調整］	p. 7-13
	［パンチ横位置調整］	p. 7-13
	［パンチレジストループ量調整］	p. 7-14
	［整合板位置調整］	p. 7-14
［濃度補正］	用紙種類に応じて、使用されるトナーの量を色ごとに補正します。 ・ ブラック印刷で使用されるトナーの量を補正するには、［モノクロ画像濃度］を押します。	
［画像安定化］	［画像安定化実行］	**スタート**を押し、画像安定化を行います。 ［画像安定化実行］を選択すると、通常の画像安定化が行われます。 ［画像安定化実行］を行っても効果が得られない場合に、［初期化＋画像安定化実行］を行います。
	［画像安定化設定］	画像安定化の種類と時期を設定できます。 ［標準］を選択すると、ウォーミングアップ中に絶対湿度変化を検知した場合ウォーミングアップ中に通常安定化を行います。 ［カラー優先］を選択すると、電源を ON したとき、カラー安定化を行います。 ［モノクロ優先］を選択すると、ウォーミングアップ中に絶対湿度変化を検知した場合ウォーミングアップ中にモノクロ安定化を行い、カラープリント前にカラー安定化を行います。
［用紙分離位置調整］	両面印刷を行う場合の、各面の用紙分離位置を調整します。	
［色重ねズレ補正］	印刷結果に色ずれが見られる場合、色ずれを補正できます。 詳しくは、7-14 ページをごらんください。	
［階調補正］	印刷画像の色階調が不規則な場合に、色階調を調整します。 詳しくは、7-15 ページをごらんください。	
	［画像安定化実行］	階調補正を行う前に、**スタート**を押し、画像安定化を行います。
	［プリンター］	印刷画像の色階調が変化した場合に、階調を補正できます。画像の階調表現、文字や線などの再現性を重視して補正します。
	［コピー］	印刷画像の色階調が変化した場合に、階調を補正できます。メモリーへ保存する画像枚数を増やすことを重視して補正します。
［スキャンエリア］	スキャナの読込み範囲を調整できます。 表示方法については、サービスエンジニアにご相談ください。	
［ADF 調整］	ADF での画像読取りに関する調整を行います。 表示方法については、サービスエンジニアにご相談ください。	

設定項目

[筋検出設定]	[事前検出設定]	**スリットガラス**が汚れている場合に、警告を表示するかどうかを設定します。 ・ 警告の表示形式と汚れの検出レベルを選択します。
	[通紙中清掃設定]	ADF を使用して原稿を読込む場合、通紙 1 枚ごとに**スリットガラス**の汚れを除去するかどうかを設定します。
[ユーザー紙設定]	[ユーザー紙 1] ~ [ユーザー紙 5] に、専用紙の設定をします。坪量やメディア調整の設定をします。 表示方法については、サービスエンジニアにご相談ください。	
[消去補正]	[原稿外消去動作設定]	原稿外消去の動作の設定をします。 [自動]: 原稿の下地濃度を自動で検知して、[斜角消去] または [矩形消去] が設定されます。 [指定]: 消去方法と原稿濃度を設定します。消去方法は [斜角消去] または [矩形消去] を設定します。原稿濃度は 5 段階で設定します。

出荷時設定

[AE レベル調整]	標準 (2)
[印刷位置:先端]	0.0 mm
[印刷位置:側端]	0.0 mm
[両面印刷位置:先端]	0.0 mm
[両面印刷位置:側端]	0.0 mm
[メディア調整]	[自動]
[センターステープル位置調整]	0.0 mm
[中折り位置調整]	0.0 mm
[パンチ横位置調整]	0
[パンチレジストループ量調整]	0
[整合板位置調整]	0.0 mm
[濃度補正]	0
[画像安定化実行]	[画像安定化実行]
[画像安定化設定]	[標準]
[用紙分離位置調整]	0.0 mm
[色重ねズレ補正]	0 dot
[事前検出設定]	[する] [警告表示]:[TYPE2] [検出レベル]:[ふつう]
[通紙中清掃設定]	[清掃する]
[原稿外消去動作設定]	[消去動作]:[指定] [消去方法]:[矩形消去] [原稿濃度]:[1]

[印刷位置：先端]

排紙方向に対して、用紙先端の印刷開始位置を、用紙ごとに調整します。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [管理者設定] ▸▸ [環境設定] ▸▸ [エキスパート調整] ▸▸ [プリンター調整] ▸▸ [印刷位置：先端] を押します。

➔ 両面印刷の 2 面目に関して、用紙先端の印刷開始位置を調整するには、[両面印刷位置：先端] を押します。

2 調整する用紙種類を選択します。

3 **手差しトレイ**に用紙をセットします。

4 **スタート**を押します。

テストパターンが印刷されます。

5 用紙先端からテストパターンの印刷開始位置の幅（a）が、4.2 mm であることを確認します。

➔ [+] または [-] を押し、幅を調整します。
スタートを押し、テストパターンを印刷します。

6 [OK] を押します。

a
a:4.2mm

[印刷位置：側端]

排紙方向に対して、用紙左端の印刷開始位置を、給紙トレイごとに調整します。

✔ **手差しトレイ**の調整に使用できる用紙は、A4 ▯ 普通紙のみです。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [管理者設定] ▸▸ [環境設定] ▸▸ [エキスパート調整] ▸▸ [プリンター調整] ▸▸ [印刷位置：側端] を押します。

➔ 両面印刷の 2 面目に関して、用紙左端の印刷開始位置を調整するには、[両面印刷位置：側端] を押します。

2 調整する給紙トレイを選択します。

3 **スタート**を押します。

テストパターンが印刷されます。

4 用紙左端からテストパターンの印刷開始位置の幅（b）が、3.0 mm（± 0.5 mm）であることを確認します。

➔ [+] または [-] を押し、幅を調整します。
スタートを押し、テストパターンを印刷します。

5 [OK] を押します。

b
b:3.0mm±0.5mm

［メディア調整］

用紙種類の特性による、印刷画像の不良を調整します。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［プリンター調整］▸▸［メディア調整］を押します。

2 調整する用紙種類を選択します。

➔ 両面コピーの裏面に画像不良がある場合は、［2 面目］を選択します。

3 ［+］または［-］を押し、調整値を設定します。

➔ 印刷画像に白抜けや白斑点がある場合は、［-］を押します。印刷画像にザラツキがある場合は、［+］を押します。

4 ［OK］▸▸［閉じる］を押します。

5 コピーし、印刷画像を確認します。

［センターステープル位置調整］

センターステープル機能で印刷するときのステープル位置を用紙のサイズごとに調整します。

+ −

✔ 中折り位置調整後に、センターステープル位置を調整してください。
✔ 調整を始める前に、センターステープル機能を使ったサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。
✔ **中綴じ機 SD-509** が装着されている場合に調整できます。
✔ ステープルを用紙左端と平行にするには、サービス実施店にご連絡ください。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［フィニッシャー調整］▸▸［センターステープル位置調整］を押します。

2 センターステープル位置を調整する用紙サイズを選択します。

3 サンプルを見ながら［+］または［-］を押し、ステープルの位置を調整します。

4 ［OK］を押します。

5 サンプルを作成し、印刷結果を確認します。

参照
中折り位置を調整するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［フィニッシャー調整］▸▸［中折り位置調整］を押します。

［中折り位置調整］

中とじと中折りの折りの位置を用紙のサイズごとに調整します。

+ −

✔ 調整を始める前に、中折り機能を使ったサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

✔ **中綴じ機 SD-509** が装着されている場合に調整できます。

✔ 中折りを用紙左端と平行にするには、サービス実施店にご連絡ください。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［フィニッシャー調整］▸▸［中折り位置調整］を押します。

2 中折りの位置を調整する用紙サイズを選択します。

3 サンプルを見ながら［+］または［-］を押し、中折りの位置を調整します。

4 ［OK］を押します。

5 サンプルを作成し、印刷結果を確認します。

［パンチ横位置調整］

用紙の横方向において、パンチ穴の位置を、用紙の種類ごとに調整します。

+ −

✔ 調整を始める前に、パンチ機能を使ったサンプルを作成します。調整は作成したサンプルを見ながら行います。

✔ **パンチキット PK-517** が装着されている場合に調整できます。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［フィニッシャー調整］▸▸［パンチ横位置調整］を押します。

2 パンチ横位置を調整する用紙の種類を選択します。

3 サンプルを見ながら［+］または［-］を押し、パンチ位置を調整します。

4 ［OK］を押します。

5 サンプルを作成し、印刷結果を確認します。

［パンチレジストループ量調整］

用紙の傾きを補正し、パンチ位置を用紙左端と平行にします。用紙にかかる抵抗を用紙の種類ごとに調整することで、パンチ穴の傾きを補正します。

✔ パンチキット PK-517 が装着されている場合に調整できます。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［フィニッシャー調整］▸▸［パンチレジストループ量調整］を押します。

2 パンチ穴の傾きを調整する用紙の種類を選択します。

3 ［+］または［-］を押し、パンチ位置を調整します。

4 ［OK］を押します。

5 サンプルを作成し、印刷結果を確認します。

［整合板位置調整］

排出された用紙を揃える整合板の幅を調整します。

✔ フィニッシャー FS-529 を装着した場合に調整できます。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［フィニッシャー調整］▸▸［整合板位置調整］を押します。

2 整合板位置を選択します。

3 ［+］または［-］を押し、位置を調整します。

4 ［OK］を押します。

［色重ねズレ補正］

印刷結果に色ずれがある場合に、それぞれの色の印刷位置を、用紙種類ごとに調整します。

✔ 色重ねズレ補正のしかたは、イエロー、マゼンタ、シアンで同じ手順です。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［色重ねズレ補正］を押します。

2 補正する色を選択します。

3 色重ねズレを補正する用紙の種類を選択します。

4 **手差しトレイ**に用紙をセットします。

➔ セットできる用紙サイズは、A3、11 × 17、A4、8-1/2 × 11 です。

5 **スタート**を押します。

テストパターンが印刷されます。

6 テストパターンのＸとＹ位置で、ブラック線と調整する色線が１列になっていることを確認します。

➔ テストパターンを見ながら［+］または［-］を押し、補正する色線の位置を調整します。

色重ねズレが補正されます。

7 **スタート**を押してテストパターンを印刷し、印刷結果を確認します。

8 ［OK］を押します。

［階調補正］

印刷画像の色階調が不規則な場合に、色階調を調整します。

✔ それぞれの補正項目で、３回ずつ調整します。

1 **主電源スイッチ**で本機の電源を落とします。

2 10 秒以上待ってから、再度電源を入れます。

3 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［エキスパート調整］▸▸［階調補正］を押します。

4 **スタート**を押します。

画像安定化動作が開始されます。

タッチパネルの補正項目が選択可能になります。

5 補正する項目を選択します。

6 テストパターンを出力する用紙を選択します。

- ➔ 用紙は、A3、11 × 17、A4、8-1/2 × 11 のどれかを選択します。初期設定では、A3 が選択されています。
- ➔ **手差しトレイ**は選択できません。

7 **スタート**を押します。

テストパターンが印刷されます。

- ➔ A3または11 × 17を選択した場合は1枚、A4または8-1/2 × 11を選択した場合は2枚出力されます。

8 **タッチパネル**に表示された向きで、テストパターンを**原稿ガラス**にセットします。

- ➔ A4 または 8-1/2 × 11 のテストパターンは、出力された 2 枚を並べてセットします。

9 テストパターンが透けないように、テストパターンの上に、10 枚以上の白紙をセットします。

10 ADF または**オリジナルカバー**を閉じます。

11 **スタート**を押します。

テストパターンが読込まれます。
階調レベルが自動的に調整されます。

12 手順 5 ～ 11 をあと 2 回繰返します。

7.1.8 ［リスト / カウンター］

本機の設定値リストの印刷と、用紙のカウントの設定をします。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［環境設定］ ▸▸ ［リスト / カウンター］ を押します。

設定項目

［マシン管理リスト印刷］	［設定値リスト］	本機の設定値リストを印刷する給紙トレイと印刷面を設定します。
［用紙サイズ / 種類カウンター］	用紙サイズと用紙種類の組合わせ、カウンターとして登録できます。カウンターが変更されるごとに、カウントは 0 になります。	
	［カウンタークリア］	カウントが 0 になります。
	［用紙サイズ］	カウンターの用紙サイズを設定します。
	［用紙種類］	カウンターの用紙種類を設定します。

出荷時設定

［設定値リスト］	・ ［片面］ ・ トレイ 1

7.1.9 ［リセット設定］

自動解除の設定をします。

✔ コピー機能での操作中、以下のタブで行った設定は、一定の時間が経過すると、自動的にすべて初期設定に戻ります。
［基本設定］、［原稿指定］、［画質 / 濃度］、［応用設定］

✔ システムオートリセット時間を［使用しない］に設定しても、ユーザー認証 / 部門管理中に本機を使用しない状態が 1 分経過すると、システムオートリセット機能がはたらきます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［リセット設定］を押します。

設定項目

［システムオートリセット］	［優先機能］	システムオートリセット時に、表示する機能を設定します。
	［システムオートリセット時間］	システムオートリセットを行うかどうかを設定します。 本機で操作が行われないために、初期画面が表示されるまでの時間を設定します。設定は解除されません。 **参照** ユーザー認証またはセキュリティー強化設定が有効な場合は、システムオートリセット時間の設定により、管理者設定モードおよびユーザー認証モードをログアウトします。 拡大表示機能は、システムオートリセット機能がはたらきません。
［オートリセット］	選択した機能で、オートリセットを行うかどうかを設定します。 本機で操作が行われないために、基本設定画面が表示され、設定が初期値に戻るまでの時間を設定します。	
［モードリセット］	［使用者変更］	ユーザー認証または部門管理が設定されている場合に、ユーザーのログアウト時、設定をリセットするかどうかを設定します。
	［ADF 原稿セット］	ADF に原稿をセットした場合に、機能をリセットするかしないかを設定できます。
	［次ジョブ］	以下の設定を、次のジョブでリセットするかどうかを設定します。 ・［ステープル設定］ ・［原稿セット / とじ方向］ ・［送信後設定解除］ データの送信先は常にリセットされます。

出荷時設定

［優先機能］	［コピー］

出荷時設定

［システムオートリセット時間］	1 分
［オートリセット］	・ ［コピー］：1 分 ・ ［ファクス / スキャン］：1 分 ・ ［ボックス］：1 分
［使用者変更］	［初期化する］
［ADF 原稿セット］	［リセットしない］
［次ジョブ］	・ ［ステープル設定］：［解除しない］ ・ ［原稿セット / とじ方向］：［解除しない］ ・ ［送信後設定解除］：［全て解除］

参照

ユーザー認証 / 部門管理を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［ユーザー認証 / 部門管理］ ▸▸ ［認証方式］を押します。

7.1.10 ［ボックス設定］

ボックス機能に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

7.1.11 ［サイズ設定］

原稿サイズの検知能力、Foolscap の用紙サイズに関する設定を行います。

表示方法については、サービスエンジニアにご相談ください。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［環境設定］ ▸▸ ［サイズ設定］を押します。

設定項目

［原稿ガラス原稿サイズ検知］	原稿サイズの検知能力について設定できます。
［Foolscap サイズ設定］	用紙のサイズが 13 インチに近い場合、どの用紙サイズを使用するか選択できます。

出荷時設定

［原稿ガラス原稿サイズ検知］	［テーブル 1］
［Foolscap サイズ設定］	［8 × 13 ▭］

7.1.12 ［スタンプ設定］

印刷されるヘッダー / フッターを設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［スタンプ設定］を押します。

設定項目

［ヘッダー / フッター設定］	ヘッダーおよびフッターの登録や変更を行います。 応用設定のヘッダー / フッター機能を使用する場合は、あらかじめヘッダーやフッターを登録しておく必要があります。	
	［登録］	登録名を入力し、ヘッダーとフッターの詳細を設定します。 ヘッダーやフッターを印刷するかどうかと、印字の内容を設定します。 ・［文字列］：文字列を入力します。 ・［日付 / 時刻］：日付と時刻の表示形式を選択します。 ・［その他］：部数管理番号を設定します。ジョブ番号、シリアル番号、部門名 / ユーザー名を含むかどうかを選択します。 印字ページと文字詳細を設定します。 ・［印字ページ］：ヘッダーやフッターが全ページに印刷されるか、最初のページのみ印刷されるかを選択します。 ・［文字詳細］：印刷されるヘッダーやフッターの文字の色、文字のサイズ、文字の種類を設定します。
	［削除］	選択したヘッダーやフッターを削除します。
	［確認／変更］	選択したヘッダーやフッターを変更します。
［ファクス送信設定］	ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。 詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。	

出荷時設定

［ファクス送信設定］	［解除する］

7.1.13 ［白紙ページ印字設定］

白紙ページにスタンプやオーバーレイを印字するかどうかを設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［白紙ページ印字設定］を押します。

設定項目

白紙ページにスタンプ / ページ印字を印字するかしないかを設定できます。

出荷時設定

［白紙ページ印字設定］	［印字しない］

7.1.14 ［ジョブ飛越し動作設定］

給紙トレイに指定した用紙がないなどの理由で現在のジョブが停止した場合に、次のジョブの処理を開始するかどうかを設定します。［する］に設定するとジョブ停止による印刷待ち時間がなくなります。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ジョブ飛越し動作設定］を押します。

設定項目

［ファクス］	ファクス機能のジョブで飛越し動作をするかどうかを設定します。
［ファクス以外］	ファクス以外の機能のジョブで飛越しをするかどうかを設定します。

出荷時設定

［ジョブ飛越し動作設定］	［ファクス］：［する］ ［ファクス以外］：［する］

7.1.15 ［手差し用紙種類初期設定］

手差しトレイで使用する用紙種類の初期設定を設定できます。ジョブ終了後や用紙がなくなった場合に、初期設定の用紙種類が設定されます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［手差し用紙種類初期設定］を押します。

設定項目

手差しトレイの用紙種類の初期設定を設定するかどうかを選択し、設定する場合は用紙種類を選択します。

出荷時設定

［手差し用紙種類初期設定］	［する］ ［用紙種類］：［普通紙］

7.1.16 ［ページ印字位置設定］

両面印刷や小冊子を設定しページ番号を印字する場合に、ページ番号の印字位置を設定します。各ページ同じ位置に印字するか、とじ位置で対称となるよう印字するかを選択できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［環境設定］▸▸［ページ印字位置設定］を押します。

設定項目

［左右とじ：同位置　上下とじ：同位置］	目的の印字位置を選択します。
［左右とじ：左右対称　上下とじ：同位置］	
［左右とじ：左右対称　上下とじ：上下対称］	

出荷時設定

［ページ印字位置設定］	［左右とじ：同位置　上下とじ：同位置］

7.1.17 ［仕上りプレビュー設定］

ファクス、スキャンに関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

7.2 ［管理者 / 本体登録］

管理者情報や本機の E-mail アドレスを登録します。

✔ 登録した本体アドレス登録の装置名は、OS によって利用できない場合があります。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［管理者設定］▸▸ ［管理者 / 本体登録］を押します。

設定項目

［管理者登録］	ガイドのサービス / 管理者情報画面で表示する管理者情報や、本機から E-mail 送信の From アドレスを登録できます。
［本体アドレス登録］	本機の装置名と E-mail アドレスを登録します。装置名は本機で生成されるファイルに、名称の一部として使用されます。E-mail アドレスはインターネットファクスで利用することができます。

出荷時設定

［装置名］	あらかじめ定められた製品名の略称が入力されていますが、ご自由に変更できます。

7.3 ［宛先 / ボックス登録］

ボックス、ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

7.4 ［ユーザー認証 / 部門管理］

本機の使用を制限する、認証の設定ができます。

認証の種類と機能

- ユーザー認証
  ユーザー個人の管理に適しています。登録されていないユーザーが使用するには、パブリックユーザーの設定が必要です。
  - 操作可能な機能を制限できます。
  - ユーザーごとに出力や読込みをカウントできます。
  - ユーザーごとにカラー／ブラックの使用制限と枚数制限ができます。
  - 各ユーザー所有の個人ボックス、グループボックスの操作ができます。
  - 宛先の参照許可レベルを管理できます。
  - 他のユーザーのジョブ削除が禁止されます。
- 部門管理
  グループや複数のユーザーの管理に適しています。
  - 部門ごとに出力や読込みをカウントできます。
  - 部門ごとにカラー／ブラックの使用制限と枚数制限ができます。
  - グループボックスの操作ができます。

参考

- ユーザー認証または部門管理のどちらかを設定することも、両方を連動させて使用することもできます。また、両方を設定し連動させずに使用することもできます。
- ユーザー認証と部門管理は合計 1000 件まで登録できます。
- 1000 件以上登録したい場合は、PageScope Authentication Manager を利用してください。30000 件まで登録できます。

7.4.1 ［認証方式］

認証の機能を有効にする設定をします。

✔ ユーザーを登録する前に認証方式を設定します。認証方式を設定し、全ての管理データがクリアされると、登録されているユーザーや印刷、送信、ファクス受信、保存のジョブ履歴が削除されます。

→ **設定メニュー / カウンター** ►► ［管理者設定］ ►► ［ユーザー認証 / 部門管理］ ►► ［認証方式］を押します。

設定項目

［ユーザー認証］	ユーザー認証を使用するかどうかを設定します。	
	［認証しない］	ユーザー認証は設定されません。
	［外部サーバー認証］	外部認証サーバーで、本機を使用するユーザーを制限します。外部認証サーバーが設定されている場合に使用できます。
	［本体装置認証］	本機で、本機を使用するユーザーを制限します。

設定項目

［パブリックユーザー］	セキュリティー強化設定が有効でない場合に、パブリックユーザーを設定できます。	
	［許可しない］	登録されていないユーザーに本機の使用を禁止します。
	［許可する（ログインあり）］	パブリックユーザーは、ログイン画面で［パブリックユーザー］を押し、ログインすることで、本機を使用できます。
	［許可する（ログインなし）］	パブリックユーザーは、ログイン画面でログインすることなく、本機を使用できます。
［部門管理］	［管理しない］／［管理する］	部門管理を使用するかどうかを設定します。
［部門管理認証方式］	部門管理を設定する場合の認証方式を設定します。	
	［部門名 + パスワード］	部門名とパスワードを入力し、ログインします。
	［パスワードのみ］	パスワードのみを入力し、ログインします。 ・ ユーザー認証が設定されている場合は、設定できません。
［ユーザー認証 / 部門認証の連動］	ユーザー認証と部門管理が両方設定されている場合の、認証動作を設定します。ログイン時に、ユーザーに割当てられた部門が、自動的に選択されるかどうかを設定します。	
	［連動する］	ユーザーが割当てられたひとつの部門にログインします。 ユーザー認証に成功したユーザーは、部門管理の認証なしでログインできます。 **参照** 各ユーザーを部門ごとに管理する場合に適しています。
	［連動しない］	ユーザーがいくつかの部門にログインできます。 ユーザー認証に成功したユーザーは、部門管理の認証を行い、ログインします。 **参照** 各ユーザーが複数の業務を行い、業務単位の集計をとる場合に適しています。
［上限値到達時の動作］	ジョブの出力枚数がユーザーや部門に設定された上限値に到達した場合の、本機の動作を設定します。	
	［ジョブ飛越し］	実行中のジョブが停止され、次のジョブが自動的に開始されます。
	［ジョブ停止］	全てのジョブが停止されます。
［ユーザーカウンター割当て数］	最大登録件数 1000 件のうち、ユーザーの最大登録件数を設定します。残りの登録件数が部門管理の登録件数になります。 ユーザー認証と部門管理が設定されている場合に、ユーザーカウンター割当て数を設定できます。	
［チケット保持時間設定］	Kerberos 認証チケットの保持時間を設定します。外部サーバー認証が設定され、［サーバータイプ］が［Active Directory］の場合に適用されます。	

出荷時設定

［ユーザー認証］	［認証しない］
［パブリックユーザー］	［許可しない］
［部門管理］	［管理しない］
［部門管理認証方式］	［部門名 + パスワード］

出荷時設定

［ユーザー認証 / 部門認証の連動］	［連動する］
［上限到達時の動作］	［ジョブ飛越し］
［ユーザーカウンター割当て数］	500
［チケット保持時間設定］	60 分

参照

外部サーバーを設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［外部サーバー設定］を押します。

セキュリティー強化設定については、サービス実施店にお問い合わせください。

7.4.2 ［ユーザー認証設定］

ユーザーとユーザーカウンターの管理を設定します。

✔ ユーザー認証が設定されている場合に、ユーザー認証設定を使用できます。

✔ ユーザー認証のみが設定されている場合は、1000 のユーザーを登録できます。ユーザー認証と部門管理が設定されている場合は、初期設定で最大 500 のユーザーを登録できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［ユーザー認証設定］を押します。

設定項目

［管理設定］	［ユーザー名一覧］	登録ユーザーの一覧を表示するキーを、ログイン画面で表示するかどうかを設定します。 セキュリティー強化設定が無効の場合に設定できます。
	［初期機能制限設定］	外部サーバー認証でログインしたユーザーに対して、機能制限の初期値を設定します。
	［認証＆プリント設定］	認証＆プリント機能を使用するかどうかを設定します。また、認証されていないジョブやパブリックユーザージョブを即時印刷するか、認証＆プリントボックスに保存するかを設定します。
	［認証＆プリント動作設定］	複数の認証＆プリントジョブが蓄積されている場合に、1 回の認証で全てのジョブを印刷するか、1 ジョブずつ印刷するかを設定します。

設定項目

	［認証後のデフォルト動作設定］	認証＆プリントジョブが蓄積されたユーザー認証のログイン画面で、認証後の動作の初期値を設定します。 認証＆プリント機能を使用しないユーザーが本機を利用する場合、［基本画面へ］を設定しておくと、認証後の動作を指定することなくログインすることができます。
［ユーザー登録］	本機を使用するユーザーを登録します。登録番号を選択し、［編集］を押します。登録済みのユーザーの設定変更もできます。 ・ ユーザーを選択し［削除］を押すと、選択したユーザーが削除されます。 ・ パブリックユーザーの使用が許可されている場合は、パブリックユーザーの機能制限ができます。パブリックユーザーの設定を変更する場合は、登録番号の「000」を選択してください。	
	［ユーザー名］	ユーザー名を設定します。 ・ ユーザー名は 1 度登録すると変更できません。 ・ すでに登録されているユーザー名は、登録できません。
	［ユーザーパスワード］	パスワードを設定します。
	［E-mail アドレス］	E-mail アドレスを設定します。
	［所属部門］	部門管理が設定されている場合に、登録ユーザーの部門を設定できます。 所属部門を選択する前に部門の登録が必要です。
	［出力許可］	選択したユーザーまたはすべてのユーザーに対して、以下の制限ができます。 ・ ［印刷］ カラーまたはブラックでのコピーおよびプリントを、ユーザーに許可するかどうかを設定します。 ブラックを禁止した場合は、オートカラー、ブラックでの印刷ができません。 ・ ［送信］ カラーでのファクス送信や E-mail 送信を、ユーザーに許可するかどうかを設定します。 **参照** 単色カラーと 2 色カラーの出力については、管理者が設定を変更できます。詳しくは、7-34 ページをごらんください。
	［上限設定］	選択したユーザーまたはすべてのユーザーに対して、出力の上限を設定できます。上限を設定しない場合は、［無効］を設定します。 ・ ［トータル管理］ ユーザーの出力可能枚数を設定します。 ・ ［個別管理］ ユーザーのブラック出力可能枚数とカラー出力可能枚数を設定します。
	［認証情報登録］	［編集］を押し、認証情報を登録します。 オプションの認証装置が装着されている場合に設定できます。

設定項目

	［機能制限］	選択したユーザーまたはすべてのユーザーに対して、使用可能な機能を制限できます。以下の機能を許可するかどうかを設定します。 ・ ［コピー操作］ ・ ［スキャン操作］ ・ ［ファクス操作］ ・ ［プリンター印字］ ・ ［蓄積文書操作］ ・ ［送信文書操作］ ・ ［外部メモリー保存］ ・ ［外部メモリー文書読込み］ ・ ［手動宛先入力］（［許可する］を選択した場合、手動宛先入力を許可するか、個別で管理するか選択します。） ・ ［カラー制限時のカラー印刷］（パブリックユーザーのみ） ・ ［生体 /IC カード情報登録］ ・ ［携帯電話 /PDA］
	［一時利用停止］	選択したユーザーの本機の利用を一時停止することができます。［停止する］を選択した場合、本機にログインすることができなくなります。一時的に本機を利用しないユーザーや IC カードを紛失したユーザーは、削除しないで、一時停止を設定しておくと便利です。 ・ ［全ユーザー一括］を選択すると登録している全てのユーザーの本機の利用を一時停止することができます。 ・ ［停止しない］を選択しても、所属部門が一時利用を停止している場合、所属しているユーザーも利用が停止されます。
	［アイコン］	アイコンを選択します。
［ユーザーカウンター］	［一括カウンタークリア］	全てのユーザーのカウントを全てリセットします。
	［カウンター詳細］	選択したユーザーの使用状況が表示されます。［カウンタークリア］を押すと、カウントがリセットされます。 ・ パブリックユーザーのカウンターは最終ページに設定されます。

出荷時設定

［ユーザー名一覧］	［表示しない］
［初期機能制限設定］	［外部メモリー保存］ / ［外部メモリー文書読込み］：［許可しない］ その他の項目：［許可する］
［認証＆プリント設定］	［認証＆プリント］：［使用しない］（認証装置非装着の場合） ［使用する］（認証装置装着の場合） ［認証なし / パブリックユーザージョブ］：［即時印刷］
［認証＆プリント動作設定］	［全ジョブ印刷］
［認証後のデフォルト動作設定］	［印刷開始］
［出力許可］	全項目：［許可］
［上限設定］	［個別管理］：［無効］（［カラー］）／［無効］（［ブラック］） ［トータル管理］：［無効］

出荷時設定

［機能制限］	［コピー操作］：［許可する］ ［スキャン操作］：［許可する］ ［ファクス操作］：［許可する］ ［プリンター印字］：［許可する］ ［蓄積文書操作］：［許可する］ ［送信文書操作］：［許可する］ ［外部メモリー保存］：［許可しない］ ［外部メモリー文書読込み］：［許可しない］ ［手動宛先入力］：［許可する］ / ［全て許可］ ［カラー制限時のカラー印刷］：［許可しない］ ［生体 /IC カード情報登録］：［許可しない］ ［携帯電話 /PDA］：［許可する］
［一時利用停止］	［停止しない］
［アイコン］	

参照

ユーザーの最大登録件数を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［認証方式］▸▸［ユーザーカウンター割当て数］を押します。

7.4.3 ［部門管理設定］

部門と部門カウンターの管理を設定します。

✔ 部門管理が設定されている場合に、部門管理設定を使用できます。

✔ 部門管理のみが設定されている場合は、1000 の部門を登録できます。ユーザー認証と部門管理が設定されている場合は、初期設定で最大 500 の部門を登録できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［部門管理設定］を押します。

設定項目

<table>
<tr><td rowspan="3">［部門登録］</td><td colspan="2">・ 登録番号を選択し、［編集］を押し、部門の登録や変更をします。
・ 削除する部門を設定し、［削除］を押します。</td></tr>
<tr><td>［部門名］</td><td>部門名を設定します。
・ すでに登録されている部門名は、登録できません。</td></tr>
<tr><td>［パスワード］</td><td>パスワードを設定します。</td></tr>
</table>

設定項目

	［出力許可］	選択した部門またはすべての部門に対して、以下の制限ができます。 ・ ［印刷］ カラーまたはブラックでのコピーおよびプリントを、部門のユーザーに許可するかどうかを設定します。 ブラックを禁止した場合は、オートカラー、ブラックでの印刷ができません。 ・ ［送信］ カラーでのファクス送信や E-mail 送信を、部門のユーザーに許可するかどうかを設定します。 参照 単色カラーと 2 色カラーの出力については、管理者が設定を変更できます。詳しくは、7-34 ページをごらんください。
	［上限設定］	選択した部門またはすべての部門に対して、出力の上限を設定できます。上限を設定しない場合は、［無効］を設定します。 ・ ［トータル］管理 部門のユーザーの出力可能枚数を設定します。 ・ ［個別管理］ 部門のユーザーのブラック出力可能枚数とカラー出力可能枚数を設定します。
	［一時利用停止］	選択した部門の本機の利用を一時停止することができます。［停止する］を選択した場合、本機にログインすることができなくなります。 一時的に本機を利用しない部門は、削除しないで、一時停止を設定しておくと便利です。 ・ ［全部門一括］を選択すると登録している全ての部門の本機の利用を一時停止することができます。 ・ ［停止する］を選択した場合、所属しているユーザーも利用が停止されます。
［部門カウンター］	［一括カウンタークリア］	全ての部門のカウントを全てリセットします。
	［カウンター詳細］	選択した部門の使用状況が表示されます。 ［カウンタークリア］を押すと、カウントがリセットされます。

出荷時設定

［出力許可］	全項目：［許可］
［上限設定］	［個別管理］：［無効］（［カラー］）／［無効］（［ブラック］） ［トータル管理］：［無効］

参照

部門の最大登録件数を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［認証方式］▸▸［ユーザーカウンター割当て数］を押します。

7.4.4 ［認証指定なし印刷］

プリントの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

7.4.5 [使用管理カウンターリスト]

カウンターリストの印刷に使用される給紙トレイと印刷形式を選択します。

✔ ユーザー認証または部門管理が設定されている場合に設定できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [管理者設定] ▸▸ [ユーザー認証 / 部門管理] ▸▸ [使用管理カウンターリスト] を押します。

設定項目

[給紙トレイ]	目的の給紙トレイを設定します。
[片面 / 両面]	片面印刷または両面印刷を設定します。
[印刷項目]	全ての情報を印刷するか、印字情報のみを印刷するかを設定します。

出荷時設定

[使用管理カウンターリスト印刷]	・ [給紙トレイ]:トレイ 1 ・ [片面 / 両面]:[片面] ・ [印刷項目]:[全ての情報]

7.4.6 [外部サーバー設定]

ユーザー認証を行う外部サーバーを設定できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [管理者設定] ▸▸ [ユーザー認証 / 部門管理] ▸▸ [外部サーバー設定] を押します。

設定項目

目的の No. を選択し、外部サーバーを登録します。登録済みのサーバーの設定変更もできます。

設定項目

［新規登録］／［編集］	［サーバー名称］	外部サーバーの名称を入力します。
	［サーバータイプ］	外部サーバーのタイプを選択し、必要な項目を設定します。
［削除］	選択した外部サーバーを削除します。	
［初期値設定］	初期値の外部サーバーを設定します。目的のサーバーを選択し、［初期値設定］を押します。	

参照
外部サーバー設定について詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

7.4.7 ［参照許可設定］

ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

7.4.8 ［認証装置設定］

オプションの認証装置が装着されている場合に、認証動作などを設定します。

✔ オプションの認証装置を装着されている場合に、設定できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［ユーザー認証 / 部門管理］▸▸［認証装置設定］を押します。

設定項目

［認証方式］	［IC カード認証］	**認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201** を装着した場合に表示されます。 ・［IC カードタイプ］ 本機で使用する IC カードの種類を選択します。FeliCa カード（［FeliCa］、［SSFC］、［FCF］、［FCF（キャンパス）］）、Type A カード（［Type A］）を選択できます。また［FeliCa+Type A］、［SSFC+Type A］、［FCF+Type A］、［FCF（キャンパス）+Type A］を選択すると、FeliCa カードと Type A カードを本機で併用して使用することができます。［FFSC］、［FFSC+Type A］を選択した場合、［会社コード］、［会社識別コード］などを設定します。 ・［動作設定］ ログインの方法を設定します。［IC カード認証］は IC カードを置くだけでログインできます。［IC カード認証 + パスワード認証］は IC カードを置き、パスワードを入力することでログインできます。

設定項目

	[生体認証]	**認証装置 (指静脈 生体認証タイプ) AU-101** または**認証装置 (指静脈 生体認証タイプ) AU-102** を装着した場合に表示されます。 ・ [報知音] 指静脈パターンの読取り時に音を鳴らすかどうか設定します。 ・ [動作設定] ログインの方法を設定します。[1 対多認証] は指を置くだけでログインできます。[1 対 1 認証] はユーザー名を入力して指を置くことでログインできます。
[ログアウト設定]	原稿の読込み終了時にログアウトするかどうかを設定します。	

7.4.9 [ユーザー / 部門共通設定]

認証が設定されている場合に、ログアウト時の確認画面の表示と、単色カラー /2 色カラーの出力管理について設定できます。

✔ 認証の機能が設定されている場合に、設定できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [管理者設定] ▸▸ [ユーザー / 部門管理] ▸▸ [ユーザー / 部門共通設定] を押します。

項目を選択し、設定を変更できます
しおり表示
管理者設定 > ユーザー認証/部門管理 > ユーザー/部門共通設定
ログアウト確認画面表示設定 表示する
単色カラー/2色カラー出力管理 カラー
設定メニュー
管理者設定
ユーザー認証/部門管理
ユーザー/部門共通設定
2009/02/23 10:20
メモリー残量 100%
OK

設定項目

[ログアウト確認画面表示設定]	ID を押しログアウトする場合に、ログアウト確認画面を表示するかどうかを設定します。
[単色カラー /2 色カラー出力管理]	単色カラーまたは 2 色カラーの出力を、カラー印刷として管理するかブラック印刷として管理するかを設定します。 ブラック印刷として管理する場合、カラー印刷が許可されていないユーザーも、単色カラーや 2 色カラーでの出力ができます。 **参照** ユーザーの出力許可について詳しくは、7-27 ページまたは 7-30 ページをごらんください。

出荷時設定

[ログアウト確認画面表示設定]	[表示する]
[単色カラー /2 色カラー出力管理]	[カラー]

7.4.10 [Home 宛先有効設定]

ネットワークスキャンの操作に関する設定です。詳しくは、[ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編] [ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。

7.4.11 ［送信宛先制限］

ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

7.5 ［ネットワーク設定］

ネットワークに関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

7.6 ［コピー設定］

コピー機能で使用される機能を設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［コピー設定］を押します。

設定項目

項目	説明	
［原稿ガラス自動倍率］	**原稿ガラス**に原稿をセットし、手動で給紙トレイを選択した場合に、自動倍率に切換えるかどうかを設定します。	
［ADF 自動倍率］	**ADF** に原稿をセットし、手動で給紙トレイを選択した場合に、自動倍率に切換えるかどうかを設定します。	
［APS 解除時のトレイ指定］	APS（自動用紙）が解除された場合に、使用される給紙トレイを設定します。	
	［APS 選択前トレイ］	APS を選択する前に設定したトレイを使用します。
	［初期設定トレイ］	**トレイ 1** を使用します。
［インターシートトレイ選択］	カバーシート（表紙）、インターシート、章分け紙用の用紙をセットするトレイの初期値を選択できます。	
［コピー操作時の印刷受付］	コピーを操作しているときに印刷データやファクスデータの印刷受付をするかしないかを設定できます。	
	［印刷する］	印刷データやファクスデータを受付け、印刷します。
	［印刷抑制］	印刷データやファクスデータは、コピー操作が終わると印刷されます。
［自動画像回転］	原稿と用紙の向きが異なる場合に、設定により画像が回転されます。どのような場合に自動回転されるかを設定します。	
［カードコピー設定］	カードコピーの設定を登録します。 ［応用設定］の［カードコピー］では、登録した設定で呼出すことができます。	
	［レイアウト］	カードの表面、裏面をどのように配置するか設定できます。
	［変倍］	カードをそのままのサイズでコピーするか、用紙に合わせて拡大してコピーするか設定します。
	［原稿サイズ登録］	あらかじめ設定された原稿のサイズ、［原稿名称］を変更し登録します。

出荷時設定

項目	設定
［原稿ガラス自動倍率］	［OFF］
［ADF 自動倍率］	［ON］
［APS 解除時のトレイ指定］	［APS 選択前トレイ］

出荷時設定

［インターシートトレイ選択］	［トレイ 2］
［コピー操作時の印刷受付］	［印刷する］
［自動画像回転］	［自動用紙 / 自動倍率設時］
［カードコピー設定］	・［レイアウト］：［上下］ ・［変倍］：［フルサイズ］

7.7　［プリンター設定］

プリントの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

7.8 ［ファクス設定］

ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

7.9 ［システム連携］

本機にアクセスできるソフトウェア、携帯電話、PDA に関する設定です。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［システム連携］

設定項目

［OpenAPI 設定］	［アクセス設定］	OpenAPI を使用した他のシステムからのアクセスを可能にするかどうか設定します。	
	［SSL/ ポート設定］	［SSL 設定］	SSL で暗号化する場合は、［SSL 通信のみ可］または［SSL/ 非 SSL 通信可］を選択します。 ・ ［セキュリティー強化設定］が有効の場合、［SSL 通信のみ可］が有効に設定されます。
		［ポート番号］	ポート番号を入力します。
		［ポート番号（SSL）］	SSL 通信で使用するポート番号を入力します。
		［クライアント証明書］	クライアント証明書を要求するかどうか選択します。 クライアントに証明書を要求してクライアントの認証（クライアント証明書の検証）を行う場合は、［有効］を選択します。
		［証明書検証強度設定］	証明書を検証する場合は、証明書の検証方法を設定します。 ［有効期限］： 証明書が有効期限内であることを確認するかどうか選択します。 ［鍵使用法］： 証明書の鍵使用法に問題ないことを確認するかどうか選択します。 ［チェーン］： 証明書のチェーン（証明のパス）に問題ないことを確認するかどうか選択します。 ［失効確認］： 証明書の有効性を確認するかどうか選択します。 ［CN］： 証明書の CN がサーバーのアドレスと一致しているかを確認するかどうか選択します。

設定項目

	［認証］	OpenAPI を使用した他のシステムからのアクセスで、認証を使用するかしないか設定します。 ・ 認証する場合は、［ログイン名］、［パスワード］を入力します。 ・ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合や装置情報を取得する場合などは、本機で OpenAPI 設定の認証設定を［使用しない］に設定します。
［Prefix/Suffix 自動設定］	送信先の番号に Prefix と Suffix を自動的に付加するかどうか設定します。 ［Prefix/Suffix 自動設定］を［する］に設定すると、他の設定に制限がかかります。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。	
［プリンター関連情報］	［プリンター名］、［プリンター設置場所］、［プリンター情報］、［プリンター URI］を設定します。 ［プリンター関連情報］の設定は、［http サーバー設定］の［プリンター関連情報］と連動します。	
［携帯電話 /PDA 設定］	携帯電話 /PDA からの印刷やボックス保存を許可するかどうか設定します。	

出荷時設定

［アクセス設定］	［可能］
［SSL 設定］	［非 SSL 通信のみ可］
［クライアントの証明書要求］	［無効］
［有効期限］	［確認する］
［鍵使用法］	［確認しない］
［チェーン］	［確認しない］
［失効確認］	［確認しない］
［CN］	［確認しない］
［認証］	［使用しない］
［Prefix/Suffix 自動設定］	［使用しない］
［携帯電話 /PDA 設定］	［許可しない］

7.10 ［セキュリティー設定］

機密データ処理のため、本機の機能を制限する設定ができます。

7.10.1 ［管理者パスワード］

管理者パスワードを変更します。

✔ 管理者パスワードは 0 ～ 8 桁で設定できます。

✔ パスワード規約が設定されている場合は、8 桁のパスワードを設定する必要があります。

✔ 管理者パスワードの入力を設定された回数間違えると、本機の操作が禁止されます。この場合は、サービス実施店にご連絡ください。

1 **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［管理者パスワード］を押します。

2 現在の管理者パスワードを入力し、［OK］を押します。

3 新しい管理者パスワードを入力します。

4 ［パスワードの確認入力］を押し、再度管理者パスワードを入力します。

5 ［OK］を押します。

パスワードが変更されます。

参照

パスワード規約を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［セキュリティー詳細］▸▸［パスワード規約］を押します。

7.10.2 ［ボックス管理者設定］

ボックスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

7.10.3 ［ユーザー開放レベル］

管理者が設定する項目の一部を、ユーザーが設定変更できるよう設定します。ユーザー開放された設定項目は、ユーザー設定に表示されます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［ユーザー開放レベル］を押します。

設定項目

［レベル 1］	以下の設定項目を、ユーザーが設定変更できます。 ・［パワーセーブ設定］ ・［原稿ガラス自動倍率］ ・［ADF 自動倍率］ ・［APS 解除時のトレイ指定］ ・［インターシートトレイ選択］ ・［自動画像回転］ ・［カードコピー設定］
［レベル 2］	以下の設定項目を、ユーザーが設定変更できます。 ・レベル 1 で許可される設定項目全て ・［出力設定］ ・［AE レベル調整］ ・［白紙ページ印字設定］ ・［E-mail アドレス変更］ ・［コピー操作時の印刷受付］
［開放しない］	レベル 1 とレベル 2 で許可される設定項目は、ユーザーによる設定変更ができません。

出荷時設定

［ユーザー開放レベル］	［開放しない］

7.10.4 ［セキュリティー詳細］

セキュリティーに関する詳細設定を行い、本機の機能を制限します。機能が制限されることで、セキュリティーを強化できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［セキュリティー詳細］を押します。

設定項目

項目		
［パスワード規約］	パスワード規約を有効にするかどうかを設定できます。 有効にした場合は、以下のパスワードに制約がかかります。設定済みのパスワードは、条件を満たすパスワードに変更する必要があります。 ・ 管理者パスワード ・ ユーザーパスワード ・ 部門パスワード ・ ボックスのパスワード ・ セキュリティー文書パスワード ＜パスワード規約による制約＞ ・ 8 桁または 8 桁以上のパスワードを設定します。 ・ 英字の大文字と小文字は区別されます。 ・ 使用できる記号は、半角記号です。「"」「+」「スペース」は一部設定が制限されています。 ・ 同一文字のみのパスワードは設定できません。 ・ 変更時に、変更前と同じパスワードは登録できません。	
［認証操作禁止機能］	以下のパスワードのどれか 1 つを間違えて入力した場合の、操作の制限を設定します。 ・ ユーザーパスワード ・ 部門パスワード ・ ボックスパスワード ・ セキュリティー文書のパスワード ・ 管理者パスワード	
	［モード 1］	認証に失敗すると、一定時間、操作ができません。
	［モード 2］	何度か認証に失敗すると、操作パネルの操作ができません。 認証操作できる回数の上限を設定します。
	［操作禁止解除］	認証失敗で禁止された操作を解除し、操作を可能にします。
	［操作禁止解除時間設定］	禁止された操作が自動的に解除されるまでの時間を設定します。
［セキュリティー文書アクセス方式］	［認証操作禁止機能］の設定と連動して、自動的に変更されます。 ・ ［モード 1］ ボックスからセキュリティー文書を選択する前に、セキュリティー文書 ID とパスワードの入力が必要です。 ・ ［モード 2］ セキュリティー文書 ID を入力し、ボックスからセキュリティー文書を選択したあとに、パスワードにより認証されます。	

設定項目

［手動宛先入力］	ネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。
［プリントデータキャプチャー］	プリントの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。
［ジョブログ設定］	電源の OFF/ON で取得するジョブログを設定します。取得ログの種類と、上書きを許可するかどうかを設定します。 ［ジョブログ消去］を押すと、ジョブログが消去されます。
［FAX 送信禁止］	ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。
［個人情報非表示］	
［個人情報非表示（MIB）］	ジョブ表示で MIB 情報のファイル名、宛先、ボックス番号を表示するか表示しないか設定します。
［通信履歴表示］	ファクス、ネットワークファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。
［イニシャライズ］	ジョブ履歴、ネットワーク設定、コピープログラム、宛先登録を初期化することができます。
［ジョブ履歴サムネイル表示］	ジョブ履歴を表示する場合に、サムネイル表示するかどうかを設定します。
［セキュリティー印刷のみ許可］	プリントの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。
［コピーガード］	コピーガードを使用するかどうか設定します。 ・［応用設定］の［コピーガード］を設定すると、用紙にコピー禁止情報を埋め込むことができます。また用紙に埋め込まれたコピー禁止情報を検出することができます。 ・オプションの**セキュリティーキット** SC-507 を装着している場合に表示されます。
［パスワードコピー］	パスワードコピーを使用するかどうか設定します。 ・［応用設定］の［パスワードコピー］を設定すると、用紙にパスワードを埋め込むことができます。また用紙に埋め込まれたパスワードを検出することができます。 ・オプションの**セキュリティーキット** SC-507 を装着している場合に表示されます。

出荷時設定

［パスワード規約］	［無効］
［認証操作禁止機能］	・［認証操作禁止機能］：［モード 1］ ・［操作禁止解除時間］：5 分
［セキュリティー文書アクセス方式］	［モード 1］
［手動宛先入力］	［全て許可］
［プリントデータキャプチャー］	［許可］
［ジョブログ設定］	［しない］
［FAX 送信禁止］	［OFF］
［個人情報非表示］	［OFF］
［個人情報非表示（MIB）］	［ON］
［通信履歴表示］	［ON］
［ジョブ履歴サムネイル表示］	［表示しない］
［セキュリティー印刷のみ許可］	［しない］
［コピーガード］	［しない］

出荷時設定	
［パスワードコピー］	［しない］

7.10.5 ［セキュリティー強化設定］

セキュリティー強化設定に適合しない機能設定がある場合、セキュリティー強化設定を有効にすることができません。

セキュリティー強化設定を有効にすると、必要な設定や強制的に切換えられた設定は変更できません。

必要な設定

セキュリティー強化設定を有効にするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定メニュー	必要な設定
［ユーザー認証 / 部門管理］／［認証方式］／［ユーザー認証］	［外部サーバー認証］、［本体装置認証］のどちらかを選択します。 ・ 部門管理を設定する場合は、部門管理認証方式で［部門名＋パスワード］を選択します。
［セキュリティー設定］／［管理者パスワード］	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。
［セキュリティー設定］／［HDD 管理設定］／［HDD 暗号化設定］	HDD 暗号化ワードを設定します。
PageScope Web Connection の［セキュリティー］／［PKI 設定］／［SSL 使用設定］	・［SSL/TLS 使用モード］を［管理者モード］と［ユーザーモード］に設定します。 ・［暗号強度］を［AES-256］，［3DES-168］に設定します。
・［イメージコントローラー設定］ ・［管理機能チョイス］ ・［ＣＥ パスワード］ ・［ＣＥ 認証機能］ ・［ＨＤＤ 装着設定］ 上記はすべてサービスによる設定です。	サービスエンジニアの設定が必要です。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。

変更される設定

セキュリティー強化設定を有効にすると、セキュリティーを強化するため連動して以下のように設定変更されます。

- 変更された設定は、セキュリティー強化設定を OFF に戻した場合、変更されません。
- パスワード規約が有効に設定されると、規約を満たしていないパスワードは認証時に認証失敗になります。パスワード規約については、7-45 ページをごらんください。
- 変更されるネットワーク設定については、［ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。

管理者設定の設定メニュー	変更される設定
［環境設定］／［ユーザー操作禁止設定］／［変更禁止設定］／［登録宛先変更］	［禁止］に設定されます。
［ユーザー認証 / 部門管理］／［認証方式］／［パブリックユーザー］	［許可しない］に設定されます。
［ユーザー認証 / 部門管理］／［ユーザー認証設定］／［管理設定］／［ユーザー名一覧］	［表示しない］に設定されます。
［ユーザー認証 / 部門管理］／［認証指定なし印刷］	［禁止］に設定されます。
［ネットワーク設定］／［FTP 設定］／［FTP サーバー設定］	［FTP サーバー設定］は表示されません。
［ネットワーク設定］／［SNMP 設定］／［SNMP v1/v2c 設定］	［Write 設定］を［無効］に設定されます。
［ネットワーク設定］／［SNMP 設定］／［SNMP v3 設定］	［Write User］の［Security Level］を［認証しない］に設定できません。

管理者設定の設定メニュー	変更される設定
[ネットワーク設定]／[TCP Socket 設定]	[SSL/TLS 使用]が[使用する]に設定されます。
[ネットワーク設定]／[WebDAV 設定]／[WebDAV サーバー設定]／[SSL 設定]	[SSL 通信のみ可]に設定されます。
[システム連携]／[OpenAPI 設定]	[SSL 通信のみ可]に設定されます。
[セキュリティー設定]／[ボックス管理者設定]	[認めない]に設定されます。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[パスワード規約]	[有効]に設定されます。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[認証操作禁止機能]	[モード 2]、チェック回数 3 回に設定されます。 ・ チェック回数は 1 回～ 3 回から変更することができます。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[認証操作禁止機能]／[操作禁止解除時間設定]	設定範囲が 5 分以上に限定されます。5 分以下に設定できません。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[セキュリティー文書アクセス方式]	[モード 2]に設定されます。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[プリントデータキャプチャー]	[禁止]に設定されます。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[個人情報非表示（MIB）]	[ON]に設定されます。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[イニシャライズ]／[ネットワーク設定]	[ネットワーク設定]は表示されません。
[セキュリティー設定]／[セキュリティー詳細]／[ジョブ履歴サムネイル表示]	[表示しない]に設定されます。
[セキュリティー設定]／[画像ログ転送設定]	[使用しない]に設定されます。
[セキュリティー文書ボックス]プレビュー	パスワードによる認証前はリスト表示のみとなります。
PageScope Web Connection の[ネットワーク]／[E-mail 設定]／[S/MIME]	[証明書の自動取得]は[しない]に設定されます。
	[メール本文の暗号化種類]は[3DES]に設定されます。
PageScope Web Connection の[メンテナンス]／[初期化]／[ネットワーク設定クリア]	[ネットワーク設定クリア]は表示されません。
PageScope Web Connection の[セキュリティー管理者]／[パスワード設定]	[管理者パスワード設定]は表示されません。
CS Remote Care	CS Remote Care によるリモートでのデバイス設定を禁止します。

セキュリティー強化設定を有効にすることで、さまざまなセキュリティー機能が設定され、データ管理において安全性をより高めることができます。詳しくは、サービス実施店にご連絡ください。セキュリティー強化設定を有効にするには、あらかじめ必要な設定があり、現在の設定によって表示される画面が異なります。

7.10.6　[HDD 管理設定]

ハードディスクに関する設定です。詳しくは、[ユーザーズガイド ボックス機能編]をごらんください。

7.10.7 [管理機能設定]

カウント管理が困難なネットワーク機能の設定ができます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [管理者設定] ▸▸ [セキュリティー設定] ▸▸ [管理機能設定] を押します。

設定項目

[ネットワーク機能使用設定]	[使用する]	管理機能使用時に、カウント管理が困難なネットワーク管理の設定ができます。
	[使用しない]	[ネットワーク機能使用設定] を [使用しない] に変更した場合、以下の機能が使用できません。 ・ PC FAX 送信 ・ HDD Twain ドライバーによるボックス内の文書の参照／取り出し ・ PageScope Box Operator によるボックス内の文書の参照／取り出し ・ PageScope Scan Direct によるボックス内の文書の取り出し ・ PageScope Web Connection によるボックス操作機能（ボックスタブが表示されません。）

出荷時設定

[ネットワーク機能使用設定]	[使用する]

7.10.8 ［スタンプ設定］

スタンプを管理します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［セキュリティー設定］▸▸［スタンプ設定］を押します。

設定項目

［スタンプ設定］	［スタンプ付加設定］	印字および送信時に、スタンプを付加するかしないかを設定できます。 付加する場合は、スタンプの内容を設定します。 **参照** スタンプ付加を設定すると、［応用設定］の［スタンプ / ページ印字］で印字の設定を変更できません。
	［登録スタンプ削除］	・［スタンプ］ 登録されたすべてのスタンプを削除します。 ・［コピープロテクト / 繰り返しスタンプ］ コピープロテクトで登録されたすべてのスタンプと、繰り返しスタンプ機能を削除します。

出荷時設定

［スタンプ付加設定］	［印字］：［付加しない］ ［送信］：［付加しない］

参照

コピープロテクトと繰り返しスタンプを設定するには：

［応用設定］▸▸［スタンプ / ページ印字］を押します。

7.10.9 ［ドライバーパスワード暗号化設定］

プリントの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

7.11 ［ライセンス管理設定］

オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-102/i-Option LK-103/i-Option LK-104/i-Option LK-105 の機能を有効化します。有効化の手順について詳しくは、［すぐに使える操作ガイド］をごらんください。

✔ オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-102/i-Option LK-103/i-Option LK-104/i-Option LK-105 を購入する必要があります。詳しくはサービス実施店にご連絡ください。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［管理者設定］ ▸▸ ［ライセンス管理設定］を押します。

設定項目

［リクエストコード発行］	ライセンス管理サーバー（LMS）に登録する、本機のリクエストコードを発行します。
［機能有効化］	機能コードと、ライセンス管理サーバー（LMS）から取得したライセンスコードを入力します。

参考

- オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-102/i-Option LK-103/i-Option LK-104/i-Option LK-105 の機能が有効な場合に、［有効機能一覧］で有効機能を確認できます。

7.12 ［OpenAPI 認証管理設定］

弊社が推奨しない OpenAPI 連携アプリケーションを本機に登録できないように設定します。

詳しくは、サービスエンジニアにご相談ください。

8 メンテナンス

8 メンテナンス

8.1 用紙について

8.1.1 用紙を確認する

補給メッセージ

印刷中に用紙がなくなったときは、[用紙を補給するか、給紙トレイを変更してください]と表示されます。色付き表示されているトレイを確認して、用紙を補給してください。

用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 1度通紙したOHPフィルム（白紙状態で排紙されたOHPフィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙

用紙の保管

用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
また、用紙は立てて置かずに水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。

8.1.2 用紙をセットする

各トレイの用紙のセット方法について説明します。

用紙がなくなり印刷が中断した場合は、トレイに用紙をセットしてください。中断されていた印刷が自動的に再開されます。

セットできる用紙については、12-2 ページをごらんください。

トレイ 1/ トレイ 2/ トレイ 3/ トレイ 4 へ用紙をセットする

トレイ 1/ **トレイ 2**/ **トレイ 3**/ **トレイ 4** の用紙のセット方法は、同じ手順です。

ここでは**トレイ 1** へ用紙をセットする場合の手順を説明します。

✔ **トレイ 3**、**トレイ 4** はオプションです。

✔ ［用紙］の設定で［自動検出］が選択されている場合、セットした用紙サイズが自動で検出されます。

1 **トレイ 1** を引出します。

➔ 1. フィルム

重要

フィルムには手を触れないように注意してください。

1

2 **ガイド板**をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。

➔ セットした用紙に対して、**ガイド板**の位置が合っていない場合、用紙サイズを正しく検出できません。

3 印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

➔ 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

➔ 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。

➔ 専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。

➔ レターヘッド紙は、印刷したい面を下向きにしてセットします。

4 **トレイ 1** を閉じます。

参照

用紙を設定するには：

［基本設定］▸▸［用紙］を押します。

LCT へ用紙をセットする

LCT へ用紙をセットする手順を説明します。

✔ LCT はオプションです。

✔ **副電源スイッチ**が OFF の場合は、LCT のトレイを引出すことができません。また、低電力モード時、スリープモード時も LCT のトレイを引出すことができません。

1 **トレイ解除ボタン**を押します。

➔ LCT のトレイのロックが解除されて、LCT のトレイが少し前に出てきます。

2 LCT のトレイを引出します。

➔ 1. **フィルム**

重要
フィルムには手を触れないように注意してください。

3 LCT のトレイの右段に印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

➔ 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

➔ LCT のトレイには、あらかじめ決められたサイズ以外の用紙はセットしないでください。

➔ 用紙がカールしている場合は、用紙種類の設定が必要です。

➔ 専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。

➔ レターヘッド紙は、印刷したい面を下向きにしてセットします。

4 LCT のトレイの左段に印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

5　LCT のトレイを閉じます。

参照
用紙を設定するには：

［基本設定］▸▸［用紙］を押します。

手差しトレイへ用紙をセットする

1　**手差しトレイ**を開きます。

➔ 大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。

重要
給紙ローラーの表面には手を触れないように注意してください。

2　印刷したい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。

➔ セットする用紙の下面に画像が印刷されます。
➔ 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。
➔ 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
➔ **ガイド板**を確実に用紙の端面に合わせてください。
➔ レターヘッド紙は、印刷したい面を上向きにしてセットします。
➔ はがきの場合：
図のように ◪ 方向にセットしてください。
100 mm × 148 mm 以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。

➔ OHP フィルムの場合：
図のように ◪ 方向にセットしてください。

➔ 封筒の場合：
封筒内部の空気を押出し、封筒の折り目をしっかり押さえてセットしてください。
図のように封印部を上側にしてセットしてください。封印部側に印刷はできません。

➔ ラベル紙の場合：
ラベル用紙をセットする場合は、図のように ◘ 方向にセットしてください。
ラベル用紙は表面の紙（印刷面）、シール部分、裏紙（台紙）で構成されています。裏紙をはがすことで他のものに貼付けることができます。

3 **ガイド板**をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。

4 用紙種類を選択します。

➔ ラベル用紙を使用する場合は、［厚紙 1］に設定してください。
➔ OHP フィルムはブラック印刷のみに対応しています。OHP フィルムを選択するときはカラー設定で［ブラック］を指定してから用紙種類を選択してください。
➔ ［はがき］を選択すると、用紙種類は［厚紙 3］に自動設定されます。

参照
用紙を設定するには：

［基本設定］▸▸［用紙］を押します。

8.2 消耗品について

8.2.1 消耗品の確認

交換メッセージ

トナーカートリッジや**ドラムユニット**が交換時期になると、画面上部にメッセージが表示されます。交換する場合は、ガイダンスまたは［すぐに使える操作ガイド］をごらんください。

ガイダンスの操作方法については、［すぐに使える操作ガイド］をごらんください。

トナーカートリッジや**ドラムユニット**の交換時期が近づくと、下図のような事前通知メッセージが表示されます。

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがって**トナーカートリッジ**の交換の準備を行ってください。

トナーカートリッジが交換時期に達しますと、下図のような交換処理メッセージが表示されます。

トナーカートリッジの場合、メッセージ表示後に本機は停止します。

トナーカートリッジや**ドラムユニット**は保守契約にしたがって交換を行ってください。また表示された色以外の交換は行わないでください。

トナーがなくなった場合、**ドラムユニット**が交換時期に達した場合は、下図のような交換メッセージが表示されます。

ブラック以外の**トナーカートリッジ**や**ドラムユニット**がなくなった場合は、ブラックでの強制出力ができます。［継続操作］を押して、出力するジョブを選択してください。

重要
ドラムユニットは、［以下のユニットが交換時期に達しています］が表示されるまで交換しないでください。

消耗品の状態を確認する

消耗品確認画面では消耗品の状態（消耗レベル）を確認できます。

1　**設定メニュー / カウンター**を押します。

2　［消耗品確認］を押します。

➔ 消耗レベルのリストを印刷する場合は、［印刷］を押し、［実行］または**スタート**を押します。

セールスカウンターを確認する

セールスカウンターの画面では、カウント開始日からのトータルカウントを確認できます。また、カバレッジレートの画面では、トナーの使用率を確認できます。

1　**設定メニュー / カウンター**を押します。

2　［セールスカウンター］▸▸［詳細確認］を押します。

➔ カウンターリストを印刷する場合は、［印刷］を押し、用紙を選択して**スタート**を押します。

	トータル	大サイズ	トータル（コピー+プリンター）
ブラック	51	0	51
フルカラー	0	0	0
単色カラー	0	0	-------
2色	0	0	0
全色合計	51	0	-------

➔ カバレッジレートの画面を表示する場合は［カバレッジレート］を押します。

	カラーカバレッジレート				ブラックカバレッジレート
	シアン	マゼンタ	イエロー	ブラック	
コピー[%]	0.000	0.000	0.000	0.000	4.276
プリンター[%]	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
ファクス/スキャン[%]	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
トータル[%]	0.000	0.000	0.000	0.000	4.276

総印刷枚数を確認する

トータルカウンターで、現在までの総印刷枚数を確認できます。

1. トータルカウンター

8.3 清掃のしかた

スリットガラス

1 ADF を開き、**スリットガラス清掃具**を取外します。

2 **スリットガラス清掃具**で**スリットガラス**の汚れを拭取ります。

➔ ガイドに沿わせて奥から手前に向かって拭取ります。

原稿ガラス、操作パネル、給紙ローラー

重要

操作キー、**タッチパネル**を傷めるおそれがあるため、**操作パネル**を強く押さえないでください。

➔ 柔らかな布で表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。

外装カバー、原稿押えパッド

重要
原稿押えパッドの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

➔ 柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、表面の汚れを拭取ります。

9 トラブル処理

9 トラブル処理

ここではトラブルの処理方法について説明します。

9.1 トラブルが検出されたら（サービスコール）

トラブルが検出された場合、メッセージにしたがいトラブルを処理してください。トラブルが処理できない場合は、以下の操作を行いサービス実施店にご連絡してください。

画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

トラブルを検出したときに、不良箇所を切り離して操作が継続可能な場合、［継続操作］または［データ復旧］が表示されます。操作を継続したい場合は、いずれかのキーを選択してください。ただし、トラブルは解消されていないため、速やかにサービス実施店にご連絡してください。

処理できないトラブルについて

1 サービスコール画面のトラブルコードを書留めます。

2 **副電源スイッチ**を OFF にします。

3 **主電源スイッチ**を OFF にします。

4 本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

5 サービス実施店に連絡し、書留めたトラブルコードをお知らせください。

9.2　トラブルリスト

簡単なトラブル処理

下記は簡単なトラブル処理について説明しています。処理を行ってもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
主電源スイッチを入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか？	電源プラグを正しくコンセントに接続してください。
	副電源スイッチは ON になっていますか？	**副電源スイッチ**を ON にしてください。
コピーがスタートしない	本体の**右上ドア**を確実に閉じていますか？	本体の**右上ドア**を確実に閉じてください。
	原稿に見合った適正な用紙が入っていますか？	適正なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
画像がうすい／色がうすい	濃度の設定が、［うすく］になっていませんか？	濃度画面で［こく］を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 5-18）
	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 8-3）
画像がこい／色がこい	濃度の設定が、［こく］になっていませんか？	濃度画面で［うすく］を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 5-18）
	原稿が**原稿ガラス**から浮上がっていませんか？	原稿が**原稿ガラス**に密着するようにセットしてください。（p. 3-5）
画像がにじむまたはぼける	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 8-3）
	原稿が**原稿ガラス**から浮上がっていませんか？	原稿が**原稿ガラス**に密着するようにセットしてください。（p. 3-5）
印刷の全体が汚れる 印刷にスジが表れる	**原稿ガラス**が汚れていませんか？	**原稿ガラス**を柔らかな布で乾拭きしてください。（p. 8-10）
	スリットガラスが汚れていませんか？	**スリットガラス**をスリットガラス清掃具で清掃してください。（p. 8-10）
	原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、**原稿押えパッド**を清掃してください。（p. 8-11）
	第 2 原図、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていませんか？	原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。（p. 3-5）
	両面原稿を使っていませんか？	うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿内容が透けて、表面の原稿に写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。（p. 5-18）
	帯電チャージャーワイヤーが汚れていませんか？	**チャージャー清掃具**で**帯電チャージャーワイヤー**の汚れを取除いてください。（p. 9-11）

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
印刷の画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を**原稿スケール**に合わせて、正しくセットしてください。（p. 3-5） 原稿を ADF にセットし、**ガイド板**を原稿サイズに正しく合わせてください。（p. 3-4）
	ADF に適した原稿がセットされていますか？	ADF に適していない原稿の場合は、**原稿ガラス**を使用してコピーしてください。（p. 3-5）
	スリットガラスに異物が付着していませんか？（ADF 使用時）	**スリットガラス**を**スリットガラス清掃具**で清掃してください。（p. 8-10）
	給紙トレイの**ガイド板**がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんと**ガイド板**を合わせてください。
	カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。
印刷された用紙が反っている	お使いになる用紙（再生紙など）によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。
		吸湿していない、新しい用紙に交換してください。（p. 8-3）
画像の周りが汚れる	**原稿押えパッド**が汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、**原稿押えパッド**を清掃してください。（p. 8-11）
	原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ （等倍 100.0% コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、拡大コピーをしてください。（p. 5-7）
	原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ （等倍 100.0% コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか？ （縮小コピー倍率手動入力時）	用紙サイズにあった倍率を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。（p. 5-7）
紙づまり処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか？	他の場所につまっている用紙を取除いてください。
両面＞片面、両面＞両面機能にならない	組合わせできない設定を選んでいませんか？	選んでいる設定の組合わせをご確認ください。
部門管理設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	［部門別カウンターが上限値です］が表示されていませんか？	管理責任者にご確認ください。
原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
	仕様以外の原稿を使用していませんか？	ADF にセットできる原稿の仕様を確認してください。（p. 12-6）
	正しく原稿をセットしていますか？	原稿を正しくセットしてください。（p. 3-4）
フィニッシャー FS-527、**フィニッシャー FS-529** または**セパレーター JS-505** が作動しない	コネクターへの接続は確実ですか？	コードをコネクターへ確実に接続してください。
ステープルの位置が 90°ずれる	ステープルの位置指定は合っていますか？	ステープルの位置を目的の位置に指定してください。（p. 5-11）

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置がずれる	用紙が大きくカールしていませんか？	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
	用紙をセットしている給紙トレイの**ガイド板**と用紙の間に隙間がありませんか？	給紙トレイの**ガイド板**を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	用紙の種類が正しく設定されていますか？	選択トレイの用紙種類を正しく設定してください。
認証装置と本機を USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	本機の USB ポートの誤作動が考えられます。	本機の**主電源スイッチ**を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の**主電源スイッチ**を ON にしてください。
認証装置とコンピューターを USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	コンピューターの USB ポートの誤作動が考えられます。	お使いのコンピューターを再起動してください。
	認証装置のドライバーは正しく組込まれていますか？	お使いのコンピューターに正しくドライバーが組込まれているかを確認してください。 （p. 10-2）（p. 11-2）
本機での撮影開始時や認証完了時に報知音が鳴らない	本機の報知音の設定が OFF になっていませんか？	本機の報知音の設定を ON にしてください。（p. 10-2）
登録に失敗する本機に［登録に失敗しました。］のメッセージが表示される場合	認証装置での撮影時間は 1 回の撮影につき時間が制限されています。制限時間内に撮影できなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。 撮影時間については、サービスエンジニアにお問い合わせください。	制限時間内に撮影が終わるように、［すぐに使える操作ガイド］を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。 撮影中は撮影部位を読取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。 撮影部位が土ほこりなどで汚れていた場合、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合（指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合）は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。
ログインに失敗する本機に［認証に失敗しました。］のメッセージが表示される場合		
登録に失敗するコンピューターに［失敗しました。もう一度指を置き直してから、「読取開始」をクリックして下さい。］のメッセージが表示される場合	認証装置での撮影時間は 1 回の撮影につき 5 秒となっています。5 秒で撮影できなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。	

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
撮影が開始されない	認証装置に指を正しく置いていますか？	［すぐに使える操作ガイド］を参照し、認証や撮影時の指の置き方を確認してください。 撮影中は撮影部位を読取り部分に正しく置き、撮影結果が得られるまで動かさないでください。 撮影部位が土ほこりなどで汚れていた場合、手荒れした状態で認証を行おうとした場合は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない可能性があります。手をきれいにしてから再度撮影を行うか、手荒れをできるだけ改善してください。撮影部位が太すぎたり細すぎたりする場合（指の幅が 10 mm 以上 25 mm 未満の範囲外の場合）は、正しい画像が得られないために撮影が終わらない場合があります。「指を伸ばしてみる」「指を深く入れる」「指を浅く入れる」などの指の置き方を試してください。
	認証装置を本機に接続後、本機を再起動しましたか？	本機の**主電源スイッチ**を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の**主電源スイッチ**を ON にしてください。
登録に失敗する本機に［登録に失敗しました。］のメッセージが表示される場合	認証装置の読取り時間は 10 秒に制限されています。制限時間内に読取れなかった場合は、該当のメッセージが表示されます。	制限時間内に読取りが終わるように、［すぐに使える操作ガイド］を参照し、IC カードの置き方を確認してください。
登録に失敗するコンピューターにメッセージが表示される場合		
ログインに失敗する本機に［認証に失敗しました。］のメッセージが表示される場合	IC カード認証 + パスワード認証が設定されている場合 正しいパスワードを入力しましたか？	パスワードを確認し、正しいパスワードを入力してください。
読取りが開始されない	認証装置を本機に接続後、本機を再起動しましたか？	本機の**主電源スイッチ**を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の**主電源スイッチ**を ON にしてください。
認証装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	認証装置を接続した USB ポートは、ドライバーインストール時と同じものですか？	ドライバーをインストールしたときと異なる USB ポートに認証装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。 ドライバーをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。

おもなメッセージと処理のしかた

下記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。

メッセージ	原因	処理のしかた
[原稿ガラス上に原稿が残っています]	**原稿ガラス**に原稿を置き忘れています。	**原稿ガラス**の原稿を取除いてください。
[最適用紙がありません 用紙を選択してください]	適合するサイズの用紙が給紙トレイにセットされていません。	他のサイズの用紙を選択するか、適合するサイズの用紙をセットしてください。
[手差しに用紙をセットしてください]	適合するサイズの用紙が**手差しトレイ**にセットされていません。	適合するサイズの用紙を**手差しトレイ**にセットしてください。
[原稿サイズが自動検出できません 用紙を選択してください]	(1) 原稿が正しくセットされていない。 (2) 不定形サイズまたは、検出できない小サイズの原稿を使用している。	(1) 原稿を正しくセットしてください。 (2) 用紙を選択して、コピーしてください。
[用紙に画像が収まりません 原稿の方向を変えてセットしなおしてください]	画像が用紙に収まらない場合に表示されます。	原稿を 90°回転させ、セットしなおしてください。
[オートカラーとは同時設定できません]	同時に設定できない機能を選択しています。	どちらか一方の機能でコピーしてください。
[トレイの容量オーバーです →のトレイの用紙を取り除いてください]	表示されている**フィニッシャー FS-527**、**フィニッシャー FS-529**、**セパレーター JS-505** の排紙トレイの容量が最大積載量に達したため、コピーができません。	表示されているトレイ上の用紙を全て取除いてください。
[ログインするユーザー名とパスワードを入力し［ログイン］キー、または［ID］キーを押してください]	ユーザー認証されています。ユーザー名と正しいパスワードを入力しないかぎりコピーはできません。	ユーザー名と正しいパスワードを入力してください。(p. 4-8)
[ログインする部門名とパスワードを入力し［ログイン］キー、または［ID］キーを押してください]	部門管理されています。部門名と正しいパスワードを入力しないかぎりコピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。(p. 4-8)
[部門別カウンターが上限値です]	印刷できる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
[→部が開いています 確実に閉めてください]	本体のドアやカバーが開いているかオプションが確実にセットされていないため、コピーができません。	本体のドアやカバー、オプションのドアやカバーを確実にセットしてください。
[ドラムユニットをセットし全てのドアを閉めてください]	表示されている**ドラムユニット**が正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。またはサービス実施店に連絡してください。
[トナーカートリッジ（Y）をセットしてください]	表示されている**トナーカートリッジ**が正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。またはサービス実施店に連絡してください。
[トナーカートリッジを装着して全てのドアを閉めてください]	表示されている**トナーカートリッジ**が正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。またはサービス実施店に連絡してください。
[廃棄トナーボックスをセットし、全てのドアを閉めてください]	**廃棄トナーボックス**が正しくセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。またはサービス実施店に連絡してください。
[誤ったドラムユニットがセットされています。正しいドラムユニットをセットし全てのドアを閉めてください]	正しい**ドラムユニット**がセットされていません。	各消耗品および交換部品をセットしなおしてください。またはサービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	処理のしかた
[用紙を補給してください]	表示されているトレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。(p. 8-3)
[予備のトナーカートリッジ(Y)を用意してください]	表示されているトナーが残り少なくなったときに表示されます。	保守契約にしたがって予備の**トナーカートリッジ**交換を用意してください。
[トナーカートリッジ(Y)の交換時期です]	トナーが残り少なくなりました。	保守契約にしたがって表示されている**トナーカートリッジ**を交換してください。
[トナーがなくなりました。ガイダンス(説明)に従って、トナーカートリッジを交換してください [継続操作] キーを押すと操作を継続できます]	トナーがなくなりました。	保守契約にしたがって表示されている**トナーカートリッジ**を交換してください。
[ステープル針がありません ステープルカートリッジを交換するかステープルを解除してください]	ステープル針がなくなりました。	**ステープルカートリッジ**を交換してください。
[紙づまりが発生しました ガイダンス(説明)に従って用紙を取り除いてください]	紙づまりが発生し、コピーができません。	つまっている用紙を取除いてください。
[パンチキットのくずを廃棄してください ジョブを継続する場合はパンチを解除してください]	(1)パンチくずがいっぱいになりました。 (2)**パンチ廃棄ボックス**がセットされていません。	(1)**パンチ廃棄ボックス**にたまったパンチくずを処理してください。 (2)**パンチ廃棄ボックス**をセットしてください。
[以下の原稿枚数を戻してください] ○○	紙づまり処理が終わったあと、ADF から排紙された原稿を戻す必要があるときに表示されます。	表示枚数の原稿を ADF にセットしなおしてください。
[トラブルを検出しました。前ドアを開閉して解除してください。解除できない場合は、サービスにトラブルコードを連絡してください。]	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面のメッセージにしたがってトラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。
[トラブルを検出しました。主電源を OFF/ON して解除してください。解除できない場合は、サービスにトラブルコードを連絡してください。]		
[トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください]	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。
[左側のスリットガラスを専用クリーナーで清掃してください。この状態のまま、操作を継続すると出力画像に筋が発生する可能性があります]	**スリットガラス**が汚れています	**スリットガラス清掃具**で清掃してください。
[Now Downloading Program Data from the Firmware server.]	(1)サービス実施店による CS Remote Care が行われています。 (2)Internet ISW のダウンロード実行中です。	メッセージが表示されている間は、**副電源スイッチ**を OFF にしないでください。 **副電源スイッチ**を OFF にした場合は、**主電源スイッチ**を OFF にし、サービス実施店に連絡してください。
[不正アクセスのため、入力した認証情報は無効です 管理者に連絡してください]	認証に指定回数連続失敗したため、認証情報が無効となっています。	本機の管理者に連絡してください。
[不正アクセスのため、現在管理者パスワードは無効となっています]	認証に指定回数連続失敗したため、管理者パスワードが無効となっています。	本機の電源を OFF/ON します。 **主電源スイッチ**を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。

メッセージ	原因	処理のしかた
[ジョブログが上限に達しています 管理者に連絡してください]	ジョブログの書込み領域が上限に達しています。	PageScope Web Connection でジョブログの取得を行ってください。
[アニメーションガイドデータがありません。サービスに連絡してください]	アニメーションガイドデータがインストールされていません。	アニメーションガイドデータのインストールについては、サービス実施店に連絡してください。

タッチパネル内で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	画像安定化機能、印刷機能、スキャナー機能に異常が発生していることを示します。 このアイコンを押すと警告コードを確認できる画面に切換わります。
警告表示	警告発生中に警告表示画面を閉じた場合に、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切換わります。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
POP	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。
	給紙トレイにセットされている用紙が残り少ないことを示します。
	オプションの**イメージコントローラー IC-412 v1.1** を装着している場合に表示されます。このアイコンを押すと**イメージコントローラー IC-412 v1.1** の設定画面が表示されます。
Sec	セキュリティー強化設定が適用されていることを示します。
	外部メモリー（USB メモリー）が接続されている場合に表示されます。
	規格外の外部メモリーを差し込まれ、USB 接続が無効であることを示します。
	G3 ファクス /IP アドレスファクス送信時に、受信側が話し中で送信できない場合などのリダイアル待ちであることを示します。

9.3　　印刷品質が低下したら

帯電チャージャーワイヤーの清掃のしかた

帯電チャージャーワイヤーが汚れると、印刷画像にスジのような汚れが出ることがあります。以下の手順にしたがって**帯電チャージャーワイヤー**を清掃してください。

1　**前ドア**を開きます。

2　**チャージャー清掃具**を手前側に止まる位置までゆっくり引出します。次に奥側に当たる位置までゆっくりと押込みます。

上記の操作を 3 回程度行います。

3　**チャージャー清掃具**を確実に押込み、**前ドア**を閉じます。

プリントヘッドの清掃のしかた

プリントヘッドが汚れると、印刷画像に異常をきたすことがあります。以下の手順にしたがって**プリントヘッド**を清掃してください。

1　**前ドア**を開きます。

2　**廃棄トナーボックス固定レバー**を外して、**廃棄トナーボックス**を取外します。

3　**プリントヘッド窓清掃具**を手前側に止まる位置までゆっくり引出します。次に奥側に当たる位置までゆっくりと押込みます。

上記の操作を 3 回程度行います。

4　**プリントヘッド窓清掃具**を確実に押込み、**廃棄トナーボックス**を取付けます。

5　**前ドア**を閉じます。

10 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）

10　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101、**認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-102 について説明します。

1

2

1. **認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-101
2. **認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-102

10.1　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）の使い方

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101、**認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-102 は、指の静脈パターンを撮影することにより個人認証を行う「バイオメトリクス（生体認証）」のシステムです。ユーザー認証が設定されている本機で、本機へのログインやプリントジョブの印刷を指静脈による認証で行うことができます。

人差し指は読取り部分の窪みと突起部分を目標にして、人差し指の指先の腹で軽く触れるようにまっすぐにした状態で置いてください。中指と親指を認証装置の両側に固定し、認証に使用する人差し指の回転を防ぎます。

認証装置への指の置き方については、10-17 ページをごらんください。

重要

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 から**認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-102 に変更した場合、**認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-101 で登録したユーザーは**認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-102 では使用できません。本機に**認証装置（指静脈 生体認証タイプ）**AU-102 を接続し、再度ユーザー登録を行ってください。

撮影中は認証装置の読取り部分に指以外のものを置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。

撮影中に認証装置やコンピューターから USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。

状態表示 LED と報知音により、認証装置の状態を表します。

状態表示 LED	認証装置の状態
点灯（緑）	待機中・認証完了
点滅（緑）	認証中・撮影中
点灯（赤）	認証失敗・撮影失敗
消灯	認証装置を認識していない状態

報知音	認証装置の状態
短く 1 度（ピッ）	撮影開始
短く 1 度（ピッ）	認証失敗リトライ中
短く 1 度（ピッ）*1／短く 2 度（ピピッ）*2	認証完了
短く 2 度（ピピッ）*1／ 短く 1 度、長く 1 度（ピッピー）*2	認証失敗
長く 1 度（ピー）*2	撮影キャンセル

*1 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の場合

*2 認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102 の場合

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101、認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102 を使用するためには、最初にユーザーの指静脈パターンを本機に登録します。登録されたユーザーは、指静脈パターンによる認証で、本機へのログインやプリントジョブの印刷をすることができます。ここでは本機で必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかた、認証によるログインについて説明します。

10.1.1 本機の設定

重要
本機には本体装置認証の形式でユーザー認証を設定する必要があります。

外部サーバー認証はサポートされません。部門管理の設定を組合わせる場合は、ユーザー認証 / 部門認証の連動は、[連動する] を指定します。

1 本機の**操作パネル**で管理者設定画面を表示させます。[ユーザー認証 / 部門管理] を押し [認証方式] を押します。

2 [ユーザー認証] を [本体装置認証] に設定し、[OK] を押します。

3 [はい] を押し [OK] を押します。

4 [認証装置設定] を押します。

5 [認証方式] を押します。

6 [生体認証] を押します。

7 ［報知音］と［動作設定］を設定します。

➔［報知音］は、指静脈パターンの読取りに成功したときに「ピッ」という音をならすかどうかを指定します。
➔［動作設定］は、登録後のログインのしかたを指定します。
［1 対多認証］：指を置くだけでログインできます。
［1 対 1 認証］：ユーザー名を入力して指を置くことでログインできます。
ログインのしかたについては、10-17 ページをごらんください。

8 ［OK］を 2 回押します。

9 ［ログアウト設定］を押します。

10 認証装置でのログイン後、原稿読込み終了時にログアウトするかどうかを設定します。

11 ［OK］を押します。

12 ［閉じる］を 2 回押します。

10.1.2 ユーザー登録のしかた

ユーザー登録には 2 つの方法があります。

- 認証装置を本機に接続し、直接本機に登録する
- 認証装置をコンピューターに接続し、Data Administrator を使用して登録する

重要

登録されたユーザーデータは、本機の HDD に保存されます。本機のユーザー認証形式を変更した場合や HDD フォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

本機の操作パネルで登録する

1 本機の**操作パネル**で管理者設定画面を表示させます。［ユーザー認証 / 部門管理］を押し［ユーザー認証設定］を押します。

重要

［ユーザー認証設定］は、認証方式でユーザー認証が［認証しない］に設定されている場合は、選択できません。

2 ［ユーザー登録］を押します。

3 登録番号を選択し、［編集］を押します。

4 ［認証情報登録］を押します。

5　［編集］を押します。

6　認証装置に指を置いて指静脈パターンの読取りを行います。

➔ 指静脈パターンの読取りは 3 回行い、同じ指を 1 回ごとに置きなおし［読取り］を押します。
➔ 指静脈パターンの読取り後、同じ指を置き［認証テスト］を押します。
➔ 認証テストで認証できた場合は、［登録］を押します。認証できない場合は、再度読取りを行います。

7　［閉じる］を 2 回押します。

8　ユーザー名、パスワードを入力します。

9　必要に応じて、機能制限などを設定します。

10　［OK］を押します。

11　［閉じる］を押します。

Data Administrator で登録する

Data Administrator を使用するには、本機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、認証装置の BioDriver（USB-Driver）をインストールし、次に Data Administrator Bio Plugin をインストールするという手順で行います。

重要
あらかじめコンピューターに Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。
Data Administrator の動作環境やインストール手順については、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

インストールバージョンの確認

1 Data Administrator の［ヘルプ］メニューから［バージョン情報］を選択します。

重要
バージョンが「3.x」の場合、このソフトは使用できません。「4.x」をインストールしてください。

Data Administrator V3.x がインストールされている場合は、V4.x のインストール時に削除されます。

2 ［プラグインバージョン情報］をクリックします。

3 ［プラグイン情報の一覧］で、Data Administrator のプラグインバージョンを確認します。

→ プラグインバージョンが「4.x」の場合、このソフトを使用できます。

セットアップ

1 本機の**主電源スイッチ**を OFF にし、本機から認証装置を取外します。

2 BioDriver（USB-Driver）をインストールします。

認証装置をコンピューターの USB ポートに接続します。
［新しいハードウェアが見つかりました］が表示されます。

3 ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］を選択します。

4 認証装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

5　［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

6　ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して［次へ］をクリックします。

➔ ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、［参照］をクリックし、CD-ROM 内の **BioDriver（USB-Driver）**フォルダーを選択して［OK］をクリックします。

➔ インストールが開始されます。

7　［閉じる］をクリックします。

BioDriver（USB-Driver）のインストールが完了します。

8　Data Administrator Bio Plugin をインストールします。

アプリケーション CD-ROM 内の DA_Bio_Plugin フォルダーを開き、setup.exe をクリックします。

9　言語を選択し、［OK］をクリックします。

インストールプログラムが起動します。

10　画面の指示にしたがってインストールを行います。

11 ［次へ］をクリックします。

PlugIn for Biometric Authentication Unit AU-XXX

PlugIn for Biometric Authentication Unit AU-XXX用の InstallShield ウィザードへようこそ

InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ PlugIn for Biometric Authentication Unit AU-XXX をインストールします。「次へ」をクリックして、続行してください。

警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護されています。

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

12 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

PlugIn for Biometric Authentication Unit AU-XXX

使用許諾契約

次の使用許諾契約書を注意深くお読みください。

使用許諾契約を表示する言語を選択できます。

日本語

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます）のパッケージを開封される前に、または本ソフトウェアをダウンロード、インストールもしくは使用を開始される前に、このソフトウェア使用許諾契約書（以下、本契約といいます。）をよくお読みください。お客様が本ソフトウェアのパッケージを開封、本ソフトウェアのダウンロード、インストールまたは使用を開始された場合、本契約に同意されたものとみなされます。本契約に同意いただけない場合は、本ソフトウェアのパッケー

使用許諾契約の条項に同意します(A)

使用許諾契約の条項に同意しません(D)

InstallShield

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

13 ［インストール］をクリックします。

PlugIn for Biometric Authentication Unit AU-XXX

プログラムをインストールする準備ができました

ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。

「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。

インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックすると、ウィザードを終了します。

InstallShield

< 戻る(B)　インストール(I)　キャンセル

14 ［完了］をクリックします。

Data Administrator Bio Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

ユーザー登録

Data Administrator でユーザー登録するには、認証装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと本機がネットワークで接続されている必要があります。

1 認証装置が本機に接続されている場合は、本機の**主電源スイッチ**を OFF にして認証装置を取外します。

➔ 認証装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

重要

本機の**主電源スイッチ**を OFF/ON する場合は、**主電源スイッチ**を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

2 本機の**主電源スイッチ**を ON にします。

3 Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、認証装置を接続します。

重要

認証装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。

USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。

認証装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

4　Data Administrator を起動させ、本機の装置情報を読込みます。

装置情報画面が表示されます。

➔ 装置情報の読込みについては、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

5　機能選択から［認証設定］－［ユーザ設定］を選択し、［追加］をクリックします。

6 テンプレートを選択し、［OK］をクリックします。

ユーザーの登録画面が表示されます。

7 ユーザ名、パスワードを入力し、［AU-101］タブまたは［AU-102］タブを選択して［認証情報登録］をクリックします。

➔ 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。

8 指静脈パターンを登録します。

→ 指静脈パターンの読取りは 3 回行い、同じ指を 1 回ごとに置きなおし［読取開始］をクリックします。
→ 指静脈パターンの読取り後、同じ指を置き［認証テスト］をクリックします。
→ 認証テストで成功した場合は、［登録］を押します。
→ 認証テストで失敗した場合は、もう一度指を置きなおし［認証テスト］をクリックします。
→ 認証に失敗した場合は、［リセット］をクリックして、再度読取りを行ってください。

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101 の場合

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102 の場合

9 ［登録］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

→ 手順 5 ～ 10 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。

11 ［装置に書込み］をクリックします。

➔ ユーザ名を選択して［編集］をクリックすると、登録したデータを変更できます。

12 ［書込み］をクリックします。

➔ Data Administrator には一括コピー機能があり、認証装置の使用が設定された複数の本機に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

登録したユーザーデータが本機に設定されます。

13 ［OK］をクリックします。

14 コンピューターの USB ポートから認証装置を取外します。

15 本機の**主電源スイッチ**を OFF にして認証装置を接続し、本機の**主電源スイッチ**を ON にします。

重要

本機の**主電源スイッチ**を OFF/ON する場合は、**主電源スイッチ**を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

10.1.3 本機へのログイン

指静脈パターンによる認証で、本機にログインする方法を説明します。

- 生体認証を行う場合は、あらかじめ指静脈パターンを登録しておいてください。
- 認証の失敗が多く発生する場合は、正しく指静脈パターンが登録されていない可能性があります。指静脈パターンを登録しなおしてください。
- ［1 対多認証］の場合は、指を置くだけで認証されます。［1 対 1 認証］の場合は、ユーザー名を入力して指を置くことで認証されます。
- 認証装置を使用せず、［ユーザー名］と［パスワード］を入力して［ログイン］する場合は、［本体認証］を押してください。

［1 対多認証］が設定されている場合

➔ 認証装置に指を置きます。

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102

基本設定画面が表示されます。

［1 対 1 認証］が設定されている場合

1　［ユーザー名］を押し、ユーザー名を入力します。

2　認証装置に指を置きます。

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101　認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102

基本設定画面が表示されます。

11 認証装置（IC カード認証タイプ）

11 認証装置（IC カード認証タイプ）

認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 について説明します。

1

READY

1. 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201

11.1 認証装置（IC カード認証タイプ）の使い方

認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 は、IC カードの読取りにより個人認証を行う「IC カード認証」のシステムです。ユーザー認証が設定されている本機で、本機へのログインやプリントジョブの印刷を IC カードによる認証で行うことができます。

認証装置を使用するためには、最初にユーザーのカード ID を本機に登録します。登録されたユーザーは、カード ID による認証で、本機へのログインやプリントジョブの印刷をすることができます。ここでは本機で必要な設定のしかた、ユーザー登録のしかた、認証によるログインについて説明します。

認証装置への IC カードの置き方については、［すぐに使える操作ガイド］をごらんください。

重要
認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 は、ワーキングテーブル WT-507 またはワーキングテーブル WT-506 の内部に取付けて使用します。

認証装置を使用中に USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。

IC カードは、カード読取部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください。

11.1.1 本機の設定

重要
認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 は、ワーキングテーブル WT-507 またはワーキングテーブル WT-506 の内部に取付けて使用します。

本機には本体装置認証の形式でユーザー認証を設定する必要があります。

外部サーバー認証はサポートされません。［パブリックユーザー］や［部門管理］の設定については、7-25 ページをごらんください。部門管理の設定を組合わせる場合は、ユーザー認証 / 部門認証の連動は、［連動する］を指定します。

1 本機の**操作パネル**で管理者設定画面を表示させます。［ユーザー認証 / 部門管理］を押し［認証方式］を押します。

2 ［ユーザー認証］を［本体装置認証］に設定し、［OK］を押します。

3 ［はい］を押し［OK］を押します。

4 ［認証装置設定］を押します。

5 ［認証方式］を押します。

6 ［IC カード認証］を押します。

7 ［IC カードタイプ］と［動作設定］を設定します。

➔ ［IC カードタイプ］は使用する IC カードの種類を指定します。
➔ ［動作設定］は、登録後のログインのしかたを指定します。
［IC カード認証］：IC カードを置くだけでログインできます。
［IC カード認証 + パスワード認証］：IC カードを置き、パスワードを入力することでログインできます。

ログインのしかたについては、11-15 ページをごらんください。

8 ［OK］を 2 回押します。

9 ［ログアウト設定］を押します。

10 認証装置でのログイン後、原稿読込み終了時にログアウトするかどうかを設定します。

11 ［OK］を押します。

12 ［閉じる］を 2 回押します。

11.1.2 ユーザー登録のしかた

ユーザー登録には 2 つの方法があります。

- 認証装置を本機に接続し、直接本機に登録する
- 認証装置をコンピューターに接続し、Data Administrator を使用して登録する

重要

登録されたユーザーデータは、本機の HDD に保存されます。本機のユーザー認証形式を変更した場合や HDD フォーマットを行った場合は、登録されたユーザーデータが消去されます。

本機の操作パネルで登録する

1 本機の**操作パネル**で管理者設定画面を表示させます。［ユーザー認証 / 部門管理］を押し［ユーザー認証設定］を押します。

2 ［ユーザー登録］を押します。

3 登録番号を選択し、［編集］を押します。

4　［認証情報登録］を押します。

5　［編集］を押します。

6　認証装置に IC カードを置き、［OK］を押します。

7　［登録完了］とメッセージが表示されたら、［閉じる］を 2 回押します。

8　ユーザー名、パスワードを入力します。

9　必要に応じて、機能制限などを設定します。

10　［OK］を押します。

11　［閉じる］を押します。

Data Administrator で登録する

Data Administrator を使用するには、本機の設定後、セットアップを行います。セットアップは、認証装置の IC Card Driver（USB-Driver）をインストールし、次に Data Administrator IC Card Plugin をインストールするという手順を行います。

重要

あらかじめコンピューターに Data Administrator V4.0 以降をインストールしておく必要があります。Data Administrator の動作環境やインストール手順については、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

インストールバージョンの確認

1 Data Administrator の［ヘルプ］メニューから［バージョン情報］を選択します。

重要

バージョンが「3.x」の場合、このソフトは使用できません。「4.x」をインストールしてください。

Data Administrator V3.x がインストールされている場合は、V4.x のインストール時に削除されます。

2 ［プラグインバージョン情報］をクリックします。

3 ［プラグイン情報の一覧］で、Data Administrator のプラグインバージョンを確認します。

プラグインバージョン情報

プラグイン情報の一覧(P):

プラグイン名称	プラグインバージョン	パス
Data Administrator	4.1.0000.09041	C:¥Progra

詳細(D)

ヘルプ(F1)

閉じる(C)

➔ プラグインバージョンが「4.x」の場合、このソフトを使用できます。

セットアップ

1 本機の**主電源スイッチ**を OFF にし、本機から認証装置を取外します。

2 IC Card Driver（USB-Driver）をインストールします。

認証装置をコンピューターの USB ポートに接続します。
［新しいハードウェアが見つかりました］が表示されます。

3 ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨)］を選択します。

新しいハードウェアが見つかりました
不明なデバイス のドライバ ソフトウェアをインストールする必要があります
ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします (推奨)(L)
このデバイスのドライバ ソフトウェアをインストールする手順をご案内します。
後で再確認します(A)
次回デバイスをプラグ インするときまたはデバイスにログオンするときに、再度確認メッセージが表示されます。
このデバイスについて再確認は不要です(D)
このデバイスは、ドライバ ソフトウェアをインストールするまでは動作しません。
キャンセル

4 認証装置に同梱されているアプリケーション CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

5 ［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級)］をクリックします。

新しいハードウェアの検出
このデバイス用のドライバ ソフトウェアが見つかりませんでした。
解決策を確認します(C)
デバイスが動作するために必要な手順があるかどうかが確認されます。
コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)(R)
ドライバ ソフトウェアを手動で検索してインストールします。
キャンセル

6 ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM であることを確認して［次へ］をクリックします。

➔ ドライバーの検索場所がアプリケーション CD-ROM になっていない場合は、［参照］をクリックし、CD-ROM 内の **IC Card Driver（USB-Driver）**フォルダーを選択して［OK］をクリックします。

➔ インストールが開始されます。

7　［閉じる］をクリックします。

IC Card Driver（USB-Driver）のインストールが完了します。

8　Data Administrator IC Card Plugin をインストールします。

アプリケーション CD-ROM 内の IC_Card_Plugin フォルダーを開き、setup.exe をクリックします。

9　言語を選択し、［OK］をクリックします。

インストールプログラムが起動します。

10　画面の指示にしたがってインストールを行います。

11　［次へ］をクリックします。

12 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

13 ［インストール］をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

Data Administrator IC Card Plugin のインストールが完了し、セットアップが完了します。

ユーザー登録

Data Administrator でユーザー登録するには、認証装置がコンピューターの USB ポートに接続され、コンピューターと本機がネットワークで接続されている必要があります。

1 認証装置が本機に接続されている場合は、本機の**主電源スイッチ**を OFF にして認証装置を取外します。

➔ 認証装置がコンピューターに接続されている場合は、手順 4 に進みます。

重要

本機の**主電源スイッチ**を OFF/ON する場合は、**主電源スイッチ**を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

2 本機の**主電源スイッチ**を ON にします。

3 Data Administrator がインストールされたコンピューターの USB ポートに、認証装置を接続します。

重要

認証装置と同一のポートに他の USB 機器を接続しないでください。USB パワーが供給不足になり正しく動作できなくなります。

USB ハブを使用する場合は必ず 500 mA 以上の電力の供給できるセルフパワーの USB ハブを使用してください。

認証装置を接続後、5 秒以上経過してから操作を行ってください。

4 Data Administrator を起動させ、本機の装置情報を読込みます。

装置情報画面が表示されます。

➔ 装置情報の読込みについては、Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。

5　機能選択から［認証設定］－［ユーザ設定］を選択し、［追加］をクリックします。

6　テンプレートを選択し、［OK］をクリックします。

ユーザーの登録画面が表示されます。

7　ユーザ名、パスワードを入力し、［IC カード認証］タブを選択します。

➔ 必要に応じて E-Mail アドレスなどを入力します。

8　認証装置に IC カードを置いて、［読取開始］をクリックします。

➔［カード ID 入力］をクリックして、カード ID を登録することもできます。

9　［OK］をクリックします。

➔ 手順 5 〜 12 を繰り返し、すべてのユーザー登録を行います。

10 ［装置に書込み］をクリックします。

➔ ユーザ名を選択して［編集］をクリックすると、登録したデータを変更できます。

11 ［書込み］をクリックします。

➔ Data Administrator には一括コピー機能があり、認証装置の使用が設定された複数の本機に、登録したユーザーデータをまとめて設定することができます。

登録したユーザーデータが本機に設定されます。

12 ［OK］をクリックします。

13 コンピューターの USB ポートから認証装置を取外します。

14 本機の**主電源スイッチ**を OFF にして認証装置を接続し、本機の**主電源スイッチ**を ON にします。

重要

本機の**主電源スイッチ**を OFF/ON する場合は、**主電源スイッチ**を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

USB ケーブルの抜差しは、プラグの部分を持って行ってください。故障の原因となります。

11.1.3 本機へのログイン

IC カードによる認証で、本機にログインする方法を説明します。

- IC カードで認証を行う場合は、あらかじめ IC カードに記録された情報を登録しておいてください。
- 認証の失敗が多く発生する場合は、正しく IC カードの情報が登録されていない可能性があります。IC カードの情報を登録しなおしてください。
- IC カード認証の場合は、IC カードを置くだけで認証されます。IC カード認証 + パスワード認証の場合は、IC カードを置き、［パスワード］を入力することで認証されます。
- 認証装置を使用せず、［ユーザー名］と［パスワード］を入力して［ログイン］する場合は、［本体認証］を押してください。

［IC カード認証］が設定されている場合

➔ **ワーキングテーブル** WT-507 または**ワーキングテーブル** WT-506 に IC カードを置きます。

基本設定画面が表示されます。

［IC カード認証 + パスワード認証］が設定されている場合

1　ワーキングテーブル WT-507 またはワーキングテーブル WT-506 に IC カードを置きます。

2　［パスワード］を押し、パスワードを入力します。

3　［ログイン］または ID を押します。

基本設定画面が表示されます。

12 仕様

12 仕様

用紙、本体、オプションの仕様について説明します。

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

12.1 用紙について

用紙種類および用紙容量

用紙種類	用紙坪量	用紙容量
普通紙 片面専用用紙 *1 特殊紙 *2 レターヘッド紙 *3 色紙 *4 ユーザー紙 1*5 ユーザー紙 2*5	60 g/m^2 ～ 90 g/m^2	**手差しトレイ**：150 枚 **トレイ 1**：500 枚 **トレイ 2**：500 枚 **給紙キャビネット PC-107**：500 枚 **給紙キャビネット PC-207**：500 枚 **給紙キャビネット PC-408**：2500 枚
厚紙 1 ユーザー紙 3*5	91 g/m^2 ～ 150 g/m^2	**手差しトレイ**：20 枚 **トレイ 1**：150 枚 **トレイ 2**：150 枚 **給紙キャビネット PC-107**：150 枚 **給紙キャビネット PC-207**：150 枚 **給紙キャビネット PC-408**：1000 枚
厚紙 2 ユーザー紙 4*5	151 g/m^2 ～ 209 g/m^2	**手差しトレイ**：20 枚 **トレイ 1**：150 枚 **トレイ 2**：150 枚 **給紙キャビネット PC-107**：150 枚 **給紙キャビネット PC-207**：150 枚 **給紙キャビネット PC-408**：1000 枚
厚紙 3 ユーザー紙 5*5	210 g/m^2 ～ 256 g/m^2	**手差しトレイ**：20 枚 **トレイ 1**：150 枚 **トレイ 2**：150 枚 **給紙キャビネット PC-107**：150 枚 **給紙キャビネット PC-207**：150 枚 **給紙キャビネット PC-408**：1000 枚
厚紙 4	257 g/m^2 ～ 271 g/m^2	**手差しトレイ**：20 枚
OHP フィルム	－	**手差しトレイ**：20 枚
はがき	－	**手差しトレイ**：20 枚
封筒	－	**手差しトレイ**：10 枚
ラベル用紙	－	**手差しトレイ**：20 枚
長尺紙	127 g/m^2 ～ 160 g/m^2	**手差しトレイ**：10 枚

*1 両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）。

*2 上質紙などの特別な用紙。

*3 あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙。

*4 カラーペーパーなど色が付いた用紙。

*5 よく使う用紙種類として本機に登録されている用紙。

用紙坪量、メディア調整の設定については、サービスエンジニアにおたずねください。

重要
OHP フィルムや色紙など、普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに OHP フィルムや色紙などをセットした場合、必ず正しい種類の専用紙に設定してください。
用紙サイズや用紙種類が正しく設定されていない場合、紙づまりや画像不良の原因となります。

手差しトレイで普通紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、厚紙 4 を選択した場合、両面 2 面目を設定できます。
両面 2 面目は、片面に印刷された用紙をセットする場合に選択します。

12.2 本体仕様

bizhub C360/bizhub C280/bizhub C220

仕様

形式	スキャナー・プリンター 一体卓上型／自立型	
原稿台方式	原稿台固定方式（ミラースキャン）	
感光体	OPC	
光源	白色希ガス蛍光灯	
複写方式	レーザー静電複写方式	
現像方式	乾式 2 成分 HMT 現像方式	
定着方式	ベルト定着方式	
解像度	読取り	600 dpi × 600 dpi
	出力	1800 dpi 相当 × 600 dpi
複写原稿	種類	シート、ブック（見開き）、立体物
	サイズ	最大 A3（11 × 17）
	重量	2 kg（立体物）
複写紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2）、厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）、厚紙 4（257 g/m^2 ～ 271 g/m^2）*、レターヘッド紙、色紙、OHP フィルム*、はがき*、封筒*、ラベル用紙*、長尺紙（127 g/m^2 ～ 160 g/m^2）* 両面：普通紙（64 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1/2/3（91 g/m^2 ～ 256 g/m^2） * **手差しトレイ**のみ使用可能です。	
複写紙サイズ	< **トレイ 1**> A3 ～ A5 、11 × 17 ～ 8-1/2 × 11 、8 × 13 *1、16K 、8K < **トレイ 2**> A3 ～ A5 、12-1/4 × 18 ～ 8-1/2 × 11 / 、8 × 13 *1、16K 、8K < **手差しトレイ** > A3 ～ B6 、A6 、はがき（100 mm × 148 mm） 、長尺紙 *2、12 × 18 ～ 5-1/2 × 8-1/2 / 、8 × 13 *1、16K / 、8K 幅：90 mm ～ 311.1 mm、長さ：139.7 mm ～ 1200 mm *1 Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2 、220 mm × 330 mm 、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービスエンジニアにおたずねください。 *2 長尺紙 幅：210 mm ～ 297 mm 長さ：457.3 mm ～ 1200 mm	
排紙トレイの積載枚数	普通紙	250 枚
	厚紙	10 枚
	OHP フィルム	1 枚
用紙収容枚数（A4）	**トレイ 1/ トレイ 2**	普通紙：500 枚、厚紙 1/2/3：150 枚
	手差しトレイ	普通紙：150 枚、厚紙 1/2/3/4：20 枚、OHP フィルム / はがき / ラベル用紙：20 枚、封筒：10 枚

仕様

ウォームアップタイム	**主電源スイッチ**が ON の状態から**副電源スイッチ**を ON にして、印刷可能な状態になるまでの時間（室温 23 ℃） bizhub C360/bizhub C280 フルカラー：35 秒以下 / ブラック：27 秒以下 bizhub C220 フルカラー：27 秒以下 / ブラック：22 秒以下 **主電源スイッチ**を ON にして、印刷可能な状態になるまでの時間（室温 23 ℃） 45 秒以下 ウォームアップタイムは、使用環境や利用状況によって異なる場合があります。	
画像欠け幅	先端	4.2 mm
	後端	3.0 mm
	右端	3.0 mm
	左端	3.0 mm
ファーストコピータイム（A4 印刷時）	bizhub C360/bizhub C280 フルカラー：7.7 秒以下 ブラック：5.8 秒以下 bizhub C220 フルカラー：11.0 秒以下 ブラック：7.5 秒以下	
コピースピード （A4 印刷時）	片面 （フルカラー / ブラック）	bizhub C360 36 枚 / 分（特殊紙 / 光沢モード時：11.8 枚 / 分） bizhub C280 28.8 枚 / 分（特殊紙 / 光沢モード時：11.8 枚 / 分） bizhub C220 22.7 枚 / 分（特殊紙 / 光沢モード時：11.8 枚 / 分）
	両面 （フルカラー / ブラック）	bizhub C360 34.9 面 / 分（特殊紙 / 光沢モード時：11.8 面 / 分） bizhub C280 28.8 面 / 分（特殊紙 / 光沢モード時：11.8 面 / 分） bizhub C220 22.7 面 / 分（特殊紙 / 光沢モード時：11.7 面 / 分）
複写倍率	等倍：100.0% ± 0.5% 以下 拡大：115.4%、122.4%、141.4%、200.0% 縮小：86.6%、81.6%、70.7%、50.0% フリー設定：25.0%～ 400.0%（0.1%ステップ）	
連続複写枚数	1 枚～ 9999 枚	
濃度調整	コピー濃度	マニュアル濃度調整（9 段階）
	下地濃度	マニュアル濃度調整および自動濃度調整（9 段階）
電源	AC 100 V, 15 A, 50/60 Hz	
最大消費電力	1500 W	
大きさ	幅 643 mm × 奥行 705 mm（パネル含まず）/842 mm（パネル含む）× 高さ 770 mm	
機械占有寸法	幅 1649 mm × 奥行 1260 mm × 高さ 1588 mm **フィニッシャー FS-527** の補助トレイ、給紙トレイを引出し、ADF を開いた状態の寸法です。	
メモリー容量（ハードディスク容量）	2048 MB（250 GB）	
質量	約 98 kg	

自動両面ユニット

仕様

用紙種類	普通紙（64 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2）、厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、12-1/4 × 18 ▭、12 × 18 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭、8 × 13 ▭ *1、16K ▭/▯、8K ▭ 幅：139.7 mm ～ 311.1 mm 長さ：148 mm ～ 457.2 mm *1 Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2 ▭、220 mm × 330 mm▭、8-1/2 × 13 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8 × 13 ▭ の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービスエンジニアにおたずねください。
電源	本体から供給

12.3 オプション仕様

自動両面原稿送り装置 DF-617

仕様

項目	内容	
原稿通紙機能	片面原稿、両面原稿、混載原稿	
原稿種類	片面	普通紙（35 g/m^2 ～ 210 g/m^2）
	両面・混載	普通紙（50 g/m^2 ～ 128 g/m^2）
原稿サイズ	片面原稿／両面原稿：A3 ～ B6 、はがき（100 mm × 148 mm）、11 × 17 、8 × 13 、8.5 × 11/	
	混載原稿については、p. 5-16 をごらんください。	
原稿積載量	片面原稿／両面原稿：最大 100 枚以下（80 g/m^2）	
電源	本体から供給	
最大消費電力	60 W 以下	
大きさ	幅 600 mm × 奥行 575 mm × 高さ 140 mm	
質量	約 16.7 kg	

給紙キャビネット PC-107

仕様

項目	内容
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2）、厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ A5 、11 × 17 ～ 8.5 × 11/、8 × 13 *1、16K 、8K *1 Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2 、220 mm × 330 mm、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービスエンジニアにおたずねください。
収容枚数	**トレイ 3** 普通紙：500 枚、厚紙 1/ 厚紙 2/ 厚紙 3：150 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 705 mm × 高さ 299 mm
質量	約 24 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

給紙キャビネット PC-207

仕様

用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2）、厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ A5、11 × 17 ～ 8.5 × 11/、8 × 13 [*1]、16K、8K *1 Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2、220 mm × 330 mm、8-1/2 × 13、8-1/4 × 13、8-1/8 × 13-1/4、8 × 13 の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービスエンジニアにおたずねください。
収容枚数	上段（**トレイ 3**） 普通紙：500 枚、厚紙 1/ 厚紙 2/ 厚紙 3：150 枚 下段（**トレイ 4**） 普通紙：500 枚、厚紙 1/ 厚紙 2/ 厚紙 3：150 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 705 mm × 高さ 299 mm
質量	約 28 kg
ユニット構成	給紙トレイ 2 段

給紙キャビネット PC-408

仕様

用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、厚紙 2（151 g/m^2 ～ 209 g/m^2）、厚紙 3（210 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A4、8.5 × 11
収容枚数	普通紙：2500 枚、厚紙 1/ 厚紙 2/ 厚紙 3：1000 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	45 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 702 mm × 高さ 299 mm
質量	約 28 kg

フィニッシャー FS-527

仕様

排紙トレイ	**第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ**
通紙機能	グループ、ソート、仕分けグループ *、仕分けソート *、ステープル * * **第 2 排紙トレイ**に排紙
用紙種類	グループ / ソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、 厚紙（91 g/m^2 ～ 300 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド紙、長尺紙 仕分けグループ / 仕分けソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 300 g/m^2） ステープル：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） 厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）

仕様

<table>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="4"><第 1 排紙トレイ>
A3 ～ B6 、A6 、はがき（100 mm × 148 mm）、12-1/4 × 18 、11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 /
幅：90 mm ～ 311.15 mm、長さ：139.7 mm ～ 1200 mm
<第 2 排紙トレイ>
グループ／ソート：
A3 ～ B6 、A6 、はがき（100 mm × 148 mm）、12-1/4 × 18 、11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 /
幅：100 mm ～ 311.15 mm、長さ：139.7 mm ～ 457.2 mm
仕分けグループ／仕分けソート：
A3 ～ A5 、12-1/4 × 18 、11 × 17 、8-1/2 × 11 /
幅：182 mm ～ 311.15 mm、長さ：148.5 mm ～ 457.2 mm
ステープル：
A3 ～ A5 、11 × 17 、8-1/2 × 14 、8-1/2 × 11 /
幅：182 mm ～ 297 mm、長さ：148.5 mm ～ 431.8 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="3">用紙積載量
<第 1 排紙トレイ></td><td colspan="3">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）</td><td>200 枚</td></tr>
<tr><td colspan="3">厚紙（91 g/m^2 ～ 300 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド紙</td><td>20 枚</td></tr>
<tr><td colspan="4">積載高さ：35 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="14">用紙積載量
<第 2 排紙トレイ></td><td rowspan="4">グループ／ソート</td><td rowspan="3">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）</td><td>A4 、8-1/2 × 11 以下</td><td>3000 枚</td></tr>
<tr><td>B4 、8-1/2 × 14 以上</td><td>1500 枚</td></tr>
<tr><td>A5 、5-1/2 × 8-1/2 以下</td><td>500 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">厚紙（91 g/m^2 ～ 300 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド紙</td><td>20 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="3">仕分けグループ／仕分けソート</td><td rowspan="3">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）</td><td>A4 、8-1/2 × 11 以下</td><td>3000 枚</td></tr>
<tr><td>B4 、8-1/2 × 14 以上</td><td>1500 枚</td></tr>
<tr><td>A5 、5-1/2 × 8-1/2 以下</td><td>500 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ステープル</td><td rowspan="5">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）</td><td colspan="2">2 枚～ 9 枚：100 部 *
* B4 、8-1/2 × 14 以上の場合は 50 部</td></tr>
<tr><td colspan="2">10 枚～ 20 枚：50 部</td></tr>
<tr><td colspan="2">21 枚～ 30 枚：30 部</td></tr>
<tr><td colspan="2">31 枚～ 40 枚：25 部</td></tr>
<tr><td colspan="2">41 枚～ 50 枚：20 部</td></tr>
<tr><td colspan="4">積載高さ：375 mm （A4 、8-1/2 × 11 以下）／ 187.5 mm （B4 、8-1/2 × 14 以上）</td></tr>
<tr><td>ステープル最大とじ枚数</td><td colspan="4">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：50 枚
厚紙（91 g/m^2 ～ 120 g/m^2）：30 枚
厚紙（121 g/m^2 ～ 209 g/m^2）：15 枚
とじ枚数例：厚紙（209 g/m^2）2 枚＋普通紙（90 g/m^2）48 枚</td></tr>
<tr><td>シフト量</td><td colspan="4">30 mm</td></tr>
<tr><td>電源</td><td colspan="4">本体から供給</td></tr>
<tr><td>最大消費電力</td><td colspan="4">56 W 以下</td></tr>
<tr><td>大きさ</td><td colspan="4">幅 528（658）mm × 奥行 641 mm × 高さ 1025（1087）mm
（ ）はトレイ引出し時</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="4">約 42 kg</td></tr>
<tr><td>消耗品</td><td colspan="4">ステープル針 SK-602
EH-590 用（製品番号 No.505 マックス社）（5000 針入り）× 1 個</td></tr>
</table>

中綴じ機 SD-509

仕様

<table>
<tr><td>通紙機能</td><td colspan="3">中とじ、中折り</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td colspan="3">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）*
* 表紙のみ使用可能です。</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="3">A3、B4、A4、12-1/4 × 18 、11× 17 、8-1/2 × 14 、8-1/2 × 11
幅：210 mm ～ 311.15 mm、長さ：279.4 mm ～ 457.2 mm</td></tr>
<tr><td>最大中とじ枚数</td><td colspan="3">15 枚
・ 14 枚（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）+ 1 枚（60 g/m^2 ～ 209 g/m^2）</td></tr>
<tr><td>最大中折り枚数</td><td colspan="3">3 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="3">折り排紙トレイの収容量</td><td rowspan="3">とじ、折り枚数</td><td>1 枚 ～ 3 枚</td><td>20 部</td></tr>
<tr><td>4 枚 ～ 10 枚</td><td>10 部</td></tr>
<tr><td>11 枚 ～ 15 枚</td><td>5 部</td></tr>
<tr><td>大きさ</td><td colspan="3">幅 239 mm × 奥行 579 mm × 高さ 534 mm</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="3">約 24 kg</td></tr>
<tr><td>消耗品</td><td colspan="3">ステープル針 SK-602
EH-280 用（製品番号 No.505 マックス社）（5000 針入り）× 2 個</td></tr>
<tr><td>電源</td><td colspan="3">フィニッシャー FS-527 より供給</td></tr>
</table>

パンチキット PK-517

仕様

パンチ穴数	2 穴
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 256 g/m^2）
用紙サイズ	A3 ～ B5 /、11 × 17 ～ 8-1/2 × 11 /
電源	フィニッシャー FS-527 より供給
大きさ	幅 58 mm × 奥行 470 mm × 高さ 135 mm
質量	約 1.8 kg

セパレーター JS-603

仕様

<table>
<tr><td>排紙トレイ</td><td>第 3 排紙トレイ</td></tr>
<tr><td>通紙機能</td><td>グループ、ソート</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td>普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 256 g/m^2）、OHP フィルム、封筒、ラベル用紙、レターヘッド紙</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td>A3 ～ A5 、12-1/4 × 18 、11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙積載量</td><td>普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：100 枚、厚紙（91 g/m^2 ～ 300 g/m^2）、OHP フィルム、封筒、ラベル用紙、レターヘッド紙：10 枚</td></tr>
<tr><td>積載高さ：22 mm</td></tr>
<tr><td>大きさ</td><td>幅 165 mm × 奥行 389 mm × 高さ 63 mm</td></tr>
<tr><td>質量</td><td>約 1 kg</td></tr>
</table>

フィニッシャー FS-529

仕様

<table>
<tr><td>排紙トレイ</td><td colspan="4">第 1 排紙トレイ（エレベートトレイ）</td></tr>
<tr><td>通紙機能</td><td colspan="4">グループ、ソート、仕分けグループ、仕分けソート、ステープル</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td colspan="4">グループ / ソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド紙、長尺紙
仕分けグループ / 仕分けソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）
ステープル：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、
厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）*
* 表紙のみ使用可能です。</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="4">グループ／ソート：
A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、はがき（100 mm × 148 mm）、12-1/4 × 18 ▭、11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯
幅：90 mm ～ 311.15 mm、長さ：139.7 mm ～ 1200 mm
仕分けグループ／仕分けソート／ステープル：
A3 ▭ ～ B5 ▯、11 × 17 ▭ ～ 8-1/2 × 11 ▭/▯
幅：210 mm ～ 297 mm、長さ：182 mm ～ 431.8 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="9">用紙積載量</td><td rowspan="3">グループ／ソート</td><td rowspan="2">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）</td><td>A4 ▭、8-1/2 × 11 ▭ 以下</td><td>300 枚</td></tr>
<tr><td>B4 ▭、8-1/2 × 14 ▭ 以上</td><td>250 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">厚紙（91 g/m^2 ～ 271 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、レターヘッド紙</td><td>10 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="3">仕分けグループ／仕分けソート</td><td rowspan="2">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）</td><td>A4 ▭、8-1/2 × 11 ▭ 以下</td><td>300 枚</td></tr>
<tr><td>B4 ▭、8-1/2 × 14 ▭ 以上</td><td>250 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">厚紙（91 g/m^2 ～ 209 g/m^2）</td><td>10 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ステープル</td><td rowspan="2">普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）</td><td>A4 ▭、8-1/2 × 11 ▭ 以下</td><td>300 枚または 30 部</td></tr>
<tr><td>B4 ▭、8-1/2 × 14 ▭ 以上</td><td>250 枚または 30 部</td></tr>
<tr><td colspan="4">積載高さ：37 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ステープル最大とじ枚数</td><td colspan="2">A4 ▭、8-1/2 × 11 ▭ 以下</td><td colspan="2">50 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">B4 ▭、8-1/2 × 14 ▭ 以上</td><td colspan="2">30 枚</td></tr>
<tr><td colspan="4">とじ枚数例：厚紙（209 g/m^2）2 枚＋普通紙（90 g/m^2）48 枚 *
* B4 ▭、8-1/2 × 14 ▭ 以上の場合は 28 枚</td></tr>
<tr><td>シフト量</td><td colspan="4">30 mm</td></tr>
<tr><td>電源</td><td colspan="4">本体から供給</td></tr>
<tr><td>最大消費電力</td><td colspan="4">56 W 以下</td></tr>
<tr><td>大きさ</td><td colspan="4">幅 471（654）mm × 奥行 564 mm × 高さ 147 mm
（ ）はトレイ引出し時</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="4">約 12 kg</td></tr>
<tr><td>消耗品</td><td colspan="4">ステープル針 SK-602
EH-590 用（製品番号 No.505 マックス社）（5000 針入り）× 1 個</td></tr>
</table>

セパレーター JS-505

仕様

排紙トレイ	**第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ**
通紙機能	グループ、ソート、仕分けグループ、仕分けソート
用紙種類	< **第 1 排紙トレイ** > 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） < **第 2 排紙トレイ** > 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 268 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙、長尺紙
用紙サイズ	< **第 1 排紙トレイ** > A3 ～ A5、11 × 17 ～ 8-1/2 × 11 / 幅：148 mm ～ 297 mm、長さ：210 mm ～ 431.8 mm < **第 2 排紙トレイ** > A3 ～ B6、A6、はがき（100 mm × 148 mm）、12-1/4 × 18 、11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 / 幅：90 mm ～ 311.1 mm、長さ：139.7 mm ～ 1200 mm
用紙積載量	< **第 1 排紙トレイ** > 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：50 枚 積載高さ：14.5 mm < **第 2 排紙トレイ** > 普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）：150 枚 厚紙（91 g/m^2 ～ 268 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、ラベル用紙：20 枚、封筒：10 枚、長尺紙：1 枚 積載高さ：27.6 mm
電源	本体から供給
最大消費電力	40 W 以下
シフト量	30 mm
仕分け機能	< **第 2 排紙トレイ** > A3 ～ B5、11 × 17 ～ 5-1/2 × 11 /
大きさ	幅 423 mm （543 mm）× 奥行 477 mm × 高さ 129.5 mm （ ）は補助トレイを引出した場合
質量	約 5 kg

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-101

仕様

名称		AU-101
適応指幅		10 mm 以上～ 25 mm 未満
インターフェース		USB 2.0
寸法（mm）		約 78（W）× 95（D）× 55（H）
質量（g）		約 150（USB ケーブル含まず）
最大消費電力（mA）		DC 5 V 500 mA
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	10 ～ 35
	湿度（%）	10 ～ 80（ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	-10 ～ 60
	湿度（%）	10 ～ 80（ただし結露しないこと）

仕様

対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 （SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition （SP2） Windows Vista Business/Enterprise

認証装置（指静脈 生体認証タイプ）AU-102

仕様

名称		AU-102
静脈センサー方式		透過型光学方式
照合時間		約 1 秒以下
インターフェース		USB 2.0
寸法（mm）		約 59（W）× 82（D）× 74（H）
質量（g）		約 96（USB ケーブル含まず）
最大消費電力（mA）		DC 5 V 500 mA
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	5 ～ 35
	湿度（%）	20 ～ 80（ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	0 ～ 50
	湿度（%）	20 ～ 80（ただし結露しないこと）
対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0 （SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition （SP2） Windows Vista Business/Enterprise

認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201

仕様

名称		AU-201
寸法（mm）		約 92（W）× 64（D）× 16（H）
質量（g）		約 120
電源		USB ポートより受電
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	0 ～ 40
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	-20 ～ 50
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
電波法区分		誘導式読み書き通信設備
適用カード		ISO 14443 TypeA、FeliCa 準拠非接触 IC カード、HID iClass
取得規格		VCCI クラス B
対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0（SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows 2000 Professional （SP4） Windows XP Professional Edition （SP2） Windows Vista Business/Enterprise

13 付録

13 付録

13.1 色について

［色相］/［明度］/［彩度］

色には色相（色あい）、明度、彩度の 3 つの要素があります。これを色の三属性と呼び、全ての色はこの組合わせでできています。

本機では、色相（色あい）、明度、彩度を 19 段階に調整できます。

色相とは：

リンゴの色は赤、レモンの色は黄、空の色は青・・というように、誰でもその「色あい」を思い浮かべることができます。この赤、黄、青というように、それぞれ区別される「色あい」を色相といいます。

明度とは：

色と色を比較して、明るい色とか暗い色というように、色には「明るさ」の度合いがあります。たとえばレモンの黄色とグレープフルーツの黄色では、レモンの黄色の方が、より明るいですね。レモンの黄色とあずきの赤ではどうでしょう。やはり、レモンの黄色の方が明るい色ですね。このように、色相に関係なく比較できる「明るさ」の度合いを明度と呼んでいます。

彩度とは：

同じ黄色でも、レモンと梨でくらべてみるとどうなるでしょう。「明るさ」というよりも、レモンはあざやかな黄色で、梨はにぶい黄色というように、「あざやかさ」にはおおきな違いがあることがわかります。このように色相や明度とはまた別に「あざやかさ」の度合いを示す性質を彩度と呼んでいます。

色相

–3 0 +3

明度

–3 0 +3

彩度

–3 0 +3

［赤色］/［緑色］/［青色］

本機では、赤色、緑色、青色の色あいを 19 段階に調整できます。

赤色

–3　0　+3

緑色

–3　0　+3

青色

–3　0　+3

13.2 画質について

［コントラスト］/［コピー濃度］/［シャープネス］

［コントラスト］：

画像を、ソフトでなめらかなイメージからくっきりしたイメージまで調整できます。

［コピー濃度］：

画像の濃淡の度合いを調整できます。

［シャープネス］：

文字や画像の輪郭の強弱を調整できます。

本機では、コントラスト / コピー濃度を 19 段階に、シャープネスを 7 段階に調整できます。

コントラスト

–3　0　+3

コピー濃度

–3　0　+3

シャープネス

–3　0　+3

［カラーバランス］（CMYK）

フルカラーコピーは、イエロー、マゼンタ、シアンの 3 色にブラックを加えた計 4 色のトナーを混ぜ合わせることで原稿の色を再現しています。4 色のトナーそれぞれの分量を変えることで、コピーの色あいをきめ細かく調整できます。

本機では、カラーバランスを 19 段階に調整できます。

イエロー
Y
赤色
R
緑色
G
+
-
M
マゼンタ
C
シアン
B
青色
+
-
K
ブラック

13.3 用語集

コピー機能に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	ADF	**自動両面原稿送り装置**のことです。原稿を自動で読込ませることができます。(ADF = Automatic document feeder)
	[AE レベル調整]	原稿の下地を調節する機能です。設定値が大きくなるほど、原稿の下地が強調されます。(AE = Auto Exposure)
	APS	自動用紙機能のことです。(APS = Auto Paper Select)
	ATS	自動トレイ切換え機能のことです。(ATS=Auto Tray Switch)
	[OHP 合紙]	OHP 合紙 OHP フィルムを 1 枚コピーするごとに、白紙を OHP フィルムの間に合紙として挿入する機能です。OHP フィルムどうしが密着するのを防ぐ機能です。
あ行	[青色]	水や空の色をより青々とさせたいときなど、青色の色合いを調整する機能です。
	[赤色]	人の肌に赤みをつけたいときなど、赤色の色合いを調整する機能です。

	用語	説明
か行	[カードコピー]	保険証や免許証、名刺など各種カードの表裏を別々に読込み、1 枚の用紙に並べてコピーできます。カードをそのままのサイズでコピーしたり、用紙に合わせ拡大してコピーしたりできます。カードコピーを使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。
	[カバーシート]	指定した給紙トレイの用紙を表紙としてつける機能です。
	[カラー]	指定したカラーでコピーできる機能です。2 色カラー機能を使うと、指定したカラーとブラックの 2 色でコピーできます。
	[カラー画質調整]	カラーコピーの原稿のイメージに合った画質でコピーするための設定ができます。
	[カラーバランス]	シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、ブラック（K）の色ごとに濃度のバランスを調整する機能です。各色 -3 から +3 の間の 19 段階で微調整できます。
	[カラー編集]	コピーの編集目的に合わせて画像イメージを設定できます。
	確認コピー	大量部数のコピーをするとき、1 部のみを仕上げていったん停止させる機能です。大量のミスコピーを未然に防止できます。
	[鏡像]	原稿イメージを左右対称にして鏡に映ったイメージでコピーする機能です。
	グループ（コピー / 仕上り）	コピーをページ単位で出力する機能です。1 ページ目が指定した部数分出力されたあと、2 ページ目が指定した部数分出力されます。
	グループ（参照許可）	各ユーザーの参照できる宛先を制限し、セキュリティーを管理するための機能です。
	[原稿画質]	原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整できる機能です。
	[原稿セット方向]	**ADF** や**原稿ガラス**にセットした原稿のセット方向を設定する機能です。
	[原稿のとじしろ]	セットした原稿の、片側の余白位置を指定する機能です。片面原稿を両面コピーする場合や、両面原稿を片面コピーする場合に、コピーの上下が逆にならないように設定できます。
	[光沢コピー]	画像の光沢度を向上させることができる機能です。
	[コピーガード]	不正コピーを防止するため、用紙の全てのページに、複写、社外秘などの文字や日付／時刻などをコピーガード（コピー禁止情報）として印字してコピーします。コピーガードが印字された用紙はコピーできません。
	[コピー濃度]	コピー濃度を -3 から +3 の間の 19 段階で微調整する機能です。
	[コピープロテクト]	不正コピー防止用の隠し文字を印字する機能です。コピープロテクトが印字された文書をコピーすると、隠し文字が原稿よりはっきりと全ページの用紙全体に繰り返し現れ、コピー文書であることが分かるようになります。
	[混載原稿]	異なるサイズが混じった原稿を、**自動両面原稿送り装置**にセットしても、原稿ごとに原稿サイズを検知し、適正な用紙にコピーされる機能です。
	[コントラスト]	コントラストの濃淡を調整する機能です。

	用語	説明
さ行	[彩度]	色のあざやかさの度合いを調整する機能です。
	[仕上り]	コピーを排紙トレイに出力するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。
	仕上りプレビュー	印刷する前に、仕上り状態をプレビュー画像で確認することができる機能です。
	[仕上りプログラム]	あらかじめ設定しておいた仕分け方法や仕上り方法を設定できます。
	[仕分け]	コピーを仕分けして出力する機能です。
	[色相]	色相調節により、赤みを強くしたり、青みを強くする機能です。
	[下地調整]	下地に色がついている原稿の下地濃度を調整する機能です。下地除去方法と下地調整レベルを設定してコピーする機能です。
	自動倍率	ADF や**原稿ガラス**に原稿をセットし、用紙のサイズを選択すると、適正な倍率を自動で選択する機能です。
	自動用紙	ADF や**原稿ガラス**にセットされた原稿サイズを検知し、等倍のときは同じサイズの用紙を、変倍のときは倍率に対応したサイズの用紙を自動で選択する機能です。
	[シャープネス]	文字のエッジ部分を強調して、読みやすくする機能です。また、原稿の印象を調整する機能です。
	集約	1 枚の用紙に、複数の原稿を縮小し並べてコピーする機能です。集約する枚数により 2in1、4in1、8in1 の機能を選択できます。
	[ステープル]	コピー書類を止め金でとじる機能です。
	[選択トレイの設定変更]	給紙トレイにセットされていない用紙サイズや、普通紙以外の用紙にコピーする設定ができます。
	ソート	コピーを部数単位で出力する機能です。1 部目が出力されたあと、2 部目のコピーが出力されます。
た行	[小さめ]	原稿の画像をわずかに縮小し、用紙の中央に配置してコピーする機能です。
な行	[中折り]	用紙を半分に折り出力する機能です。
	[中とじ]	用紙を半分に折り、中央にステープルでとじて出力する機能です。
	[ネガポジ反転]	原稿の濃淡および色（階調）を反転してコピーする機能です。
	[濃度]	印刷画像濃度を 9 段階で設定してコピーする機能です。
は行	[倍率]	コピー倍率を変更できます。
	[パスワードコピー]	不正コピーを防止するため、用紙の全てのページに、複写、社外秘などの文字や日付／時刻などをパスワードとして印字してコピーします。パスワードが埋め込まれた用紙をコピーすると、ジョブは一時停止し、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力後、コピーすることができます。
	[パンチ]	コピーにファイリング用のパンチ穴をあける機能です。
	[フリー設定]	セットした原稿をテンキーで指定した倍率で拡大／縮小し、用紙にコピーする機能です。
	[ページ編集]	コピーの目的に合わせて編集機能を設定できます。
	[ベースカラー]	原稿の背景（白紙部分）に 18 色から指定した 1 色をつけてコピーする機能です。
	[ボックス保存]	ジョブをいったんハードディスクに保存しておき、あとから呼出して再利用できる機能です。
ま行	[緑色]	森や樹々の葉をより青々とさせたいときなど、緑色の色合いを調整する機能です。
	[明度]	明るさの度合いを調整する機能です。
	[文字再現]	原稿の写真（図やグラフなど）と文字が重なっている場合（背景文字）などに、コピー上の文字の再現性を設定する機能です。
や行	[用紙]	印刷する用紙の種類とサイズを設定できます。

	用語	説明
ら行	［両面 2 面目］	片面に印刷されている用紙を使用して印刷するとき設定する機能です。
	［両面 / ページ集約］	原稿の読込み面と用紙の印刷したい面を片面にするか、両面にするか指定する機能です。
	［連続読込み設定］	原稿の枚数が ADF にセットできる最大枚数（100 枚）を超える場合に、原稿をいくつかに分けて読込む機能です。原稿を読込ませ、ひとつのコピージョブとして一括してコピーできます。また、途中で**原稿ガラス**にセットして読込ませたり、ADF に切換えることもできます。

14 索引

14　索引

14.1　項目別索引

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

14.2 キー索引

Numerics

A

C

E

F

H

I

O

P

X

Z

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 http://bj.konicaminolta.jp

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）